

地方史情報 134

2017年12月

民俗誌・海山の間

野本 寛一

（前略）海を、山を、海山の間をめぐる商人・職人・芸を囃ぐ人・祈る人—これらの人びとと彼らを迎え、送った人びとの交感や思い、訪れた人に対する対応まで細かく思いを及ぼす時、訪れ神、まれびとにもかすかな光を当てることができることになるのだろう。

本書に収めてきた、各地・各種の報告・資料はすべて私の調査・聞きとりにもとづくものである。そのほとんどは環境民俗学の視点に立つものであるが、一部にはそれからやや離れたものもある。それらは、総て「手のとどく過去」のもの、この国の人びとの、手のとどく過去の生業や暮らしの実態である。山のムラムラ、海辺のムラムラ、海山の間、海山の間のムラムラのおのおのが生動し、この国全体が生きたからだのように有機的に連動していたのである。贅につながる豊かさではないが、乏しい豊かさに、ある種の充実感があつた時代である。

山のムラ、離島のムラなどの人口減、変質が始まるのは昭和30年代、高度経済成長の始動期からで、それは次第に加速して人口は都市に集中した。（中略）

山のムラ、離島のムラの消滅を座して待たなければならないのか。対応策・再生策はないのだろうか。とにかく即効薬がないことは確かだ。本書での学びの報告や、私がこれまで全国各地で学んできたことはじつに多いのだが、その中で、以下のことはずっしりと心に響いている。この国の活力源の一つは地域の民俗文化の多様性にあつた。この国では、人びとと自然環境との繊細で緊密な関係が守られてきた。山地に生きる人びとを中心として、様々な生業要素を複合させて成り立たせる民俗伝統があつた。ムラや地域の特徴を生かした生業連鎖があつた。資源保全、欲求の抑制、儉約、ものを大切にする心意伝統があつた。人への思いを大切に、共同体の決めごとを守ってきた。一極集中・大都市集中・都市集中、怒濤のように迫りくる経済のグローバル化の中では一見、民俗や伝承知は無力に見えるのだが、その中から継承すべきものを継承し、太らせてゆかなければならない。地方分散と有機的ネットワークの追究は急務であろう。

本書は、不十分なものではあるが、山のムラ、海辺のムラ、海山の間、そこに生きた人びと、その民俗の表面的な賛歌ではない。事実の報告である。浅い賛歌は挽歌につながることもある。本書の内容を挽歌にすることだけは避けたい。（後略）

（『野本寛一著作集5 民俗誌・海山の間』2017.7、小社刊、「終章：旅の終わりに」より）

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西 1 丁目
1-1 コーポ望 TEL011-299-6834 年5000円

◇64 2017.8 B5 8p

創立20周年記念研究大会終わる

創立20周年記念アイヌ語地名研究

大会に参加して 平井 順子

平成29年度定期総会終る

兵庫にアイヌ語ゆかりの地名(「北海道新聞」2017.4.3)

「山の名前はアイヌの知恵 北海道の山岳名を調査 山辞典やアイヌ語辞典まとめる」寺口一孝
(「日本経済新聞」2017年8月10日)

◆標茶町郷土館報告

〒088-2261北海道川上郡標茶町塘路50
TEL015-487-2332 1985年創刊

◇29 2017.8 A4 67p

飯島一雄先生を悼む

一飯島一雄追悼文集

昆虫研究者そして文化財保護の

先駆者、飯島一雄氏を悼む 鳥田 哲男

飯島一雄氏の功績を偲ぶ一成長

期の昆虫同好会活動の道を照

らしたカリスマ 生方 秀紀

我が師・飯島一雄 岡田 正光

飯島一雄氏追悼文 加藤 敏行

飯島一雄氏の思い出 小杉 時規

飯島一雄さんを偲ぶ 小松 利民

飯島一雄先生を偲んで一昆虫を

愛し、自然を愛する道東の昆

虫研究家 佐々木誠治

記憶の中の飯島一雄さん 高嶋八千代

飯島一雄氏が遺したものと 土屋 慶丞

追悼 飯島一雄氏 坪岡 始

飯島師匠と五十石 名嘉真郁子

飯島一雄さんを偲んで 中本 民三

飯島一雄さんと考古学 西 幸隆

飯島一雄さんを偲んで

一林業稼業の虫博士 二村 一男

飯島さんありがとうございました

た 的場 績

北海道における蛾類相解明の黎

明期 山根 正気

飯島一雄さんの訃報に想う 吉富 博之



*2016年11月に89歳で逝去された標茶町文化財専門委員長、郷土館運営審議会会長の飯島一雄氏を追悼する。同氏は長野県に生まれ、5歳の時に父親の仕事の関係で渡道し、当時の標茶村に移り住んだ。片道10kmもの通学の行き来に、豊かな環境に生息する数多くの昆虫に魅了され、やがて酪農業や林業を営みな

がら昆虫分類にのめり込んだ。とりわけトンボ研究では多大な功績を残し、希少種エゾカオジロトンボなどの天然記念物指定に貢献した。昆虫同好会を立ち上げ、研究者育成にも尽力した。さらに、遺跡保存など文化財保護に取り組むなど、地域の社会教育活動に果たした役割は甚大である。同氏がこの地に遺したもののや、その情熱と人柄について、17名の方が委曲を尽くして記しており、同氏がいかに慕われていたか、また、地域活動とはこうしたものかと心打たれる。

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒001-0905札幌市北区新琴似五条5-3-11
TEL011-761-8014 年3000円 1985年創刊

www.2ocn.ne.jp/~history/

◇61 2017.5 B5 80p 1000円

会報「屯田」と啓発活動 後藤 良二

創刊号の巻頭から 伊藤 廣

子思孫尊 害虫防除の技術開発に

挑む 美唄屯田兵・坂田亀吉郎

氏 梶田 博昭

和田屯田研究史と史・資料 川上 淳

特集 琴似屯田兵から大尉に昇進

三澤毅氏の日記 兵村の日常を

綴った「諸扣帳」全文(中)

古地図の散歩道 大正4(1915)年

刊『雨竜郡秩父別村是調査』添

付図(国立国会図書館所蔵)

拳村一致・自営の道を描く 梶田 博昭

屯田兵のデザイン考 洋式小屋組

琴似屯田兵屋(札幌市・琴似神

社境内) トライアングルは残

った

北海道の行政府と屯田兵制度の関

わり 武石 詔吾

一節抜粋 濱口祐介・横島公司著

『松前藩』、北海道史研究協議会

編『北海道史事典』

北海道移民史を語る旅(7) 大戦

中から戦後へ 凶作不況も戦時

体制強化で不発に終わった第2

期拓計 北国 諒星

新琴似「積穀騒動」に関して

一研究ノート 河野 民雄

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西 7 丁目
かでの2・7ビル 9階 TEL011-271-4220

hokkaido-bunkazai.jp

◇361 2017.5 A4 8p

農業史資料紹介 「試作場用地内

宅地ニ御貸下ノ儀ニ付請願」書

舟山 廣治

郷土資料コーナー「北村の記憶」

オープン 杉浦章一郎

阿修羅像にみる文化財保護の流れ

舟山 廣治

新たな貝類化石(浦幌) 持田 誠

北海道立文学館の舟山廣治文庫に

タカシマ(小樽)を描いた史料 鈴木 仁

道指定有形文化財三件一指定 上

ノ國八幡宮本殿、矢不束館跡出

土品、青苗遺跡出土品／国の登

録有形文化財 宮本商産旧本社

ビル、旧国鉄士幌線幌加駅プラ

ットフォーム

開拓使 お雇い外国人 ルイス・

ペーマーの業績 加我 稔

◇362 2017.7 A4 8p

道都 夏の風物詩 札幌まつり

北海道神宮祭「みこし渡御」 遠田 信之

文化庁の移転 舟山 廣治

“北海道と佐渡島” 暮らしと人と

文化財 増毛町 丸一本間家／

羽幌町 丸藤本間家 鳥羽 優伽

住友鴻之舞鉱業所百周年
一紋別のゴールドドラッシュ 山田 雅也
道史編さんへ「要望書」提出
北海道史研究協議会と六団体
“帯広の旧双葉幼稚園園舎”重要
文化財指定へ

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12
田中貢方 TEL011-667-2137
homepage3.nifty.com/tm3053/

◇85 2017.7 A4 10p
第34回定期総会(平成29年度) (田中)
歴史の断面 田中 貢
「屯田兵」 橋本とおる
歴史の見直し 田中 貢

◆北方民族博物館だより
北海道立北方民族博物館
〒093-0042北海道網走市潮見309-1
TEL0152-45-3888 1991年創刊
hoppohm.org

◇105 2017.6 A4 4p
講座 ユーコンの先住民カスカの
狩猟文化と世界観 講師：山口
未花子氏(岐阜大学助教) 野口 泰弥
ロビー展 寄贈資料展 笹倉いる美
館長講座 北方民族から学ぶ 講
師：岡田淳子(北海道立北方民
族博物館 前館長) 岡田 淳子
新館長就任ご挨拶
モノをいかに博物館めざして 津曲 敏郎

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688
1970年創刊
◇271 2017.6 A4 8p

遺物が語る郷土の歴史 柳之御所
遺跡 人面墨書土器(重要文化
財) 鎌田 勉
岩手県文化財愛護協会理事長就任
にあたって 中村 英俊
岩手県における埋蔵文化財調査支
援一派遺初期を振り返って 平 美典
被災地での埋蔵文化財調査を振り
返って 小竹森直子
蘇る近代洋風建物の町並み―旧陸
軍省軍馬補充部六原支部官舎 浅利 英克
岩手民謡の変遷と特徴 藤沢 清美
わが館の文化財 田野畑村民俗資
料館 大吹子と大竿杵 佐々木哲夫
被災地の発掘調査現場から(10)
上代川遺跡 北田 勲

◆道鏡を守る会 道鏡を守る会
〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円
1985年創刊
◇39 2017.6 B5 100p 1000円
《30周年記念号》
〈守る会の宝〉
道鏡さん絵物語 絵・石川和子／プロジ
ェクター・片岡秀雄
琵琶 道鏡禅師鎮魂十三賦 日野原 正
琵琶 お篠・お笹の鎮魂賦 小林昌三九
吟詠 弓削道鏡 船生史郎／遠藤峰巖
吟詠 道鏡塚を尋ぬ 大橋西峰／谷山澁山
民話 雨乞いと道鏡さま 関 ツネ
吟詠 御詠歌 道鏡禅師 詠者・藤村真琴
会歌 讃・道鏡禅師 作曲・菊地喜平
〈守る会30年によせて〉
山あり谷ありの道でしたが… 船生 史郎
「道鏡を守る会」と本田先生 佐伯 真登
『あなたの内なる道鏡へ』をき
かけに 関 清

会のさらなる発展を祈りつつ君を
思う 小林 洋文
心ならずもリハビリの身となりま
したが… 芳村 賢
もう講演会にはいけないのですが
… 篠原久良子
今年こそはと思いつつ30年… 山田 守男
一つの出会い、思い出 上野 静子
会誌に30年の年輪が刻まれている
す 森本 裕之
〈道鏡研究のために〉
道鏡さん 永井路子氏講演より
道鏡見直しを 黒岩重吾氏講演より
河内で生まれた道鏡さん 幾島 一恵
道鏡はやはり入唐していた？ 橋府 進
弓削道鏡のこと 川島 恂二
道鏡の教えとは 石上光太郎
道鏡集団があったのでは？ 本田 義幾
称徳天皇崩御に関して 大塚泰二郎
八角に関して 島田 守安
文献を誤読する独善に陥らないた
めに T・S 生
道鏡の「左遷」について 松井 徳三
道鏡塚考 川島 恂二
道鏡塚偽物論や「死に庶人葬之」
に関する雑音？へ 柿花 仄
道鏡塚偽物論に接し 田村新太郎
道鏡塚の記述と意見紹介 (本田)
道鏡禅師が晩年過ごした下野の里
は連綿と 船生 史郎
孝謙天皇と道鏡を論じた文を読ん
でみて 牛島 智子
楊貴妃伝と孝謙天皇 堀切 祥民
『和気清麻呂』を発行しました 仙田 実
『北辰の使者』のこと 渡辺久志郎
『新資料を基とした道鏡の生涯』と
古田清幹さん 本田 義幾
呼子鳥 内山 正之

治 葛 田中 澄子
毒薬・治葛(やかつ)から 船生 史郎
御霊神社 田中 澄子
星宮神社に祀られた神々のこと 小林昌三九
魔性のもの 大石 隆一
紀 氏 益子 賢次
下毛野朝臣古麻呂をめぐって 田村 豊幸
君子部、物部、大伴部 辻 正次
君子神社 福田 佳子
蝦夷豪族と道鏡禅師 船生 史郎
下野国庁 秋間 邦雄
三王あるいは山王 辻 正次
二〇〇〇年代の年頭にあたり 田村 豊幸
万世一系の天皇を戴いて云々は、
はたしてアインシュタインの…
鶴岡 孝則
庚申塔、猿田彦、道祖神 高橋 義泰
紹介 道祖神小考 本田 義幾
道祖神小考に関連 菊地 卓
道鏡を失笑 松本 守博
上手なお迎え方そして道鏡 田村 豊幸
道鏡の従者の子孫が住む蛭沼見学
に参加して 田村新太郎
見学に参加して折詠める二題 日野原 正
多胡の地名あれこれ 堀切 祥民
「羊」は姓か 高久重三郎
道鏡禅師のつどい(95年)京都・福
徳寺で開催 田中 實之
孝謙天皇と道鏡がつくった百万塔
田村 豊幸
西大寺の万葉歌碑除幕式前日東大
寺を参拝 松本 守博
孝謙天皇の愛馬を祀るウツギ祭に
参加して 小林昌三九
道鏡禅師を春日大社に尋ねる 田中 實之
道脇寺について 松井 徳三
神願寺について 小幡 雅雄
宝籤印塔の島・魚鳥 中西 亨

神山神社のこと	平山 和昭
高原嶺に黒曜石採石跡を訪ねる	船生 史郎
金産出の涌谷を訪ねる	五月女淳一
古代みちのく金産出と涌谷	鈴木 市郎
ストレスに強くなろう	日野原 正
「三面記事」の元祖 私の住む町	渡辺 義男
「米倉」の記事を興味深く読む	大塚泰二郎
『常陸風土記』を読んで	志田 諄一
廃村徳山村のことども	田中 伸於
お水送り見学	小口 益一
日本の国号と日本語の始め	小畑 登
「つくはね」を考える	加藤 悦夫
歌枕「伊吹山」に隠された秘密	小平 豊
北関東を横断する塩の道	吉村 光右
塩	小口 清
道鏡講演会に参加して	後藤 傳七
皆様のおかげです	小尾サダヨ
見つけましたよ	小林 洋文
柳の下のだぜうは何匹も？	高久重三郎
金砂大祭礼を考えるきっかけ	志田 諄一
私のなかの「戦争」	本田 義幾
広島原爆を体感した私	松本 守博
どこかおかしい	大石 隆一
仏文学者弓削三男さん追悼	本田 義幾
道鏡を広辞苑にみる	田中 龍夫
守る会誌バックナンバー (30号～38号)	
守る会を語る(2015年の供養祭で)	
守る会30年史	
悔しい思いを武器に ーあとがきにかえて	
◆東北文化研究室紀要	
〒980-0862仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 1959年創刊	
◇58 2017.3 B5 60p	
西南戦争における旧仙台藩士の動 向	友田 昌宏

文禄・慶長初期における南部領五 戸新田村代官所についてー設置 年代の確定と景観の復元	熊谷 隆次
広域合併後の地域経営の変動と地 域住民組織の役割ー広島県三次 市君田町の事例	永井 彰
2016年度東北文化研究室公開講演 会 シンポジウム 東北の多 文化社会を生きるー現場と研 究の架橋に向けて 発表要旨	
多文化社会・東北の現状	川口 幸大
多文化社会をめぐる困難ー国際 比較の視点から	永吉希久子
激変する多文化社会の現状と課 題ー現場からの報告	大村昌枝／一條玲香
東北で働くプータン人技能実習 生	栗田 陽子
移住女性の目線から問う「東北 の多文化共生」	李 善姬
◆東北民俗 東北民俗の会	
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大 学大学院文学研究科 宗教学研究室	
FAX022-795-6022 年4000円 1966年創刊	
tohokuminzoku.com	
◇51 2017.6 A5 143p 1000円	
近世日蓮宗と修験道の常民教化 ー『修験故事便覧』と『修験檀 問愚答集』	宮家 準
地域の子供の集団とその行事の変 遷ー宮城県名取市植松の天神講 のこれまで	相澤 出 稲 雄次
泉松陵のチャセゴ	
石巻の袍衣塚ー神職日野志學と女 医 山崎富子に係る石碑	石黒伸一朗
土地の石をめぐる石工の伝承 ー東松山市の野蒜石	小田嶋利江

互市再考ー仙北地方の市と商人 ハタハタ漁と籤引き神事	山本 志乃 川島 秀一
金津流鹿踊の系譜(3) ー系譜の整理	及川 宏幸
選挙と信仰の接点ー「選挙カミサ マ」と呼ばれる民間巫者を事例 に	アンドリュース・デール
新盆行事におけるじゃんがら念仏 踊りー上遠野青年会の調査から	齋藤りぼん
海難者を祀る習俗 ー気仙沼地方の事例を中心に	小野寺佑紀
東北大学における解剖体慰霊の変 遷	田淵 彩加
オタナサマ信仰の一時例ー山形県 米沢市六郷町長橋地区を中心に	古舘 睦
青森県津軽地方の鬼信仰再考 ー西津軽郡鰺ヶ沢町を中心に	櫻井歆太郎
◆ナジェージダ(希望)	
石巻若宮丸漂流民の会 〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23 大島幹雄方 TEL045-773-4643 deracine.fool.jp/wakamiya/	
◇38 (vol.16) 2017.8 A4 36p “多十郎のジャケット”の新事実 ー『ロマノフ王朝展』を終えて 多十郎のジャケット調査備忘録	岡崎 礼奈
下北漂流民の子孫が伝えた(?) 盆唄が蘇る！ 特別寄稿 歌の 国、ロシアー漂流民のもたらし たロシア歌謡のかずかず	中村 喜和
小説『我にナジェージダ(希望)あ り』出版 希望あふれる物語にゴンザ・ソ ウザの姿が重なる	上村 忠昌

石巻弁で映画化を！ 若宮丸漂流民を授業に 新教材を活用した授業に取り組 んで	酒見 謙三 齋藤 博
石巻専修大学新入生に「若宮丸」 の講義	阿部 和夫
講演会「世界を一周した日本人」 報告	木村 成忠
ブラジルから訪日団 石巻訪問 ー若宮丸史跡案内	齋藤 博
私と若宮丸(12) 私が〈若宮丸〉と出会うまで	田村 麻耶
善六味噌 事始め「まねきショッ プ」開店しました	本間 英一
漂流記にはこういう事も書かれて ある	佐藤三寿夫
三十五反の帆を巻きあげて ー遠島甚句の謎	大野 康世
黒澤明、シベリアで奮戦す 映画 『デルス・ウザーラ』撮影日誌 を読む	木村 成忠
シリーズ平成の善六(1) 日口交流50年	岩佐 毅
牡鹿半島漂流記(2) 狐崎	太田 和美
◆歴 史 東北史学会	
〒980-0862 仙台市青葉区川内 東北大学 大学院文学研究科 日本史研究室 TEL022-217-6064 年4000円 1949年創刊 www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/	
◇128 2017.4 A5 97+23p 2100円	
東北地方の尖頭石器器群における 石器機能研究ー山形県平林遺跡 ・福島県背戸B遺跡	鹿又 喜隆
中条家文書所収「三浦和田氏具書 案」の基礎的考察	白根 靖大
一五世紀における岩城氏の内訌と 総領	泉田 邦彦

書 評
渡部育子著『律令国司制の成立』
高橋 一倫
大川真著『近世王権論と「正名」
の転回史』
曾根原 理
2016年度 東北史学会大会 公開
講演要旨 律令制下の女帝一元
明天皇・元正天皇 渡部 育子

◆秋田近代史研究会会報
〒010-1414秋田市御所野元町6-13-1
柴田知彰方 TEL018-807-3290 1958年創刊
www.geocities.jp/akitakindai01/kaiho.htm
◇176 2017.7 A4 6p
2017春季研究会研究報告要旨
公文書の内と外 高橋 秀夫
秋田県平鹿郡における徴兵令反
対一揆—阿気騒動関係史料の
再検討 柴田 知彰
秋田県公文書館蔵の戸村家文書
の利活用を考える 高橋 務
会員随想(3) 私の資料紹介 長沼 宗次
大仙市アーカイブズ開館式参加記
柴田 知彰
回顧60年(3)—『近代秋田の歴史と
民衆』の刊行(1969年)

◆秋田地名研究年報 秋田地名研究会
〒019-2112秋田県大仙市刈和野愛宕下167
新谷正隆方 TEL0187-75-2717 年2500円
1985年創刊
◇31 2017.5 A4 18p 300円
出羽国と陸奥国とを結ぶ伝馬道
—地名で探る払田柵跡への道 木村 清幸
払田柵跡は郡家、名称の変遷は波
瀾万丈 木村 清幸

◆秋田民俗 秋田県民俗学会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文化
出版内 TEL018-864-3322 1973年創刊
◇43 2017.7 A5 58p 1389円
民俗芸能の概要と観光—地域住民
の意識高揚と民俗芸能の理解 鎌田 幸男
民俗学の可能性 小田島清朗
「榎木明神」から「亀鶴」そして
「辰子」へ 加藤 義規
八郎潟周辺の八郎神信仰について
天野 莊平
十和田湖のトワダ信仰と伝説
—「三湖伝説」「三湖物語」論の
限界と可能性 村中 健大

◆秋田歴研協会誌
秋田県歴史研究者・研究団体協議会
〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文
化出版内 TEL018-864-3322 1996年創刊
akita-nct.ac.jp/~wakino/rekiken.html
◇64 2017.5 B5 26p
特集 秋田歴研協第23回大会 記
念講演 人と動物のかかわり、
歴史と未来 小松 守
計報：塩谷順耳前会長
塩谷先生への感謝 半田 和彦
用語解説
人口—秋田藩の武士人口(下) 半田 和彦
幕府領小砂川の概要(2)
明德館専門郷土史同好会
市町村立では東北初の「大仙市ア
ーカイブズ」開館 蓮沼 素子
新刊紹介 片岡栄治郎著『ある奉
行と秋田藩の戊辰戦争(江間伊
織の日記から)』 秋田文化出版編集部
自著紹介 『仁和寺尊寿院阿證』
—数奇な運命を仏道に生きた佐
竹氏世子 神宮 滋

資料紹介
小林逸路著『マコロド戦記』 長沼 宗次

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会
〒011-0909秋田市寺内兎桜1-5-55
古四王神社社務所内 TEL018-845-0333
1981年創刊
w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html
◇88 2017.5 B5 53p
高階貞房書翰の「真澄」の学問観
について 新野 直吉
菅江真澄が歩いた阿仁鉾山 今井 忠男
真澄が記録した小正月行事(1)
—カマクラ・左義長・サエの神
の考察 菊地 利雄
口承文芸研究史のなかの菅江真澄
—昔話 星野 岳義
菅江真澄と私 金沢 大士
真澄の一枚(20) 越後国の油の泉
『粉本稿』より(大館市立中央
図書館提供) 菊地 利雄
田口昌樹前会長御逝去
弔 辞 小笹 鉄文
図書紹介 『探究の人 菅江真澄』
菊池勇夫著、『口承文芸と民俗
芸能』星野岳義著、『菅江真澄
とみちのく』石黒克彦著

◆北方風土 北方風土社
〒019-1541仙北郡美郷町土崎字上野乙1-
254 森本彌吉 TEL0187-85-4027
1980年創刊
◇74 2017.6 A5 195p 2000円
起請文から観る中世
佐竹氏の神祇信仰 神宮 滋
口承文芸の非虚構性 星野 岳義
旧河辺町に残る南北朝秘史(試論)
石山 憲二

雪下駄について 稲 雄次
三戸十郎の前半生 江戸監物の後
半生 合わせて一人の人生に!?
—伊予松山三戸家系図の謎 那珂 通義
「花折りに」考—歌の伝播と目的 本城屋 勝
吉彦秀武はいつ義家方についたか
加藤慎一郎
「清心尼公」法諱「異貌清公」
遠野南部家の女の殿様の奇異な
戒名 敵か味方か、戦国の女た
ち 松橋 由雄
史料編
進藤貞吉著『道中記』(6)
解説・翻刻・注記・編集 相馬登
我が村の歴史 第七号
深澤多市著 翻刻 森本 彌吉
小田野直武作? 「猫」の蘭画 加藤慎一郎
書評 歴史に学ぶ 神宮滋(著)
『仁和寺尊寿院阿證』—数奇な運
命を仏道に生きた佐竹氏世子 相馬 登

◆聴 雪 新庄古文書の会
〒996-0084山形県新庄市大手町2-65
大場英一方 TEL0233-29-2786 1997年創刊
◇21 2017.6 B5 116p
戦国の覇者から学ぶ 成澤 清久
私の古文書漫步—講師 大友義助
先生の米寿をお祝いして
「一角あれや人心」—真室川大滝
庄司家文書／永松の銅オランダ
に渡る?—遅沢家文書／血判の
博奕詫び証文／「新庄領村鑑」
に会う—鮭延旭處師のこと／秀
吉・家康・義光の判物(1) 大友 義助
入門講座の学習
御巡見様御通行之御案内覚—萩
野村庄屋広野家文書(解説
大津純一・武田晴美・大友

寿美代・川田健介・成澤清
久・杉原實・福士ちのり・
佐藤周一・小嶋智恵・伊豆
倉公子・早坂武昌・高橋正
則・神崎清次・沼沢美恵子)

解 説 伊藤 勉
印字 解説文・解説文(伊藤勉)
御巡見様御通行之御案内覚一升
形村佐藤家文書(解説 矢
口實・荒川輝夫・梁瀬平吉・
箱山伶)

解 説 土屋 道郎
印字 解説文・解説文(土屋道
郎)

中級講座の学習
古瀬本『古老覚書 五』(解説
武田清夫・沓沢正昭・大山
昭徳・矢口實・佐藤寿也)

解 説 大友 義助
印字・解説文(新國吉朗)／解説
文(大泉友子)

隠明寺家所蔵「地方知行状」につ
いて 伊藤 善一
隠明寺家所蔵「地方知行状」につ
いて 附・隠明寺家について 大場 英一
寺の献立 新國 吉朗

難解な読み 「ロイ」・「𪛗」／悩ま
しい変体仮名／畢・訖・早／巳
・巳・己／朶雲 大友 義助

最上地方における伝統的風習 国
民酒／獅子舞と鹿子踊／重の内
(じゅうのうち)／長百姓の役割
大友 義助

「ふるさと古学野外研修」―出羽の
大庄屋敷と古の秘仏を訪ねる
旅 小嶋 智恵
一粒一滴 「及位(のぞき)」の地名
／「高・盛・取」 (大友)

◆村山民俗 村山民俗学会
〒990-0055山形市相生町2-10 岩鼻通明方
TEL023-628-4752 年3000円 1988年創刊
www.geocities.jp/murayamaminzoku/
◇31 2017.6 B5 84p
里之宮湯殿山神社(末社)「市神神
社」資料の検討―創建初期を中
心として 小形 利彦
米沢藩領中山村絵図覚書 岩鼻 通明
村山地方のシャーマニズムと極東
ツウバの共通性(1) 鈴木 聖雄
秋田県「鳥海山北麓の番楽・獅子
舞調査」覚え書き 菊地 和博
雨乞い伝承とその行事
一天童市の例 村山 正市
前明石・堀込地名考(1) 清野 春樹
結界の石造冠木門と冠木橋 加藤 和徳
天有法印追悼句文の成立背景と松
尾芭蕉 相原 一士
寺社境内のアベマキの巨木につ
いて 横山 昌彦
出羽の行者休造と御室配下の六十
六部集団 市村 幸夫
六十六部行者休造の満願供養 小栗栖健治
資料紹介 六字名号塔と義民伝承
阿部 友紀
書評と紹介 村田弘『山の神・鮭
の大助譚・茂吉 東北からの民
俗考』 岩鼻 通明

◆フークトープ通信 フークトープ通信社
〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12
号室 山田英明方 2015年創刊
◇17 2017.8 A4 2p
菅野八郎が描いたペリーの肖像 阿部 俊夫
フークトープ紀行(17)
棚倉城跡(棚倉町) 赤井 武史

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団
〒960-8116福島市春日町5-54
TEL024-534-9193 2002年創刊
www.history.fcps.or.jp
◇48 2017.6 A4 4p
博覧会・共進会関係の県庁文書に
ついて 山田 英明
米沢藩政下の伊達郡東根郷での鮎
・鰻漁規制 渡邊 智裕
近世農民と破格の戒名 小野孝太郎
「雪香石」の発見と開発 小野孝太郎
河原田盛美と『蚕養手引草』 渡邊 智裕
村人たちの戊辰戦争(3) 山田 英明

関 東

◆茨城史林
茨城地方史研究会(発売:筑波書林)
〒310-0053茨城県水戸市末広町1-5-39
久信田喜一方 年3000円 1972年創刊
◇41 2017.6 A5 178p 1203円
茨城地方史研究会のさらなる発展
に向けて 久信田喜一
古代常陸国河内郡の郷について(2)
久信田喜一
近世筑波山神領の農民騒動 齊藤 茂
下総国相馬郡山王村の旗本吉川氏
の系譜とその支配 近江 礼子
剣客・金子健四郎について あさくらゆう
藻島驛家と雄薩驛家―古代常陸国
北部における地域間交通路 笹岡 明
宮谷県・新治県における戸籍編成
栃木 敏男
土地勘に依る『将門記』の荒筋 坂入 正夫
史料調査班調査報告 水戸市小田
部家文書・水戸市立博物館所蔵
文書(加藤木家・山崎家)・ひた
ちなか市斉藤家所蔵資料・元茨
城大学教授雨宮昭一氏収集資料

(菅澤家・石川家・福地家)の調
査 久信田喜一
書評 野上平著『水戸藩農村社会
の史的展開』 大藤 修
新刊紹介
糸賀茂男著『常陸中世武士団の
史的考察』 高橋 修
鴨志田昌夫著『古文書を聴く』野内 正美
橘松壽著『水戸藩林制史の研究』
野内 正美

◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会
〒304-0056茨城県下妻市長塚乙77
TEL0296-43-3418 1976年創刊
◇42 2017.5 A5 142p
下妻・半谷に思うこと 落合 幸雄
地域に根ざす活動 川口 浩己
民生委員制度百周年を迎えて 鯨井登美子
沼尻邸物語
一秩父宮殿下のボートレート 塚越 節
民話と今 吉原 好男
一冊の本との邂逅 近藤 久雄
おわら風の盆 飯田みつ江
井上下妻藩主が警護した城郭及び
城門について 佐久間秀樹
研修視察記「明治維新後に造られ
た水戸徳川家の戸定邸と一茶双
樹記念館」 小島 常正

◆長塚節の文学 長塚節研究会
〒300-2707茨城県常総市本石下4639
TEL0297-42-2003 年3000円 1994年創刊
◇22 2017.4 A5 41p 1000円
長塚節の三重の歌碑 橋本 俊明
高村薫『土の記』を長塚節『土』
と読み比べる 山形 洋一
尋常中学校の青春―長塚節 飯島 雅行
書簡に見る外池達之助との関わり

一長塚節の人間性 桐原 光明
追想一節さん 黒田 次郎
でんしんばしらと男性のこと 成井 恵子
自然療法、温泉療法からみた長塚
節(後) 岩渕 憲弥
節と旅の歌(3) 飯塚 和子

◆水戸史学 水戸史学会

〒310-0852茨城県水戸市笠原町979-42
但野正広方 TEL029-243-6910 1974年創刊
◇86 2017.6 A5 86p
藤田幽谷と徂徠学 梶山 孝夫
明治維新前後の群像 水戸藩留守
物頭格石河幹忠墓碑の建立 仲田 昭一
天智天皇の史的評価 山本 直人
烈公による水戸八景選定意図の考
察 山本廣泰／黒澤和郎
「水戸城下屋敷割圖」に水戸藩士
を追う(2) 齋藤 郁子
「日本遺産・弘道館の戦災焼火証言
記録」一鳥居延氏『則男のため
に、私の自序伝』から 中三川武夫
現代の徂徠学
一新水戸学論に警告する 名越 時正
幕末の会津藩士と水戸藩諸生派の
生き様一六十二年振りの会津訪
問に思う 松井 典夫

◆歴史文化研究(茨城)

歴史文化研究会(茨城)
〒270-0035千葉県松戸市新松戸南2-25-
B205 三石善吉方 TEL047-345-5323
年5000円 2014年創刊
◇4 2017.7 A5 163p
権力は腐敗しがちです。しかも絶
対的な権力ならば絶対的に 三石 善吉
海保青陵の経済論(下) 吉田 俊純
大川周明の世界観と西欧近代の異

端思想(後)「神秘主義」思想
の可能性—R.シュタイナー、F.
ヴァレラからの視線を通して 菅谷 務
演歌とは何か?—大正ロマンから
昭和アイドルへ 平山 朝治
台湾人から見た日本首相の靖国神
社参拝問題 于 乃明
会員の新刊書の紹介
吉田俊純『水戸学の研究—明治
維新史の再検討』 平山 朝治
加納喜光『数の漢字の起源辞典』 三石 善吉

◆史談 安蘇史談会

〒327-0004栃木県佐野市赤坂町229
大高八三郎方 TEL0283-24-3232 年2000円
1985年創刊
◇33 2017.4 A4 218p
日本金属工芸の極み“茶の湯釜展”
を観て 京谷 博次
史料紹介 高瀬家文書所収の佐野
(北条)氏忠文書について 鴨志田智啓
足利義兼の入定について 川田 春樹
秋の安芸の宮島・萩を旅して 篠崎 澄子
『最澄発願の六所宝塔院』とは 永島 正夫
天国、邪馬台国、倭国、日本国の
歴史 清水 喜三
藤原秀郷ゆかりの仏閣 大森千哥子
初詣“ランダム” 松中 清子
田沼意次は最初「もつぐ」だっ
た(意次研究余話) 関根 徳男
史料紹介 安蘇郡富岡・君田両村
「元和四年の水帳」から 京谷 博次
佐野市文化協会の「功労賞」を受
賞して 黒田 哲哉
歴史上の出来事を記す石碑と道し
るべ 小松原圭一
史料紹介

森鷗村発行の『文明新誌』 廣木 雅子
佐野市議会で取り上げた須永元 大川 圭吾
若葉會会報『わかば』を読む—太
平洋戦争終戦直後、安蘇郡田沼
町に誕生した「若葉會」の動向
を探る 海老原脩治
史料紹介 「御家御系圖」に見る
井伊直政公事績 京谷 博次
古河市歴史シンポジウムに参加し
て 安蘇史談会
唐沢義勇少年団から唐沢子供会へ
(後) 日本ボーイスカウト運動
の父佐野常羽と安蘇の少年達 大高八三郎

◆歴史と文化 栃木県歴史文化研究会

〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1992年創刊
◇26 2017.7 A4 106p 2000円
表紙写真解説 宇都宮氏軍旗
高津古文化会館所蔵 江田 郁夫
巻頭言 ユネスコ無形文化遺産登
録一鳥山の山あげ行事と鹿沼今
宮神社祭の屋台行事 荒川 善夫
本会第26回大会関連論文
近世の家族と身分 水本 邦彦
北関東の庶民剣士と江戸時代論
の見直し 平川 新
近世における「再発見」時の那須
国造碑とその周辺 吉原 啓
史料紹介
鈴木石橋著「惻隠余情 全」翻
刻補註・口語訳 阿部 昭
小泉檀山研究—『森銑三著作集』
「読書記」から 小林 聖夫
書評 野口実編『小山氏の成立と
発展 軍事貴族から中世武士の
本流へ』 山本 享史

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
年4000円 1991年創刊
◇104 2017.7 A4 4p
《特集 信仰のかたちを読み解く》
信仰のかたちを読み解く 千田 孝明
常行堂の阿弥陀如来坐像について
一宝冠阿弥陀と四菩薩像 大澤 慶子
日光山と地域社会
一瀧尾権現奉納品をめぐる 佐々木 茂
下野の板碑と中世的信仰世界の転
換 齋藤 弘
新刊紹介 『宇都宮市水道百周年
下水道五十周年史』

◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
1993年創刊 www.asahi-p.co.jp
◇48 2017.5 A4 36p
《甘楽町地域特集》
歴史を掘る 群馬県指定重要文化
財 西大山遺跡出土の鐙轡 小安 和順
群馬県立歴史博物館リニューアル
オープン 右島 和夫
第24回 石川薫記念地域文化賞
功労賞 金井竹徳／研究賞 飯
島義雄、藤井茂樹、久保康顕
発掘情報 群馬県指定史跡 旧小
幡藩武家屋敷松浦氏屋敷の園池
発掘調査 小安 和順
図録 ぐんまの文化財
甘楽町の文化財一覧 横尾 政志
ぐんまの歴史入門講座
第179講 下小塚V遺跡の弥生時
代の土器—甘楽中学校建設地
の発掘調査 小安 和順

第180講 甘楽郡司「国峯小幡氏」
とその末裔 櫻井喜代司
第181講 名勝 梁山園 小安 和順
第182講 小幡藩松平家と喜多流
羽衣会 柴山 豊
第183講 甘楽町の石造文化財
石造文化財の見方(37) 秋池 武
古文書解読入門講座(35)―古文書
から歴史を読む 秋畑村と上日
野他二ヶ村との山論―元禄八年
長谷部すみ
地域づくりと文化遺産
甘楽町の歴史と文化遺産 柳澤 清次
ぐんまのくらしと民俗
上野地区のくらしと民俗 吉田 恭一
ぐんまの地方豪族
甘楽の豪族を訪ねて 櫻井喜代司
ぐんまの川と生活 雄川堰 小安 和順
ぐんまの人物誌
森平喜十郎氏について 森平 詔一
ぐんまの郷土芸能 那須の獅子舞
横尾 政志
ぐんまの地名 甘楽町の地名 小安 和順
研究・学習サークル活動紹介
甘楽町郷土史研究会 齋藤 正豊
出版情報 地域の刊行物紹介
ぐんまの自然と風土
甘楽町の自然と風土 横尾 政志
◆群馬地名だより 群馬地名研究会
〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方
TEL027-265-3859 1989年創刊
◇92 2017.5 B5 8p
世良田環濠集落遺跡―中世世良田
の景観復元に向けて 須田 茂
◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2

宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊
blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
◇329 2017.4 A5 118p
《特集
群馬県における地方史研究の動向(9)》
総説 丑木 幸男
考古
阿久津智和／小川卓也／日沖剛史／浅
間陽／深澤敦仁／出浦崇／青木利文
古代 小野里了一
中世 野口華世／青木裕美
近世 細井茂樹／中村茂／関口莊石
近代・現代 丑木幸男／福田博美
民俗 板橋春夫／伊藤克枝
鈴木英恵／永島政彦
地理 町田 悟
小区画水田の歴史的価値
―群馬から東アジアへ 齊藤 英敏
平井城の防禦とその構造
―ありし日の平井城の復元 田野倉武男
上野三碑ボランティア会設立と活
動 和田 健一
ぐんま絹遺産紹介(4)
富沢家住宅 劔持 直樹
蓮根の大クワ 沼田市文化財保護課
口絵『日本名山図会』―群馬県立
歴史博物館蔵品資料 No.130 中山 剛志
◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊
www16.plala.or.jp/kuzira226/
◇249 2017.5 A5 56p
沼田藩奥医師村松玄庵の墓碑銘か
ら分かったことなど 井野 修二
炉端ばなし『北条高広と前橋』関 久
高山彦九郎日記による歴史散歩
(57)『北行日記』(16) 正田 喜久

東日本大震災で今も続く主の不在
(富岡町) 黒崎 晴夫
金剛寺興隆碑を読む 北爪 隆雄
『前橋九小記』について 井野 修二
資料紹介『上毛及上毛人』所載
の「厩橋十二景」 井野 修二
短歌 江戸を歩く―吉原・浅草周
辺(1) 平田 経子
歴史散歩の報告(事務局企画)
出雲・石見を歩く(鳥根県) 山崎 正
赤穂義士像と忠僕元助―自性寺
焼・咲前神社・磯部城址 山崎 正
◇250 2017.7 A5 56p
群馬の市街地学ハイキング(1)
前橋市コース「前橋台地のなり
たちと人々のかかわり」
中島啓治／矢島祐介／大塚
富男／中村庄八／野村哲
井伊家に嫁いだ酒井家の姫清蓮院
井野 修二
安中市秋間『赤穂四十七義士石像』
がある群馬は「忠臣蔵」空白県
じゃない 鈴木 繁
群馬フォーラム
中世彦部氏の武士像 彦部 篤夫
高山彦九郎日記による歴史散歩
(58)『北行日記』(17) 正田 喜久
◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1979年創刊
◇150 2017.6 B5 4p
上州白旗一揆の構造 久保田順一
加能地域史研究会・群馬歴史民俗
研究会共同研究会(群馬ラウン
ド)共同研究会記事「加賀・能
登と上州の交流」
共同研究会(群馬ラウンド)に参加

して 坂本 達彦
基調講演要旨 佐藤孝之氏「加賀
・能登から上州へ―近世におけ
る交流の一齣―」 佐藤 孝之
研究報告要旨
鈴木英恵氏「医療民俗学の創設
―長岡博男と根岸謙之助の業
績から―」 鈴木 英恵
板橋春夫氏「葬式と赤飯―石川
県と群馬県の事例から―」 板橋 春夫
◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
〒350-0231埼玉県坂戸市泉町12-5
大圖口承方 TEL049-281-4983 年4000円
1929年創刊
◇326 (64-1) 2017.5 A5 46p
幕末における江戸近郊農村の農間
余業について(1)―武蔵国足立
郡代山村における農間余業の実
態 池田 政弘
宝治合戦と武蔵国の越生氏 山野龍太郎
長瀨町の応安の板碑と関連史跡
(2)―三つの古記録に基づき応
安の板碑の大きさを検証する 村田 嘉行
「寅子石」の供養―蓮田市馬込の
「お寅御伽」に参列した 赤石 光資
資料紹介
与太者と七とその周辺(2) 佐藤 繁
深谷上杉氏家臣の帰農の記録 奥田 豊
表紙写真解説 神川町関口所在の
年不詳石塔塔身 (四方田)
勝宮内少輔宛上田長則判物 大圖 口承
例会報告
第678回 越谷市見学 高橋 武夫
第679回 東京都板橋区見学 高橋 武夫
◆武蔵野 武蔵野文化協会
〒362-0011埼玉県上尾市平塚976-5

加藤方 武蔵野頒布会 TEL048-775-6918
年4000円 1918年創刊

◇356 (92-1) 2017.5 A5 104p
《特集 武蔵野文化協会 創立100周年記念号》
記念式典 ご挨拶 坂詰秀一／五十嵐政郎
記念講演会
武蔵野会(武蔵野文化協会)の百
年 樋渡 達也
武蔵野の考古学一〇〇年 坂詰 秀一
前武蔵介源仕の武蔵国国衙襲撃
事件について 彦由三枝子
円覚寺の結界は守られるか―鎌
倉歴史遺産保護のあゆみ 八幡 義信
記念座談会 “武蔵野”の回顧と
展望 坂詰秀一／樋渡達也／島田正人／中
家健／高麗正／伊佐九三四郎／彦由
三枝子／司会 根岸茂夫・加藤功
付 戦後・武蔵野文化協会主な役
員表／武蔵野文化協会 創立一
〇〇周年のあゆみ
「武蔵野会」はいつ命名されたか
―大正五年七月「創立」の検証
三橋 広延
武蔵野会発足時の人たち
―鵜外関係者との係わり 鈴木 繁
鳥居龍蔵博士を偲ぶ旅
―中国西南部調査行の跡 伊佐九三四郎
私と『武蔵野』 木村 旭志
「本多コレクション」に寄せて 坂詰 秀一
父本多章吉と武蔵国分寺瓦の収集
本多 孝一
創立一〇〇周年記念会記念品藍染
・クリアファイル図版の解説 加藤 功

◆我孫子市史研究センター会報
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17
岡本方 TEL04-7149-6404
www.geocities.jp/abikosisiken/

◇182 (通489) 2017.4 A4 8p
市文化財整理室・収蔵庫の見学記
東 日出夫
近世後期我孫子市域における番人
について―その役割・身分 竹森 真直
◇183 (通490) 2017.5 A4 12p
「鎌ヶ谷市を訪ねる」に参加して 石井 俊子
特集 金井準さんを悼む
金井さん、有難うございました。
東 日出夫
ありがとう 金井準さん 荒井 茂男
金井準さんの思い出 岡本 和男
金井さんとのこと 金成 典知
さようなら金井さん 柴田 弘武
金井準さん、お疲れさまでした
関口 一郎
惜しい人、金井準さん 三谷 和夫
金井準さんを偲ぶ 山崎 章蔵
◇184 (通491) 2017.6 A4 10p
歴史部会5月の発表 志賀直哉作
品に登場の我孫子を探る 荒井 茂男
北信濃・栄村「こらっせ」訪問記
関口 一郎
日光街道を歩く(1)
(日本橋～千住宿) 矢野 朝水
◇185 (通492) 2017.7 A4 16p
歴史探訪部会6月の活動 小堀河
岸などへの歴史探訪に参加して
石井 英朗
平成29年度第二回歴史探訪部会
歴史探訪「古利根沼・中峠城址・
小堀から渡し船で取出へ」探訪
参加記 古田 忠義
歴史探訪部会・座学 “利根川水
運―中流域の河岸―”に参加し
て 山本 包介
歴史部会6月研究講座発表要旨
日秀の将軍伝説と相馬則胤一史

実と伝承のはざまで 飯白 和子
◇186 (通493) 2017.8 A4 8p
我孫子の社寺を訪ねる(23)
中峠地区(3) 田中 由紀
近隣市町の歴史資料館見学(3)
利根町立歴史民俗資料館 萩原 正美
日光街道を歩く(2)
(千住宿～草加宿) 矢野 朝水
◇187 (通494) 2017.9 A4 8p
第11回歴史探訪部会主催 相馬霊
場札所参り 相馬霊場の札所参
り 矢野 朝水
天王台北近隣センターで「我孫子
の歴史」講演会が開催される 萩原 正美
逆井萬吉氏著『渡し船高校生』を
読む 谷田部隆博
日曜部会古文書講座 新テキスト
「我孫子宿乗船一件書抜扣」に
ついて 清水千賀子

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報
〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6
野村忠男方 TEL043-487-1033 年2000円
2012年創刊
◇16 2017.5 A4 12p
志津の地名について(5) 田中 征志
地名のみかた 滝口 昭二
座談会報告 昔の角米・江原につ
いて 座主 京増博氏／来賓
兼坂誠氏／司会 山部紘氏／出
席 佐倉地名研究会々員 編集 局
コラム 鷲神社と先崎西原遺跡 宮武 孝吉
浦島太郎伝説 瀬田 華貴
野田の「古海道」とは 伊藤 清
日本人の苗(名)字のあれこれ 森 康世
新刊紹介
『土の風』大谷照さん著 読者投稿

◆大巖寺宝物殿ニュース
〒260-0812千葉市中央区大巖寺町180
TEL043-261-2917
◇1 2017.8 B5 4p
創刊のごあいさつ 長谷川匡俊
トビックス 祐天上人と祐天桜 石川 達也
第一期大巖寺宝物殿歴史文化講座
のご案内
大巖寺の歴代(1)
開山 道誉貞上人 石川 達也
ミニ企画展のご案内
「江戸時代の僧侶養成」
寺宝紹介(1) 銀茶碗 二個 黒田 千尋



*大巖寺は天文年間(1532-1555)に創建されたと伝えられる浄土宗の寺院で、早くから檀林(僧侶養成機関)が設置されていたという。2016年10月に落慶法要を行って宝物殿を開館した。開祖直筆の名号・寿碑、徳川家康と將軍家の寺領安堵状(朱印状)、家康より拝領の銀茶碗などの草創期を伝える資料、中世期の仏画類などのほか、檀林としての入寺帳(学籍簿)、木活字版の教科書、宗派血脈の巻物、宗門改帳、また、境内が「鵜の森」として千葉県の天然記念物に指定されていた時期があったことからその神伝の絵巻物などを収蔵する。今後は、企画展示や歴史文化講座の開催と共に、ニュースは年2～3回発行し、大巖

寺の歴史や周辺地域の宗教事情などを掲載していく予定とのことである。末永い継続を期待したい。

◆館山と文化財 館山市文化財保護協会

〒294-0036千葉県館山市館山1380-1

加藤七午三方 TEL0470-22-3819

◇50 2017.3 B5 88p

安房国三十四ヶ所・八十八ヶ所の

開創時期について 清水 信明

「駿河屋墓碑」について 殿岡 崇浩

真野寺観音堂の諸像と大黒天立像

について 池田 英真

不動堂外棟や境内地等から見た修

験の寺 大山寺 青木 徳雄

富津市正珊寺の旗本小笠原氏関連

石造物 早川 正司

楽しかった埼玉の寺社めぐり 櫛引 和江

安房人の足跡を探る旅に参加して

平澤とみ子

平成28年度協会記事

史跡探訪「第15回寺社めぐり」

「埼玉県の旧跡と文化財を訪

ねる」

館山市文化祭参加講演会「古代

の館山と景行天皇・ヤマトタ

ケル」 前之園亮一

県外文化研修「静岡県に安房人

の足跡を探り、運慶仏を拝す」

旅

◆千葉史学 千葉歴史学会

〒263-0022千葉県市稲毛区弥生町1-33 千葉

大学文学部内 TEL043-251-1111 年4000円

1982年創刊 chibareki.blog.fc2.com

◇70 2017.5 A5 100p

《特集 資料からみる房総の歴史》

「資料からみる房総の歴史」にあ

たって

大和王権と古代房総の豪族との関

係―千葉県市原市稲荷台一号墳

出土「王賜」銘鉄剣 石渡 芳樹

木簡にみる房総三国のはじまり 服部 一隆

奈良・平安時代の人々の暮らしと

祈り―印西市池ノ下遺跡の多文

字墨書 吉井 哲

中世初頭の骨堂供養と僧侶からみ

るやぐらの原初について 松本 勝

中世香取社と茶園 石渡 洋平

天正三年の房越同盟復活―里見氏

の「遠交近攻」戦略と誤算 織田 大樹

福島藩主時代の堀田正虎書状

―堀田家中河原文書より 土佐 博文

新井文山水像 宮坂 新

金谷神社の備前焼の狛犬―江戸湾

防備諸藩の残したもの 筑紫 敏夫

塩谷宕陰『海防或問』

―江戸湾海防と地引網漁業 清水 詩織

加納久朗書簡―加納久宜、久朗父

子の地方改良運動 加藤 時男

石川照勤宛吉植庄之輔書簡―吉植

庄一郎総選挙立候補に際して 矢嶋 毅之

佐藤舜海宛西寛二郎書簡 中澤 恵子

鉄道聯隊橋脚 高木晋一郎

忘れられた基地

―豊海高射砲演習場 中村 政弘

近世関西商人の上総国進出史料に

ついて―民俗学と古文書 菅根 幸裕

オビシヤで祀られる「御日記」―

栄町酒直のオビシヤ儀礼と文書

金子 祥之

房総にあるお練り系獅子とその系

譜 田村 勇

博物館所蔵の民俗資料

―資料整理と活用 小川 浩

新刊紹介

後藤雅知・吉田伸之編著『古文

書でよむ千葉市の今むかし

近世編』 岩本 和恵

木村涼著『八代目市川團十郎

気高く咲いた江戸の花』 鈴木 一美

内田理彦編『昔日佐倉拾遺録』 白谷 茉莉

佐々木徹校閲『佐々木卓夫日記』

松浦 真二

参加記

東国古代遺跡研究会茨城大会参

加記 浅野 健太

千葉市立郷土博物館蔵「原文書」

見学会に参加して 江澤 一樹

◆房総古代道研究 房総古代道研究会

〒290-0073千葉県市原市国分寺台中央6-12-

3 山本勝彦方 2016年創刊

◇1 2016.12 A4 70p

ごあいさつ 上総国歴史資産の活

用推進について 西山 勝裕

海上潟と「カゴンツ」について 谷島 一馬

上総国の藤瀧駅について 前之園亮一

更級日記から見た上総国いちばら

佐々木虔一

出土文字から探る上総国分寺の一

様相 天野 努

市原市に残る昔の道路元標 松浦 清

明治初期の島野周辺地図の復原 伊藤 邦昭

悠久の流れ 桑田 尚子

千葉家最後の当主・重胤と上総国

海保村との繋がり 霜崎 博之

上総国海保村「道中日記帳」から

見えるもの 霜崎 博之

古代北陸道の歴史的話題について

西山 勝裕

市原市議会で取り上げた「上総国

府と古代道」 宮下 勇治

上総国府の国衙は『市原』にあり

山越 國臣

上総国分寺建立の推進者と設計者

について 山本 勝彦

奈良朝政変史に躍動した上総国の

国守たち 山本 勝彦



*房総古代道研究会は千葉県市原市で活動する地域歴史研究会である。創刊号巻頭に、2005年8月に市原市長に具申した「上総国歴史資産の活用促進について」を掲載し、他地域に類例を見ない歴史資産として、「神門(ごうど)五号墳」など3点の史跡、百済王敬福など土地と関係する6人歴史上の人物、親王任国制度、源頼朝、足利氏、徳川家康との縁などを示し、また、上総国国府の位置究明を含め、こうしたことの研究や発信が、故郷への大きな誇りと愛着を醸成させ、住みたい町づくり貢献するものと訴えている。万葉時代から続く「カゴンツ」と奇妙な呼称のついた湊、『延喜式』にある藤瀧(フジヌマ)駅推定地、『更級日記』からみた上総国、奈良朝政変期の上総国守の動向など、いずれもロマンに溢れ興味深い。

◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-

404 木原律子方 TEL047-473-3540

年3000円 1980年創刊

◇133 2017.4 B5 8p
第3回勉強会報告 第1回石仏基礎研究 早川正司氏
石仏見学会報告
行徳周辺の石仏を探る 大塚 武彦
ムラのおかみさんたちは強かった
！ 同日建立のムラの講の供養塔 巖 由美

◇134 2017.7 B5 6p
29年度定期総会終わる！ 総会議事内容／講演会報告 伊藤尚徳師「梵字の基礎知識」
6月第1回勉強会の報告 第一部・講演「祐天上人名号塔について」、第二部・石仏基礎研修Ⅱ「拓本の基礎研修」
灯台下暗し 渡邊 昌之

◆あしなかな 山村民俗の会
〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2
塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円
1939年創刊 www.8.ocn.ne.jp/~sanmin/
◇309 2017.6 B5 22p
表紙解説 長谷川雪旦「六郷渡場」の図(『江戸名所図会』巻二所収) 編集 室
山里探訪 高麗川水系の峠道一奥武蔵水源を行く・その2 飯野 頼治
汗馬山とその山名由来一信州下伊那郡下條村・阿南町境界 山田 哲郎
多摩川下流・羽黒社と民俗信仰
一『江戸名所図会』「中丸子羽黒権現」を絵解く・その1 岡倉 捷郎
山里だより(26) 里芋あれこれ話
一丹波美山町から 西浦 左門
旅の草ぐさ(22) 奥武蔵・伊豆ヶ岳周辺を歩く一『あしなかな』の報告を辿って 荒井 俊昭

◆足立史談
足立区教育委員会足立史談編集局
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇590 2017.4 A4 4p
千ヶ崎梯六 水彩画 江村残雪と
不明工場の描画場所の特定について 鈴木 恒雄
千住掃部宿の「旧書留」から(5)
宿場役人と冥加永 多田 文夫
資料紹介
戦前の小学校改築の写真 郷土博物館
◇591 2017.5 A4 4p
関屋天満宮の遷座祭 郷土博物館
千住掃部宿の「旧書留」から(6)
貫目改所と除地 多田 文夫
足立区登録民俗文化財
押部阿弥陀院百万遍
◇592 2017.6 A4 4p
千住掃部宿の「旧書留」から(7)
町奉行支配下の千住一「江戸」と外の境界にある「町」の事例 多田 文夫
関屋天満宮の遷座祭から
関屋天満宮移転について 荻原ちとせ
コスプレイベントと刀剣の臨時展示について 奥村麻由美
◇593 2017.7 A4 4p
船津静作翁に連なる人々 伊澤 隆男
浮世絵展「美人画名品展」より
松方三郎と浮世絵コレクション 小林 優
注目される博物館の収蔵資料
『國華』第1460号、鈴木堅弘著
『とんでも春画 妖怪・幽霊・けものたち』
◇594 2017.8 A4 4p
絵図が語る千住宿 郷土博物館

新しい千住宿案内ができました！
戦時下の小学生生活一千寿第四小学校関係文書 佐藤 貴浩

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇349 2017.4 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(12) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 サクラ
サクラ未だ開花せず 4月1日
寒さの中の探訪でした
足立史談に繋ぐ「葛飾史談」10号から(昭和33年11月1日号)
「牧野富太郎博士を偲ぶ」田辺 彌太郎
◇350 2017.5 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(13) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 キササゲ 大鷲神社保存樹林／センジュネギ
芭蕉胸像を宿場の象徴に 次回は区民教養講座／第二回・芭蕉翁顕彰の集い／芭蕉翁顕彰俳壇／芭蕉直筆本「於くの細道」(岩波書店)
◇351 2017.6 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(14) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 ゴヨウマツ／常設展示に「学童疎開」
4月探訪 小名木川を歩く
竹内秀夫編「新聞・官報に見る足立」大正二年の一 荒川堤のサ

クラ関連記事をひろう
◇352 2017.7 A4 12p
千住・足立の江戸文化と俳諧 7月9日・区民教養講座 多田文夫先生のお話から
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(15) 堀川 和夫
長島弘二画伯を偲ぶ(享年89歳) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 千住仲町氷川神社 ヒマラヤスギ
東京大学構内を歩く
関屋天満宮遷座祭 平成29年4月16日執行 千住仲町氷川神社
宮司・竹内一郎
仲町氷川神社鎮座関屋天満宮遷座について 相川勤之助
竹内秀夫編「新聞・官報に見る足立」大正二年の2 荒川堤のサクラ関連記事をひろう
史談会紙上ギャラリー
千ヶ崎梯六展
ロクブ様二五〇年忌にあたって
たずね人 本木村の六部 羽田 栄太
六十六部回国のこと 安藤 義雄
◇353 2017.8 A4 8p
終戦直後の日本の教育改革の原点
米国教育使節団の報告書(16) 堀川 和夫
保存樹散歩 保存樹が見てきた町の歴史 千住仲町氷川神社の続き／学童疎開資料展
鷗外忌参列報告 唐沢 邦子
工事場のフェンス
河合栄治郎生家跡
戦争の記憶と平和への取り組み
一戦後70年・多摩26市の場合 竹内 秀夫

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇120 2017.6 A4 10p
徳川御殿@府中(1)
府中御殿の発見 深澤 靖幸
最近の発掘調査 本宿三叉路付近
の区画溝 本宿二丁目 西野 善勝
NOTE
茅葺き建物のメンテナンス 佐藤 智敬
展示会案内
企画展 甲州街道と府中宿 花木 知子
開館30周年記念 特別展 オレ
たち夏のキラ KILLER われ
者 中村 武史
開館30周年を迎えての…あれこれ
(1) ユニバーサルミュージアム
へ 花木 知子

◆板橋史談 板橋史談会
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3
大澤鷹遼方 TEL03-5398-2682 1966年創刊
www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/
◇292 2017.5 B5 31p
表紙写真解説 「上板橋子育地蔵
の縁日」 写真と文 井上富夫
「我が家の行事と食」覚え書き(4)
一昭和三〇年代向原の農家を振
り返って 三原寿太郎
板橋区史編さんと公文書館運営に
関わって(6)一板橋史談会と私
の縁 松浦 勉
追 悼
吉田隆光さん(相談役)を悼む 井上 富夫
相談役吉田隆光氏を偲んで 大澤 鷹遼
◇293 2017.8 B5 44p
表紙写真解説 「まこも馬と七夕

飾り」 写真と文 井上富夫
「我が家の行事と食」覚え書き(5)
一昭和三〇年代向原の農家を振
り返って 三原寿太郎
東地滄厓の書業と板橋 石塚 輝雄
板橋区史編さんと公文書館運営に
関わって(7)一板橋史談会と私
の縁 松浦 勉
ひろば
赤塚松月院で晋山式 中村 正宏
札所巡りと御朱印集めを楽しむ
一関東三十六不動巡りに挑戦
井上 富夫
板橋文化財瓦版 板橋火薬製造所
跡が国史跡に！ 井上富夫・発信
短報 板橋区文化財情報 事務局

◆奥武蔵 奥武蔵研究会
〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7
https://www.okumusashi.club
◇415 2017.5 B5 24p
変わりゆく奥武蔵、そして秩父 小泉 重光
スマホを持って山に登ろう 小泉 重光
奥武蔵・秩父の獅子舞(68)
一神仏混淆、入曽の舞 関口 洋介
◇416 2017.7 B5 22p
変わりゆく奥武蔵、そして秩父(2)
小泉 重光
キジの生態について 藤本 一美
奥武蔵・秩父の獅子舞(69)
一神仏混淆、入曽の舞 関口 洋介

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会
〒160-0012東京都新宿区南元町13-7
TEL03-3355-4188
◇206 2017.6 A4 8p
催事スケッチ 佐原大祭 観客を
興奮させる華やかな山車の曳き

廻し 千葉県香取市佐原
写真・文 渡辺良正
一般社団法人儀礼文化学会 第37
回春季大会開催一催し“舞楽”
を堪能
会長式辞 中島精太郎
理事長挨拶 倉林 正次
催し「舞楽一悠久からの贈りもの」
松崎 睦彦
欽宴 和やかな語らいの輪 佐々木幸子
会員を訪ねる 富士山本宮浅間大
社／真清田神社
儀礼文化セミナー(平成28年度第4
回) 神道「湯島天神梅まつり」
佐々木 寛
儀礼文化講座(平成28年度第8回)
儀礼文化論「カタチの儀礼文化」
講師：倉林正次
儀礼文化研究会発表報告 平成28
年度第2回 発表題目「花瑶族
の婚礼にみられる服飾文化一湖
南省における花瑶族の内発的地
域振興資源としての活用に向け
て」阮將軍／「ヤオ族の掛三
灯儀礼の比較研究一湖南省藍山
県における盤家・趙家の事例」
三村宜敬

◆北区史を考える会会報
〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊
◇124 2017.5 B5 8p
第409回 講演会 自分史へのお誘
い 倉木常夫氏 馬場 永子
第410回 月例研究会 北区の同潤
会住宅一醍醐・森谷両氏報告の
補筆 本間 孝夫
志茂に居た頃 高橋 昇

◇125 2017.8 B5 12p
《粘土型遊びの特集号》
第411回 月例研究会
「粘土型遊び」とは何か？ 領塚 正浩
「粘土型遊び」と歩んだ半世紀
型屋の元締め 菅原道彦
型屋の商売と粘土型遊び 領塚 正浩

◆産業考古学研究 東京産業考古学会
〒134-0087東京都江戸川区清新町1-1-17-
306 吉田修方 FAX03-3804-8716
2014年創刊 年2000円 tias3.web.fc2.com
◇4 2017.5 A4 51p
蒸気機関車保存活動の実際(1) 中島 大悟
四本木稲荷に旧陸軍造兵廠各工場
の跡を見た一滝野川四本木稲荷
神社の奉納品の現況について 八木 司郎
シルク遺産の保存と活用 平井 東幸
その歩み、名とも忘却へー絹遺産
残さなかった「昭栄」 奥原 一三
博物館紹介 セルロイドハウス横
濱館一後世に遺すセルロイド産
業文化遺産 吉田 修
フォーラム 身近な産業遺産を教
育に生かすー一般缶業界による
教材DVDの制作を通して 多田 統一
追悼 矢島不二男氏を偲ぶ 平井 東幸

◆品川歴史館紀要 品川区立品川歴史館
〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
TEL03-3777-4060 1986年創刊
◇32 2017.3 B5 66+34p
《特集 特別展「品川産業事始ー日本を支え
た近代遺跡群ー」》
品川硝子の軌跡ー「和吹き」から
「舶来吹き」へ 井上 暁子
富岡製糸場の発掘調査 井野 雄介
近代産業を支えた品川白煉瓦 中野 光将

品川硝子製造所の英国人ガラス技師ジェームス・スピード：私の曾祖父 サリー・ヘイデン／吉岡律夫・訳
品川硝子のマイスター「大重仲左衛門」 吉岡 律夫
明治時代における関東南部の耐火煉瓦の生産と流通 中野 光将
史料紹介 「品川神社文書」にみる火災関係史料(上) 萩島 聖美

◆石神井公園ふるさと文化館ニュース

〒177-0041東京都練馬区石神井町5-12-16
TEL03-3996-4060
www.neribun.or.jp/furusato.html
◇25 2017.6 A4 4p
練馬区独立70周年記念展 企画展
「独立70周年—練馬区誕生への軌跡—」
分室特別展「デビュー30周年記念
いとうひろし展—みつげよう、
わくわくのタネ—」
第5回ねりま手工芸公募展
平成28年度寄贈・寄託資料
練馬区独立70周年記念事業 ねり
ま文化ウィーク

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊
◇97 2017.4 A4 6p
家康の江戸城天守の謎—松江市歴
史館蔵絵図は連立式天守
第6回「中国の城郭と万里の長城
の旅」から 応県と大同平城の
城壁
瀧の城址整備事業第五次発掘調査
から 奥田 好範
最近の注目された城郭関係図書か

ら／各地の城郭研究会活動から
／日本城郭史学会活動から
◇98 2017.7 A4 6p
ローマ帝国・オスマン帝国のコイ
ン 沖縄 勝連城址で出土
京都市考古資料館特別展「伏見城
と淀城」から
阿波(徳島県)の城について
最近の注目された城郭関係図書か
ら／日本城郭史学会活動から

◆杉並郷土史会会報

〒167-0022東京都杉並区下井草3-12-9
新村康敏方 1973年創刊
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/
◇263 2017.5 A4 8p 400円
佐久間象山「望岳賦」碑と妙法寺
参詣道の変遷(2) 寺田 史朗
寺崎英成と終戦直後のこけし屋 井口 俊明
東京文化財ウィーク2016 荻外荘
(近衛文麿旧宅)と周辺文化財を
訪ねる 服部 建人
土に埋もれた荻外荘を調査
◇264 2017.7 A4 8p 400円
御門訴事件—葉隠武士の占領政策
真板 道夫
清風荘訪問 新村 康敏
訃報 井口大吉さん 享年87才

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9 北村国男
方 TEL03-3844-2008 1987年創刊
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
◇61 2017.4 A4 16p
はじめに 会の現状と課題 北村 国男
隅田川大学公開講座 講演会
『獣害から森を守る—日本オオ
カミの復活』 講師：岩堀弘

明 岡部 恒雄
ポスト五輪にむけて、東京に未
來を描く 『水辺空間』の活
性化—水上交通システムを中
心に— 高松 巖
当講座開設にあたって 猪狩 達夫
まちふねみらい塾の目指すもの 高松 巖
隅田川大学公開講座 講演会
『魚って面白い』 関森 清己
会報『すみだ川』の編集によせて
渡辺 早苗
北区にある荒川鉄橋の土手 馬場 永子

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016東京都新宿区信濃町17-1
大島方 年2000円 1957年創刊
seikouminzoku.sakura.ne.jp
◇239 2017.6 B5 33p
沖縄県竹富島西塘御嶽の大晦日年
越し行事 松尾あずさ
青森県津軽地方における高山稲荷
信仰の民俗学的研究 泉澤 諒
千葉笑い 大島 建彦
川崎市高津区末長の明鏡寺のきゅ
うりまじない 清水 亨桐
沼津市西浦江梨の大瀬神社をめぐ
る伝承 小池 淳一

◆せたかい 世田谷区誌研究会

〒156-0045東京都世田谷区桜上水3-12-13
新川陽一方 TEL03-3302-4575 年2000円
1951年創刊 fsv.setagaya-kushiken.jp
◇69 2017.7 B5 86p 1000円
追 悼
瀬村進元副会長を偲んで 内山 昌玄
瀬村進さんと私 半澤 健市
世田谷線 沿線各駅散歩道(4)
上町 中村 甲

国際地名 ガヤ(ト)を探ねて 直井さかえ
風と共に往った二つの「ボール・
パーク」 奥野 徳男
世田谷に伝わる話
—常盤姫とサギ草 矢頭 誠一
学習会(大山道を歩く)報告(2) 濱中 正之
大山街道 点描 小林 勲
平成28年度行事記録
講演会「旗本吉良」 講師：下山
照夫氏 長島 民幸
バス見学会「横須賀・観音崎・
久里浜巡行」 松本 龍雄
講演会「鉾子に学ぶ 歴史に学
ぶ」 講師：内田義雄氏 武居 義之
バス見学会「彩の国の秋で一ま
た新しい歴史の発見」 細田篤志郎
生涯現役ネットワークプロジェ
クト 世田谷区誌研究会の区
民一般参加企画第四弾「世田
谷をもっとよく知ろう！」—
昔の自然を残す等々力溪谷、
上野毛の善養寺など世田谷の
史跡を巡る散策 中井 盛久
講演会「学校建築から見た世田
谷の教育事情」 講師：濱中
正之氏 黒瀬 威
史跡散歩「駒沢・深沢周辺を歩
く」 内山 昌玄
講演会「参勤交代の真実」
講師：安藤優一郎氏 市川 博正
史跡散歩「渋谷・目黒・世田谷
の区境を歩く」 阿部 正興

◆全日本郷土芸能協会会報

〒106-0032東京都港区六本木4-3-6
三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
◇87 2017.4 A4 24p

戸田の漁師踊・漁師唄 静岡県沼津市 県指定無形民俗文化財
 伝統文化交流事業 in ゆとろぎ
 「有福神楽」公演の報告
 「有福神楽」公演の報告 佐々木昌延
 「石見神楽」東京羽村公演を終えて 佐々木弘正
 公演を終えて 佐々木昌幸
 「有福神楽」公演の報告 嶋田 正光
 郷土芸能復興支援プロジェクト
 「東日本大震災・郷土芸能復興支援プロジェクト」について
 の御礼とご報告 事務局
 「三陸国際芸術祭から学ぶ一熊本・大分地震復興支援に向けて」報告／民俗芸能で被る花笠とは？
 かながわ伝統芸能祭 地芝居2017
 開催報告 (芦野)
 地芝居公演行脚「常盤座歌舞伎保存会定期公演」 吉澤 昭正
 地芝居見聞(24)「ながめ子ども歌舞伎公演」、人形芝居観覧記
 「第44回 相模人形芝居大会」 北河 直子
 地芝居あれこれ(25)
 「変わらぬ軸を持って」 蒲池 卓巳
 空白の沖縄芸能史(16)
 嗚呼！我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄
 BOOK良書紹介「傀儡師の伝え」
 聞き書き 庄内出羽人形一座
 庄内出羽人形芝居著 森繁哉編 (西田)
 ◇88 2017.7 A4 24p
 那智の田楽 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 国指定重要無形民俗文化財 撮影・萩原弘幸氏
 平成29年度定時社員総会報告
 総会に参加して 小出日出男
 茨城県「真家のみたま踊」、石川

県「白峰のかんこ踊」の調査報告書作成業務／全日本獅子舞フェスティバル白岡'17
 伊勢大神楽と現代日本を歩く(1)
 風の暮らし、土の暮らし 神野 知恵
 地芝居見聞(24)「鮭川歌舞伎定期公演」、人形芝居観覧記「第7回 乙女文楽公演」 北河 直子
 地芝居あれこれ(26)
 「美意識から見る地芝居」 蒲池 卓巳
 二人の「坂東彦五郎」を偲ぶ 山口 清文
 文化庁平成27年度事業「全国地芝居(地歌舞伎)調査報告書」
 会員紹介 篠原おどり保存会
 奈良県 玉井和尋代表
 盆踊り「小糠踊」の伝承を現代へ 俵 康恵
 BOOK良書紹介『説教節研究 物語編「三庄太夫」 説教節の会編 (城井)
 ◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/
 ◇304 2017.5 A4 2p 100円
 理化学実験上の遊戯 食刀の平均／風の粘着力／針筏／不断の水／幽霊の火
 ◇305 2017.6 A4 2p 100円
 街頭蓄音機(器)
 淡路島通ふ千鳥の恋の辻占 御容貌 おすましね／縞子の帯 そのつもりさ
 ◇306 2017.7 A4 2p 100円
 樟脳船の元祖 紙製の遊魚 紙製の遊魚 画報生／燐寸の曲芸
 同上

遠月堂の似顔絵辻占
 ◇307 2017.8 A4 2p 100円
 晦日に月／地獄に仏／人間一生胸算用
 ◆多摩地域史研究会会報
 〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊
 tamatiken.web.fc2.com
 ◇125 2017.5 B5 4p
 第95回例会報告 明治大学平和教育登戸研究所資料館を訪れて 吉田 綾乃
 ◇126 2017.7 B5 6p
 第26回大会報告 多摩地域史研究会第26回大会「資料よ、多摩を語れ！Ⅲ」参加記 内野 正
 入歯の話 梶原 勝
 ◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団
 〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊
 www.tamashin.or.jp
 ◇166 2017.5 A5 100p
 《特集 郊外行楽地と多摩》
 絵はがきから見る村山・山口貯水池周辺の観光地化 山田 義高
 行楽地としての七生村 金野 啓史
 奥多摩の観光開発 梅田 定宏
 鉄道の発達と行楽 馬場 菜生
 洋風建築への誘い(55)
 早春の気配を求めて 瑞穂町 伊藤 龍也
 建物雑想記(50) 旧南川小学校
 ☆ 誌上エコツアー 酒井 哲
 古文書は語る(45) 安政江戸地震と多摩西部の動向―吉野家文書「御用留」より 馬場 憲一
 多摩の食文化誌(24)
 地菜はおいしい 増田 昭子

多摩の金融史(1) 多摩金融史研究と多摩信用金庫―「多摩の金融史」連載開始にあたって 佐藤 政則
 多摩のみほとけ(29) 府中市 上染屋八幡神社 銅造阿弥陀如来立像 齊藤 経生
 本の紹介
 高尾山とんとんむかし語り部の会編『とんとんむかし一語ろう！八王子のむかし話―』 佐藤 広
 昭島市教育委員会編『西川製糸 昭島近代史調査報告書Ⅳ』 鈴木 芳行
 国分寺市・国分寺市教育委員会編『市制施行五〇周年記念 国分寺市の今昔』 高木 翼郎
 ◇167 2017.8 A5 126p
 《特集 多摩の化石》 ＊特集記事は省略
 洋風建築への誘い(56) 木造の自動車修理工場 立川市砂川 伊藤 龍也
 建物雑想記(51) 連載から発展する地域との関わり 酒井 哲
 古文書は語る(46) 井の頭弁財天の由緒について―高橋家所蔵文書「神田御上水源井之頭弁財天略縁起」より 馬場 憲一
 多摩の食文化誌(25)
 ネギは人気もの 増田 昭子
 多摩の金融史(2) 地域が生んだ多摩の銀行―明治期の銀行設立 早川 大介
 多摩のみほとけ(30) 八王子市 相即寺 銅造地藏菩薩坐像 齊藤 経生
 本の紹介
 北島みさを著『多摩火工廠 勤労動員日記 昭和19年～21年』 神子島 健
 東村山ふるさと歴史館編『祝い着―子どもの成長と嫁入り』 宮本八恵子

杉並区立郷土博物館編『国史跡
指定記念特別展「荻外荘」と
近衛文麿」、杉並区教育委員
会編『文化財シリーズ46 国
指定史跡 荻外荘(近衛文麿旧
宅)』 塚原 悟

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER

〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新蓮
根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548
／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43
柚須絃一方 FAX048-479-7490 年2000円
tias3.web.fc2.com

◇124 2017.5 A4 6p

報告 講演会「日本近代製鉄発祥
の地・釜石の産業遺産と大島高
任」／報告 講演会「長野県の
産業と産業遺産」 奥原 一三

新刊紹介『日本の生糸商標 図
録・目録』編集・発行：東京農
工大学科学博物館 長野 恭彦

文献紹介『国立科学博物館のひ
みつ』成毛眞・折原守著／『モ
ノづくり 見学・体験スポット
ガイド 2016』荒川区産業経済
部観光振興課

産業遺産を訪ねて(10) 銀座の教
文館・聖書館ビル

文・平井東幸／写真・奥原一三
茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(5)

「羽成氏煉瓦煙突の解体」 文・八木司郎

◇125 2017.7 A4 6p

報告 見学会「桐生市の近代化遺
産」 文・写真 堀内仁之

報告 研究会「足立区の煉瓦工場
群と煉瓦建造物」 文・八木司郎

報告 研究会「養蚕・製糸の産業
遺産の保存と活用」—1/2

文・写真 奥原一三

文献紹介

『世界の魅惑のトンネル』 多田 統一
『Glossary of World Heritage

Terms 世界遺産用語集(改
訂版)』 文・写真 平原国男

産業遺産を訪ねて(10) 岩手・宮
古市の「震災遺構」—旧たろう

観光ホテルの保存と活用 文・平井東幸

新刊紹介『世界遺産年報 2017』
多田 統一

茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(6)

「常陸国総社宮の煉瓦造高燈籠」
(1) 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース

〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 政治経
済研究所 TEL03-5857-5631 年2000円

2002年創刊 www.tokyo-sensai.net

◇31 2017.7 A4 8p

開館15年と思うこと 早乙女勝元

2017年 夏休み特別企画!!「みん
なで学び、伝えよう! 東京大
空襲」

リニューアルの状況について 比江島大和
次世代継承研究会の取り組み 比江島大和

伝える事の難しさを感じつつ 浮ヶ谷千恵子
東京大空襲を語り継ぐつどい 東

京大空襲・戦災資料センター開
館15周年 大山 圭湖

“うなずいて”くれた時、感動!

—センターで体験を語って 白石 哲三

第1回特別展「空襲被災者と戦後
日本」開催報告 共同研究「戦

後都市社会における空襲被災者
運動の歴史学的研究」 大岡 聡

空襲被災者運動研究の課題と方法

—特別展「空襲被災者と戦後日

本」合評会に参加して 井上 直子
語り継ぐ 資料は語る—動員学徒

や警防団員などの準軍属の資料
山辺 昌彦

霊名研究会のこれからの活動
(2017.6—) 青木 哲夫

共同研究「戦中・戦後の「報道写
真」と撮影者の歴史学的研究—

東方社カメラマンの軌跡—」の
終了と、林重男氏旧蔵東方社・

文化社関係写真コレクション寄
贈の報告

◆日本民俗音楽学会会報

〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学 山本幸正研究室気付

www.s-jfm.org

◇47 2017.8 B5 15p

『二十四の瞳』を彩る学校唱歌・
童謡・わらべうた 岩井 正浩

〈第6回研究例会報告〉

ディスカッションのまとめ—発表
から浮かび上がる民俗音楽研究

のおもしろさと課題 伊野 義博
研究例会余話

発表を終えて 森林 憲史
多様な表情をもつ〈茅ヶ崎甚句〉

の展開を支える「間テキスト」
性」 木内 靖

研究発表を通して 石森 雄大
地元の伝統芸能の紹介とワーク

ショップの授業を行って 山本 幸正
日本歌謡曲の調性判別分析 河瀬 彰宏

新刊図書紹介

佐々木正太郎著『民俗音楽・宝
の山シリーズ 岩手の民俗と

民俗音楽』 小島 美子

井澤壽治編『座敷唄集成 全132

曲歌詞』 寺田真由美

◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806

鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

1956年創刊

◇364 2017.4 A4 4p

石神井公園史年表(4) 葛城 明彦

練馬の城を往く(18)

田中の森の出城(推定説) 八巻 孝夫

豊島氏関係史料を読む(20) 太田
氏房判物に見える岩付城と城番

(2) 伊藤 一美

◇365 2017.7 A4 2p

石神井川の歴史

—その源流から河口まで 葛城 明彦

豊島氏関係史料を読む(20) 太田

氏房判物に見える岩付城と城番

(3) 伊藤 一美

◆練馬古文書研究会会報

〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方

TEL03-3999-8871 1985年創刊

www7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/

◇58 2017.6 B5 4p

織田信長の官途変遷について 柴辻 俊六

新春講演会「遠江のおんな城主」

を聴いて 保戸塚太地

新刊・柴辻先生の本『歴史学に
学ぶ① 戦国文書調査マニュアル』

◆練馬区地名研究会会報

〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4

飯塚芳男方 TEL03-3992-0264

年2500円 1987年創刊

◇118 2017.7 B5 4p

第119回例会 道の変化

埼玉道・長久保道・所沢道 石川 敦子
地域観察会
旧川越街道と白子宿跡を辿る 沖野 一則

◆ねりまの文化財

練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係 〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1
TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇100 2017.4 A4 6p

平成28年度新規の登録文化財

田中家資料(指定有形文化財)

練馬区指定文化財一覧／練馬区登録文化財一覧 有形文化財、無形文化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物

◆東日本部落解放研究所ニュース

〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
TEL03-5603-1863 1986年創刊
www.hblri.org

◇92 2017.8 A4 8p

台東区立谷中区民館 第32回総会

を開催 新理事長に井桁碧さん

私の研究の歩みと部落問題 総会

記念講演 鐘ヶ江晴彦さん 石井昭一郎

第1分科会「歴史」千葉の部落

史 分科会責任者：斉藤洋一・

大熊哲雄・鳥山洋・横山陽子

第2分科会「教育」現代の若者

に部落をどう伝えるか 分科会

責任者：石川享助・石田貞・篠

崎剛・松浦利貞 分科会テ

マ：差別と向き合う一子ども、

若者たちに部落のことをどう伝

えるか 報告 千葉、東京の部

落出身の若者たち、関わった教

師たち

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円

mingu-gakkai.com

◇155 2017.4 B5 116p

江戸時代の紀年銘唐箕一覧—その

事例と形態について 桂 眞幸

手引きしろくろの構造と木地屋 小椋 裕樹

ウナギ蒲焼きの地方史—金沢にお

ける江戸名物食の受容過程 大門 哲

第147回日本民具学会研究会報告

計量器の多様性 市東 真一

第148回日本民具学会研究会報告

「進藤進氏コレクション見学」 榎 美香

第149回日本民具学会研究会報告

久多の山村生活用具其の四「民

具が語る久多の暮らしと文化」

見学・講演会 溝辺 悠介

書評 新井秋義・植田勝利・吉

川國男編著『秩父のスカリ』 宮本八恵子

展示紹介 三重県総合博物館開館

記念企画展第5弾「ふたりのウ

ェディテング事情」 門口 実代

展示紹介 平成28年度ふるさと研

究夏季企画展「飛行機、浦町、

ディープなマチ場」 宮本八恵子

展示批評 平成28年度ふるさと研

究夏季企画展「飛行機、浦町、

ディープなマチ場」 玉井 幹司

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学学術院 大日方研究室内

1962年創刊

◇93 2017.5 B5 94p 1500円

《特集 古代の仏教受容と在地支配

—地域社会と村堂—》

特集にあたって 民衆史研究会委員会

古代村落の「堂」研究の現状と課

題 藤本 誠

竹松遺跡と西日本の村落寺院

堀内和宏／濱村一成

古代東国の在地社会と仏教

—村落寺院・開発・双堂 川尻 秋生

古代の在地における仏教施設

—精神的紐帯としての選択 山口 えり

討論要旨 中村 憲司

書 評

渡辺尚志編『相給村落からみた

近世社会—上総区に中国新見

荘の水利・地名・たたら』 澤村 怜薫

椿田有希子著『近世近代以降期

の政治文化—「徳川将軍のペ

ージェント」の歴史的位置』 泉 正人

藤野裕子著『都市と暴動の民衆

史—東京・1905-1923年—』 大門 正克

新刊紹介 渡辺尚志編『移行期の

東海地域史 中世・近世・近代

を構築する』 児玉 憲治

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1

国立音楽大学 山本幸正研究室気付

www.s-jfm.org

◇42 2017.3 B5 103p

〈茅ヶ崎甚句〉の物語空間にお

ける浮遊する音楽特性 木内 靖

「フォークロリズム」からみた民

俗音楽継承に関する一考察—

「はねっこ」から「仙台すずめ

踊り」への変化・発展を事例と

して 松本 晴子

学びの共同体としての中学校音楽

授業と地域の関係—郷土の民謡

《切り音頭》の授業実践より 山本 真弓

〈第30回大会報告「民俗音楽研究の過去・現在・未来—学会の30年のあゆみと今後の課題—」(2016 東京)〉

日本民俗音楽学会第30回大会・記

念対談によせて 岩井 正浩

第30回大会 記念対談 司会 岩井正浩

対談者 小島美子・藤井知昭

シンポジウム「民俗音楽研究の過

去・現在・未来—学会の30年の

あゆみと今後の課題—

司会 岡部芳広／シンポジスト

伊野義博・入江宣子・星野紘

第30回大会記念 機関誌(第1号

～第41号)掲載一覧／大会一覧

・研究会一覧

第10回民俗音楽研究会報告(2016

三重県伊勢市) 民謡の過去・

現在・未来—伊勢音頭を事例と

して 調査・研究委員会

◆民俗建築 日本民俗建築学会

〒162-0843東京都新宿区市谷田町2-33

法政大学デザイン工学部建築学科内

TEL03-5228-1496 年9000円

www.folkhouse.org

◇151 2017.5 B5 110p

2016年シンポジウムと見学会展望

杉本 尚次

京町家の所蔵品データベースと行

事の継承—京都市有形文化財長

江家住宅を事例に 佐藤弘隆／高木良枝

大会発表研究論文

重要文化財増田家住宅の土蔵と

離れに関する考察 千森督子／堤涼子

韓国ソウルにおけるアパートの

変遷過程 朴 賛弼

農家における住まいの屋外空間

の変容—茨城県大子町・福島

県矢祭町を事例として 堤 涼子
民家の調査報告書等にもみる柱間寸
法の地域性 菊地 憲夫
中国地方の茅利用の技術文化
一岡山県域を中心として 坪郷 英彦
北海道の御真影奉安殿 山田 雅也
宗像神社の新出の絵図 佐藤 正彦
秋の見学会報告 北大阪の保存民
家の活用と市民参加一保存民家
の活用事例を訪ねて 中野 直衛
民俗建築アーカイブ(12) 原爆ド
ームについて朝日新聞社へ送っ
た佐藤の手紙 民俗建築アーカイブ担当
研究会報告 焼津市花沢伝統的建
造物群保存地区 小花幸／石川薫
View 民家(47)
沖縄竹富島 沖縄の原風景 朴 賛弼
One Shot Minka(19)
世界遺産 琉球の勝連城跡 朴 賛弼
会員活動情報
「早津剛展」開催される 古川 修文
新刊紹介
『カナダ日本人移民の子供たち
一東宮殿下渡欧記念・邦人児
童写真帖一』河原典史編著 堤 涼子
『住まいと人の文化』森隆男教
授退職記念論考刊行会編 田口 和夫

◆明治維新史学会だより
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学文学部史学地理学科 落合弘樹研
究室 2004年創刊 www.ishinshi.jp
◇24 2017.5 B5 16p
〈2017年度明治維新史学会大会報告要旨〉
マルチ・アーカイブズからみた幕
末一日米和親条約と琉球所属問
題 ティネッロ・マルコ
維新期の政治社会における「藩屏」

概念をめぐる認識について 工藤憲一郎
「職員令」体制下における行政組
織の運用について一留守官を事
例に 柏原 洋太
柏崎県における郡中議事者 三村 昌司
会員の活動紹介 宮城県の地域歴
史資料をめぐる状況 天野 真志
例会報告要旨
幕末松江藩と雨森謙三郎(精翁)
一幕末周旋方の一考察 岸本 覚
或る京都人の明治維新一大名留
守居役から公家家扶へ 浅井 良亮
明治初年における留守官の機能
について 柏原 洋太
明治初期の府県庁舎営繕一内務
省地方行政の展開に即して 袁 甲幸
江藤新作と民権運動一「国事犯
関係者」の政治活動を中心に
山下 春菜
幕末維新期における政治理念と
「学術」観の形成一盛岡藩「御
国益」策と大島高任を一例と
して 岩本 和恵

◆洋学史通信 洋学史学会
〒182-8585東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
電気通信大学電気通信学部 佐藤賢一研究
室気付 TEL0424-43-5512
yogakushi.jp
◇28 (復4) 2017.4 A4 12p
特集 平成29(2017)年度 洋学史
学会総会・シンポジウム テー
マ「翻訳語の生成と蘭学一近代
日本学術の源流一」(仮)
報告要旨
仙台藩藩校養賢堂における翻訳
事情 阿曾 歩
蘭学と近世社会一「翻訳の享受」

という視点から 矢森小映子
訳語の定着と大衆認識一「アメ
リカ合衆国」「共和政治」の
翻訳をめぐって 橋本 真吾
翻訳と政治思想
一「権利」の概念を中心に 大久保健晴
書評 別所興一訳注『渡辺華山書
簡集』 矢森小映子
新刊紹介 宮崎克則『シーボルト
『NIPPON』の書誌学的研究』 青木 歳幸
自著紹介・私の研究 『近世後期
の対外政策と軍事・情報』 松本 英治
新刊紹介 片桐一男『江戸時代の
通訳官』一阿蘭陀通詞の語学と
実務 青木 歳幸

◆論集きんせい 近世史研究会
〒113-0033東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部日本史学研究室気付
TEL03-3812-2111 1978年創刊
◇39 2017.6 B5 88p
戊辰戦争における佐倉藩出羽柏倉
陣屋の動向 藤方 博之
一八世紀後半の交代寄信濃衆一
伊豆木小笠原氏の動向を中心に 千葉 拓真
明治元・二年長崎の政治外交と沢
宣嘉一東京大学史料編纂所蔵
「九州事件并長崎裁判所御用仮
留日記(一・二)」、外務省外交
史料館所蔵「諸事心得留」の翻
刻と考察(2完) 澤井 勇海

◆小田原史談 小田原史談会
〒250-0013神奈川県小田原市南町4-1-24
松島俊樹方 年3000円 1961年創刊
odawara-shidan.hustle.ne.jp
◇249 2017.4 A4 28p

一本釣り漁師 善さんのひとり語
り 話し手：石井善四郎さん
小田原の郷土史再発見 古文書が
教える「北條五代の人となり」石井 啓文
日本最初の歌曲「からたちの花」
誕生記(作詞・北原白秋 作曲・
山田耕筈)一山田耕筈がめざし
た日本の歌 竹村 忠孝
小田原桐座について(9)一桐家名
跡再興公演をめぐって 荒河 純
二宮尊徳と『論語』(1) 岩越 豊雄
片岡日記 昭和編(9) 片岡永左衛門
行き先は氷川神社と鉢形城址 青木 良一
◇250 2017.7 A4 28p
講演録 後北条氏以前の小田原
(上) 政治、社会状況からみる
鎌倉・室町時代の小田原地域 野村 朋弘
透谷をさぐる 岸 達志
富士フィルム草創期(1) 荒河 純
徒然なるままに一忘れられた地名
(4)「古新宿」・「新宿」 杉山 虔一
駅前旅館「重乃井」のこと一女将
の語る小田原駅前
話し手 佐々木初枝さん 文責・青木良一
二宮尊徳と『論語』(2) 岩越 豊雄
多古廻りの半日 青木 良一
多古の悪ガキの思い出(1) 中村 泰良
片岡日記 昭和編(10) 片岡永左衛門
昭和3年4月

◆開国史研究 横須賀開国史研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政推進部文化振興課内
TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊
◇17 2017.3 A5 132p 800円
口絵解説 文政元年浦賀来航のブ

ラザーズ号船図 齋藤 純
 総会記念講演 横須賀製鉄所の妹
 ・富岡製糸場 植松三十里
 韓国史シンポジウム ベリー来航
 とその後の浦賀町 西川 武臣
 文政元年ブラザーズ号の浦賀来航
 齋藤 純
 ブラザーズ号浦賀来航の記録・補
 遺 齋藤 純
 日本開国を決断させたのは誰かー
 『ベリー日本遠征記』とオラン
 ダ官報をめぐる 今津 浩一
 史跡 東京湾要塞跡 猿島砲台跡
 ・千代ヶ崎砲台跡 野内 秀明
 『横須賀繁昌記』を読む(6) 山本 詔一
 ベリーとピストルと桜田門事変 澤田 平

◆かまくら女性史の会 Newsletter
 〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10
 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス
 26 2013年創刊
 ◇43 2017.4 A4 2p
 教育勅語は何の「教材」になりう
 るか 多和田真理子
 続々鎌倉市文化財保護行政 (郡司)
 ◇44 2017.5 A4 2p
 清田さんを思いながら、感謝をこ
 めて 本多 順子
 清田昌弘さんを偲んで
 横松・石崎・浦野・郡司・鈴木・
 曾原・高階・西・前田・多和田
 ◇45 2017.6 A4 2p
 15歳の夏 山根 信子
 旧鎌倉図書館の活用についての陳
 情廃案に
 独房の不惑の春や立むとす
 正木千冬の獄中句
 池田嘉郎先生訪問 (横松)

横浜外人墓地へ
 パヴロパ家の墓地を訪ねて (曾原)
 ◇46 2017.7 A4 2p
 小学校道徳教科書に描かれる女性
 像 西 弘子
 文書館がほし〜い(9) 文化の3
 本柱一図書館・博物館・文書館
 江刺昭子氏の記念講演会「女性作
 家の時代ー明治から現代まで」 (横松)

◆クロス 常民文化研究会
 〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20
 西海賢二方 年1000円 1979年創刊
 ◇149 2017.5 B5 6p
 ベトナムの人神 時枝 務
 江戸・東京・東京の祭礼文化に民
 俗を読む(4) 西海 賢二
 ◇150 2017.7 B5 6p
 荘園村落遺跡詳細分布調査への期
 待 時枝 務
 江戸・東京・東京の祭礼文化に民
 俗を読む(5) 西海 賢二

◆市史通信 横浜市史編集室
 〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
 央図書館地下1階 TEL045-251-3260
 2008年創刊
 www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/
 ◇29 2017.7 A4 12p
 昭和横浜の構想図・完成予想図 百瀬 敏夫
 横浜の旧日本軍施設 羽田 博昭
 洲崎青年団とその資料について 平野 正裕
 閲覧資料紹介
 昭和初期の土地宝典類 百瀬 敏夫

◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会
 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開
 港資料館気付 (吉田律人・西村健)

TEL045-201-2169 年3000円
 ◇76 2017.5 B5 4p
 2017年度総会／第104回例会 シン
 ポジウム『『さいたま市史 鉄道
 編』をめぐる』 報告 老川
 慶喜「鉄道のまち「大宮」の誕
 生」、高嶋修一「戦前期の都市
 化と鉄道ー京浜東北線開業前後
 のさいたま市域」、岡部桂史
 「大宮工場の成立と発展ー日本
 鉄道から国鉄へ」、栗田尚弥
 「戦前期の鉄道ー埼玉県の場合」、恩田睦「高度成長期の鉄
 道と新幹線問題」
 情報ネットワーク 展覧会情報
 会員インフォメーション 大豆生
 田稔編『軍港都市史研究Ⅶ 国
 内・海外軍港編』
 ◇77 2017.8 B5 4p
 第105回例会 報告 半戸文「戦
 時下東京における接客業整備と
 待合」、鈴木勇一郎「首都建設
 委員会と都市交通審議会」／研
 究例会 第106回例会 石樽督
 和『戦後東京と闇市ー新宿・池
 袋・渋谷の形成過程と都市組織』
 合評会／小研究会 首都圏災害
 史研究会、首都西郊研究会、マ
 イクロ・ヒストリー研究会(仮
 称)
 情報ネットワーク 展覧会情報
 会員インフォメーション 土田宏
 成『帝都防衛ー戦争・災害・テ
 ロー』

◆湘南考古学同好会々報
 〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
 19-104 寺田兼方方 1980年復刊

shounankouko.jimbo.com
 ◇147 2017.4 B5 36p
 今年度の遺跡探訪先 高野 麗
 心の考古学まで(13) 前方後円墳
 の築造に関する考察(3) 古要 祐慶
 グループ活動の総括
 渋谷氏とその城館(2) 渋谷氏を考える会
 かながわの遺跡展 「かながわの
 最初の現代人ー旧石器時代のヒ
 トと社会」見学記 原 信之
 『藤沢市遺跡調査発表会』に参加
 して 成澤 亮
 染谷七重氏の論文を読んで 古要 祐慶
 平成28年度 湘南考古学同好会
 活動の記録 梶山 昇
 第12回若手研究者を囲む勉強会
 中世都市鎌倉における転用陶片
 の用途の検討ー「磨り常滑」を
 中心に 金馬 義郎
 ◇148 2017.8 B5 32p
 雑感 鈴木 悦子
 卒論要約 中世鎌倉における転用
 陶片の用途の検討(1)ー「磨り常
 滑」を中心に 金馬 義郎
 湘南考古学同好会々報 合本8
 第131号〜第145号
 心の考古学まで(13)-4 前方後円
 墳の築造に関する考察(4) 古要 祐慶
 藤沢市東勝寺所蔵の石造物 伊藤 郭
 企画展「横須賀の古墳時代」見学
 記 成澤 亮
 八王子城跡、武蔵御陵及び八王子
 市郷土資料館を見学する 米 諄
 「第12回 若手研究者を囲む勉強
 会」に参加して 加賀谷眞良
 「大磯町郷土資料館」見学記 川崎 清傳
 平成29年度 湘南考古学同好会
 定例総会の記録 須田 英一

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
◇79 2017.8 A5 20p
聞き取り 父を戦争で亡くして
話し手：田中幸子
解説 陸軍病院と第一一野戦飛行
場設定隊 矢野 慎一
本会発行の書籍案内
交流報告 「5.29」横浜大空襲祈念
のつどい参加記 矢野 慎一
最近の『戦争と民衆』目次
(第76号～第78号)
続・地域で戦争を伝えるものを調
べて(7) 本土決戦部隊が駐留
した大井町柳の稲荷社 香川 芳文
資料紹介 小田原市が制作したり
ーフレット 伝えておきたい小
田原の戦争と平和 井上 弘

◆治水神・禹王研究 治水神・禹王研究会

〒258-0026神奈川県足柄上郡開成町延沢
110 大脇良夫方 年3000円 2014年創刊
◇4 2017.4 A4 84p 1389円
禹王遺跡所在地(107箇所)と禹王
研究会員(133人)ー全国47都道
府県の分布状況と今後の課題 大脇 良夫
ベトナムに禹王遺跡は存在するか
ーホーチミン市チョロン地区の
調査から 植村 善博
禹之瀬と禹王と信玄
ー禹之瀬開削30周年 竹林 征三
天竜川上流域における禹王関係石
碑について 伊藤 修
禹王遺跡碑で後年に復刻を見た
『備前渠再興記碑』と『水埜土
倅君治水碑』 若森 慶隆
二宮金次郎の神格化の視点から見

た治水神・禹王と現代中国 露木 順一
黒四ダムの禹王額 古賀 邦夫
海を渡った治水神107の碑 大脇 良夫
「広島土砂災害 8・20」あれから
2年 畠堀 秀春
日本禹王遺跡について
ーある図書の紹介 佐久間俊治
禹王遺跡レポート
岡田宗山の肖像画と賛 植村 善博
震災復旧記念碑 関口 康弘
金森吉次郎之墓碑 中井正幸／長澤均
金森吉次郎翁寿像記 中井正幸／長澤均
立命館大学歴史都市防災研究所
所蔵「明治18年淀川大洪水の
絵巻物」と禹王 片山正彦／新稲法子
水防林之碑 北原 峰樹
日本禹王遺跡一覧
第5回全国禹王まつり・禹王サミ
ット in 臼杵大会 1年後の反響
と富士川サミットへの期待 菊田 徹
宮城県禹王之碑調査報告 宮田 勝

◆地名と風土 日本地名研究所

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎
市生活文化会館 4階 TEL044-812-1106
1984年創刊 chimei.people.co.jp
◇11 (復4) 2017.3 B5 164p 1500円
地名は「地命」 関 和彦
信仰地名論再考ーニソの杜・ダイ
ジョゴン・アイノコトを主に 金田 久璋
実践「総合的な学習・日本の地名」
から見る諸問題ー高校地名教育
の現場から 山口 均
伊那市が取り組む古い地名調査 竹松 亨
あばれ川が残した地名
ー多摩川下流域にみる 長島 保
特集1 災害地名と町づくりー地
名研究者としてどうかわる

か
地名研究者としての関わりと展
望 滝口 昭二
阿蘇蹴破り伝説が示唆した熊本
地震 小崎 龍也
地名・減災と街づくり 田中 弘倫
特集2 武蔵野の地名と風土
歌枕 武蔵野ー武蔵野はどう詠
まれてきたか 来嶋 靖生
古代武蔵の渡来人地名 荒竹 清光
『吾妻鏡』における武蔵野の地名
鈴木 茂子
柳田國男のキタミ語源説と武蔵
野の神送塚 高見 寛孝
武蔵野趣味の流行と鉄道・交通
革命 池谷 匠
地名の先達(4)「郷土」と地名
ー都九十九一の地名研究 高橋 治
アイヌ語と地名(4)
チャシ地名について 児島 恭子
地名学習のすすめ(4) 国語学習
のなかの「地名」ー言語芸術と
生涯学習を視野に入れて 小田 富英
地名へのひとこと
クマ地名への思い 佐藤 伸二
月例会事例報告 説田 武紀
ここは“元”住吉だった 園部 正敏
地名研究の出発点 田頭 壽雄
全国大会から学んだ地名研究へ
の視点 原 董
木曽川の川中島と「思いやり橋」
松尾 均
海の熊野地名研究会二〇一六年
度の取り組み 村上 均
地名談話室
「青」の地名とニソの杜
ー『女の風土記』再読 金田 久璋
大字「古氷」から緑町へ 澤口 宏

『天養記』に見る藤沢地域の地名
鈴木 富雄
この頃の地名調査で、気になる
こと 太宰 幸子
「色川」地名の由来 田中 弘倫
比較で見晴しを求める 永瀬 尚武
“ふる里ことば”で地名は解ける
か 長谷川 勲
北海道釧路東部海岸線に溢れる
ように残る・難読地名の由来
中江 徹
コラム
武蔵と鉄道 福田 行高
『新編武蔵風土記稿』と柳田國男
小田 富英

◆南朝史料研究紀要

南朝史料調査会 幽風舎
〒228-0812相模原市南区相南1-2-9
山地悠一郎方
〒141-0001東京都品川区北品川6-4-9
菱和パレス品川島津山408 和田直大方
◇5 2017.4 A4 86p
富士吉田地域周辺に散在せし古文
書群の一端 和田 直大
将軍たちの陰謀ー熊澤家秘蔵資料
を拝し奉りて書簡を述べる 山 悠一郎
報告 川上村
後南朝慰霊祭の挙行 和田 直大
調査報告 面影山長慶陵調査 閑院 尚仁

◆日本の石仏

日本石仏協会(発売：青娥書房)
〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-
409 TEL0452-943-4409 年8000円
1977年創刊
www.bosatu.sakura.ne.jp/sekibutu/sekibutu1.html
◇161 2017.4 A5 64p 2000円

表紙の写真 安曇野市(旧堀金村)
 の道祖神 写真と文 榎村修治
 41年目の始まりに寄せて 石仏の
 多面性こそ魅力のいずみ 視野
 の広さでヨイ年に！ 坂口 和子
 《特集 宝は田から
 —“福田”“大黒”信仰と飯豊山修験》
 第38回石仏公開講座から 宝は田
 から—“福田”“大黒”信仰と飯
 豊山修験 佐野 賢治
 石仏論考 熊本県の石造仁王 高野 幸司
 調査報告 善光寺型六地藏 大久保 修
 あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
 大砲を抱く不動明王
 北海道岩内町東山 本弘寺 中森 勝之
 松浦市高野免の多仏塔
 長崎県松浦市志佐町高野免 中野 高通
 石仏入門(15) 石神像 門間 勇
 名号塔の知識(26)
 木食名号塔ほか 岡村 庄造
 「石」を知る(49) 小松 光衛
 日本石仏協会主催・第111回石仏
 見学会報告 板橋区北西部の仁
 王と石仏を巡る 門間 勇
 日本石仏協会主催・第112回石仏
 見学会報告 港区高輪・三田の
 寺町を巡る 遠藤 康子
 コラム 掌善・掌悪童子 田中 英雄
 会員の広場
 「浮気封じ」の狛犬様 門間 勇
 石仏スケッチ(長野県川上村) 坂田 澄男
 行者姿の蔵王権現 水野 英世
 ◇162 2017.8 A5 64p 2000円
 表紙の写真
 越中立山極楽浄土 写真と文 田中英雄
 炎暑の日々に思うこと
 平成29年の夏 坂口 和子
 《特集 石仏探訪15》

焼石ドーロクジン
 一東信濃の自然石道祖神 岡村 知彦
 牛嶽神社の御神体 尾田 武雄
 みほとけの郷国東の石仏さま紹介
 大上 文紘
 ぶらり石仏紀行 たなかよしゆき
 埼玉県児玉郡美里町の石造物紹介
 田中 憬
 丸石道祖神ノート(1)
 一丸石信仰の起源(1) 岡田 均
 あ・ら・か・る・と—私の石仏案内
 鷲原寺岩谷観音石仏群 水野 英世
 沼津市江の浦 照江禅寺 井戸 寛
 石仏入門(16) 念仏塔 門間 勇
 名号塔の知識(27)
 山陰山陽の名号塔 岡村 庄造
 「石」を知る(50) 小松 光衛
 変わった結界石 中森 勝之
 祐天寺 報恩地藏尊開眼式 中野 高通
 救われた雑司ヶ谷霊園の阿弥陀石
 仏 余吾 育信
 西東京市柳沢の庚申塔から道しる
 べの背景を見る 初田 瑞宏
 松尾大社「上古の庭」 黄瀬 三朗
 福島・麓山山麓の不動庚申塔 田中 英雄
 ◆年報 首都圏史研究 首都圏形成史研究会
 〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開
 港資料館気付(吉田律人・平野正裕)
 TEL045-201-2169 年2000円
 ◇6 2016 2017.5 A4 69p
 戦時期の肥料流通—神奈川県藤沢
 町・山本松五郎家の事例から 坂口 誠
 昭和初期の首都圏における御用邸
 の再編—初声御用邸計画に注目
 して 武田周一郎
 首都圏歴史随想 ムッソリーニは
 子煩悩 歴史資料としての新聞

記事・考 白石 弘之
 書 評
 吉田律人『軍隊の対内的機能と
 関東大震災』—警察史の視点
 から 宮地 忠彦
 吉田律人『軍隊の対内的機能と
 関東大震災 明治・大正期の
 災害出動』 中野 良
 首都圏形成史研究会活動報告
 第96回例会
 第97回例会 報告要旨
 都市知識人による府会支配：
 明治12～14年の東京 池田 真歩
 栃木県における酒造組合の成
 立過程 白田 拓郎
 第98回例会 報告要旨
 柏の軍事遺跡から考える 櫻井 良樹
 「首都圏と軍隊」の現在—研
 究の現状と今後の課題につ
 いて 吉田 律人
 今後考えられるいくつかの論
 点 土田 宏成
 首都圏形成史研究会
 第98回例会参加記 手塚 雄太
 第99回例会 報告要旨
 片上伸『茅ヶ崎日記』に見る
 明治43年の南湖院 大島 英夫
 湘南イメージの形成 加藤 厚子
 ◆扣之帳 扣之帳刊行会
 〒250-0021神奈川県小田原市早川60
 青木良一方 TEL0465-22-8852
 年2500円 2003年創刊
 hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
 ◇56 2017.6 A5 140p 500円
 川崎長太郎日誌(1)
 抹香町の光と影 芳賀喜久雄
 『讃佛画集』(2) 橋本 龍

南北朝期の武将「曾我師助」につ
 いて 鈴木 一行
 小田原領における報徳金貸付の本
 格化 尾上 武
 坂本乙女と娘菊栄 今川 徳子
 枯松神社考 下田 勝也
 「特別な人」 小田原における内村
 鑑三の系譜 高瀬 恵
 西さがみ文芸雑話(2) 小田原・
 大井・南足柄・二宮 知られざ
 る文士たち 石井 敬士
 市川羽左衛門と坂東彦三郎一家の
 襲名に想う 田中 豊
 国府津今昔(明治から昭和まで)(4)
 童謡「みかんの花咲く丘」は国
 府津で生まれた？ 武井 秀夫
 邪馬台国を訪ねて(3) 卑弥呼の
 国を比定してその時代を知る 山室 智央
 関東十八檀林記(2) 新田大光院 青木 良一
 真言の人・空海(1) 茂木 光春
 ◆三浦一族研究 三浦一族研究会
 〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
 横須賀市政推進部文化振興課内
 TEL046-822-9478 年1000円 1997年創刊
 www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0130/culture_
 info/miura_ichizoku/
 ◇21 2017.3 A5 130p 800円
 口絵資料紹介・解説 模写『前九
 年軍記絵巻』 伊藤 一美
 総会記念講演 中世武士と馬 長塚 孝
 講演会 中世鎌倉の都市構造と三
 浦一族の記憶 馬淵 和雄
 基礎講座「史料で読む三浦一族の
 姿」 第1回 系図から読む
 「家」の創造神話／第2回 文
 書をから読む西国と三浦一族／
 第3回 日記から読む京都と三

浦一族／第4回 日記・『吾妻鏡』から読む宝治合戦／第5回 絵画と芸能から読む三浦一族の伝承化 高橋 秀樹
学習講座 菩提寺の目線から見た三浦一族 永井 宗寛
書評 真鍋淳哉著『三浦道寸』に よせて 伊藤 一美
史跡めぐり 三浦一族の歴史と文化を訪ねて 平成27年度 第3回「三浦西海岸の歴史と新井城址を見る」／平成28年度 第1回「初秋の三浦「水軍」のまち・三崎巡り」、第2回「秋の杉本城址を訪ねて」 剣持輝久・編
吾妻鏡を読む会 鎌倉武士たちの生活をリアルに模写 伯山 敦仁
三浦一族は国東半島に隠れ住んだ天才学者「三浦梅園」の祖 岩永 律男
悲運の死を遂げた三浦党の末裔たち 鈴木 眞哉
義盛神社と豊後国の三浦氏伝承 小野 訓子
幹事のオススメ本 阿部謹也
『中世の星の下で』（1986 ちくま文庫） 伯山 敦仁
情報紹介コーナー 房総半島に三浦一族の足跡を訪ねて 芳賀久雄・編
三浦一族関係文献目録(21) 中里行雄・編

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所 〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇589 (50-1) 2017.4 A5 24p 350円
民具と出会う(1)
一油谷満夫氏と民具 佐野賢治／鈴木通大
京屋唐箕について(1)―「大坂農人橋」からの流通事例 桂 眞幸

民具短信 第20回常民文化研究講座 民具を語る2「最上紅花の魅力―なぜ手仕事なのか 天然染料なのか―」へ参加して 大友 真希
◇590 (50-2) 2017.5 A5 24p 350円
富山県氷見市の唐箕 廣瀬 直樹
民具の終焉の作法
一澁澤敬三の民具観 その五 小島 環禮
民具短信 実践民俗学4 桃源郷を作る―山村振興のネットワークを作ろう 杉山 是清
◇591 (50-3) 2017.6 A5 24p 350円
国登録有形民俗文化財 岡山県笠岡市「北木島の石工用具」について 山本 原也
久谷焼吉田屋窯作品の「畦道」図 中越 庸介
民具短信 背負い紐がある「唐箕」について 高橋稀環子
◇592 (50-4) 2017.7 A5 24p 350円
辻井善彌の民具研究
一シリーズ民具と出会う(2) 安室 知
京屋唐箕について(2) 一焼印からの検討 桂 眞幸
民具短信 農書にみる泥除けの名称について 佐々木長生
施設紹介 大和市郷土民家園 松隈 雄大
◇593 (50-5) 2017.8 A5 24p 350円
鳥取県におけるハレの野良着について―和装から洋装への変遷の中で 谷阪智佳子
篤農家 藤井信之の農村画 村上和生雄
民具短信 硝子製の蠅取り器 松本 友里
書籍紹介 『浦安の漁撈用具』1 浦安市郷土博物館調査報告第11集 漁村文化研究会(元「東邦大学漁村問題調査研究自主ゼミナール」) 寄贈資料目録

◇594 (50-6) 2017.9 A5 24p 350円
牛乳瓶の分類と編年
一福岡県を対象として 森 貴教
色付けと田楽―加賀能登の中食文化を訪ねて(前篇) 大門 哲
民具短信 鬼菌(オニバ・オンバ) 桂 眞幸

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう) 〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31 TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊
◇149 2017.5 A5 110p 680円
《特集 軍記物語Ⅰ》
口 絵
紙本著色前九年合戦絵詞
国立歴史民俗博物館所蔵
『前九年合戦絵詞』解説 日下 力
能面と日本文化―日本と西欧の「個性」の捉え方 水谷 靖
軍記物語とは何か 日下 力
覚一本『平家物語』の政治学 兵藤 裕己
軍記物語と「武士道」の間 佐伯 真一
和歌世界との回路―『平家物語』巻七「忠度都落」の創作性と改編 櫻井 陽子
東国の神祇歌を読む
一軍記物語を通して 平田 英夫
『八幡愚童訓』の幻影
一乾珠・満珠説話を中心に 鈴木 彰
四爪鉄錨が生んだ謡曲《碇潜》 岡田三津子
画像としての軍記物語 石川 透
八幡宮紹介 志岐八幡宮(熊本県天草郡苓北町志岐)

中 部

◆高志路 新潟県民俗学会 〒950-2022新潟市西区小針6-29-1

鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊
www.geocities.jp/niigata_minzokugaku/
◇404 2017.5 A5 46p
小林存の佐賀中学在任期間
一小林存年譜再考(1) 大谷 晴夫
小報告集(10) 佐藤 和彦
山に登る 金田 文男
カンボジアの民俗、石仏紀行 広井 忠男
『北越雪譜』にみる川の凍結 鶴巻 武則
岡山大学附属図書館池田家文庫の鴨方藩「陣貝之傳」について 野村 憲一
◇405 2017.8 A5 84p
稻荷信仰と土地利用のための予備調査―中山太郎「狐用水」の再評価を兼ねて 星野 岳義
八戸市立図書館所蔵「太鼓法螺貝之巻」に収められた「螺法秘傳一卷之書序」について 野村 憲一
小林存の新潟居住地
一小林存年譜再考(2) 大谷 晴夫
小報告集(11) 佐藤 和彦
『北越雪譜』の降雪・積雪量 鶴巻 武則
島嶼の民俗 広井 忠男
越後の古四王・高志王神社などについて(1) 金田 文男
角田妙光寺の七面大明神法要 高橋 郁子

◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会 〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20 長岡市立中央図書館文書資料室内 TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊
◇54 2017.5 B5 269p
火焰土器のモニュメント
越後長岡・火焰土器の話(3) 小熊 博史
寺泊地域高内城について 鳴海 忠夫
御館の乱と妙徳院(1)―妙徳院に秘されたミステリーと長岡城築城のゆえん 石田 哲彌

古志郡の式内社(2) 社の所在 鰐淵 好輝
 四国から来越した大山祇族一村上
 ・佐渡・加茂・柏崎に見る足跡
 について 鷺尾 謙治
 元禄国絵図・郷帳と長岡藩 本山 幸一
 良寛の杖と徳昌寺の『諸蔵南行爛
 葛藤』 本間 明
 増田二川編 俳書「笠のはらひ」 高橋 実
 江戸時代の地誌にみる越後孝婦ゆ
 り 小熊よしみ
 富島の水との戦い(1) 山岸 利光
 慶応三年片貝花火の手書き目録に
 ついて一幕末期の片貝の花火事
 情 長谷川健一
 宮本宿駅 長谷川清司
 北越戊辰戦争150周年 小千谷談
 判 長岡藩河井の評価 広井 忠男
 米百俵と長岡の藩校
 一教育立国の系譜 遠山 典子
 姪が語る白峰駿馬
 白峰を支えた人々 廣瀬 剛
 波多謹之丞の教職への道 古田島吉輝
 『河井継之助傳』と曾祖父「肥田野
 畏三郎」(9)一大野右仲の証言 吉崎こずえ
 日米交流の系譜 ストーリーテラ
 ーとしての杉本鉞子とその娘た
 ち 植木 照代
 「『武士の娘』の著者杉本鉞子の新
 資料」を紹介する 青柳 保子
 大川津港大坂屋の回漕記録 内山 弘
 刻煙草製造と製陶に努めた砂山庄
 次郎 林 昇
 「中越医療組合組合長・駒形淑太」
 補遺 星 榮一
 史料 戦時下の小学生の日記 小林 宏
 東山油田「敢闘像」の修復につい
 て(3) 菅野 泰史
 写真で見る・昭和長岡の街(2)

長岡操車場 長谷川浩一
 ひめざくら印綿と鈴虫ひょうたん
 清水 誠一
 長岡の歴史博物館について(3) 太田 修
 巡見バス旅行報告 大河ドラマ
 「真田丸」と上田市の史跡を歩
 く一真田家三代の跡を訪ねて 長谷川久志
 地域探訪報告
 東山油田の史跡を歩く 池津 正栄
 旧下田村の歴史と秘境八十里越
 体感バス 吉村 和芳
 開催報告
 平成28年度 古文書解読講座 田中 洋史
 第7回『長岡郷土史』を読む会
 桜井奈穂子／志水博
 長岡市委託事業報告 近代資料の
 調査一「北越新報」記事にみる
 互尊文庫(4) 西 和美
 ◆ふるまち良寛でまり庵通信
 〒951-8063新潟市中央区古町通2-538
 TEL025-378-2202
 ◇22 2017.7 A4 6p
 B S N新潟放送「にいがた偉人伝
 50人」で“もう一度見たい偉人
 ベスト3”トップに良寛さん!!
 言霊 弾指堪嗟人間世／百年行楽
 春夢中
 良寛遺墨シート解説
 五言律詩「自来円通寺…」解説・小島正芳
 一期一会 新潟県良寛研究会
 ◆まきの木 巻郷土資料館友の会
 〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
 TEL025-672-6757 年1500円 1978年創刊
 ◇106 2017.5 B5 20p
 史料紹介
 「往来一札」保護の携行道具 亀井 功

巻神社の竜子 江幡 完治
 「鉄」の形態変遷について 細井 佳浩
 平成28年 秋季視察研修旅行 山賀 誠
 追悼 前会長 藤田治雄さん
 一感謝を込めて 桑原 正史
 ◆良寛だより 全国良寛会会報
 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
 化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
 1978年創刊
 ◇156 2017.4 A4 20p
 月の兎 歌意 小川芋銭(明治元
 年～昭和13年)
 良寛つれづれ(5) 月の兎 小島 正芳
 良寛遺墨鑑賞(4)
 証聴宛書簡「先日は」 小島 正芳
 折々の良寛(45)
 全国良寛会の法人化について 長谷川義明
 設立四〇周年記念
 全国良寛会長岡大会
 「全国良寛会糸魚川大会」記念展
 示によせて 牧江靖斎父子と良
 寛(下) 河合雅子／若林節子／反町タカ子
 大森子陽と大森家の謎を探る 子
 陽斬殺説の真相 新たな大森墓
 の発見と萬福寺の変遷について
 竹内 登
 備中良寛さん こころの寺
 五ヶ寺めぐり「趣意書」 柴口 成浩
 第一番 補陀山円通寺 仁保 哲明
 相馬御風の良寛(5)
 「子供を亡くした親」 金子善八郎
 良寛を訪ねて(5) 修行の地
 備中玉島円通寺(上) 吉井 清一
 ◇157 2017.7 A4 20p
 月下舞踊の図 中村岳陵(明治23
 年～昭和44年)
 良寛つれづれ(6)

良寛さまの説教 春日 浩三
 良寛遺墨鑑賞(5)
 風文字「天上大風」 小島 正芳
 折々の良寛(46)
 良寛時代の蒲原平野の状況 長谷川義明
 第40回 全国良寛会 長岡大会開
 催一良寛ゆかりの地に集う
 記念講演「良寛さんの心に学ぶ」
 講師：中野東禅師(京都龍寶寺
 住職)
 相馬御風の良寛(6)一農夫を拝む 金子善八郎
 良寛を敬慕した、悲劇の天才画家
 ・深林人(上) 柳本 雄司
 備中良寛さん こころの寺めぐり
 〔第二番〕五台山長連寺 仁保 清寿
 ハタチを迎えた「小田原良寛会」 斎藤 雄致
 西行と良寛一その世俗との差(1) 山上 健
 良寛 カエル ホタル セミのうた
 素描 吉田 福恵
 新たに発見された良寛遺墨 永寶 卓
 トピックス 良寛さまの、慈愛の
 心を伝える「良寛会館」が備中
 ・玉島にオープン 田邊 宏三
 フレーム切手「良寛さまと貞心尼」
 発売
 新刊紹介 『佛のモノサシ』金子
 みすゞの世界／傑僧・先人達の
 世界 久馬慧忠著 坂上 義興
 『良寛遺墨集』全三巻 小島正芳
 解説、『愛語に生きた良寛さま』
 吉岡二郎著 柳本 雄司
 良寛を訪ねて(6)
 修行の地 備中玉島円通寺(中)
 ◆富山史壇 越中史談会
 〒930-0115富山県富山市茶屋町33-2
 富山県公文書館内 TEL076-434-4050
 1954年創刊

◇183 2017.7 A5 72p 1300円
小牧・長久手の戦いと越中
一秀吉陣立書と成政の蜂起 高岡 徹
富山町周辺における北陸街道一里
塚の検証 古川 知明
広瀬旭荘の越中遊歴 栗三 直隆
富山藩二代藩主前田正甫公の改宗
事情の考察 武内 淑子
史料紹介 加賀藩末の越中における
産物会所発行銭札 桜井 泉
研究余滴
日下部鳴鶴からの三通の書簡 浦田 正吉
書評 舟橋村史 高野 靖彦
最近の地方史情報 中条 充子

◆北陸石仏の会会報

〒939-1315富山県砺波市太田1770
尾田武雄方 TEL0763-32-2772 年3000円
1993年創刊
◇51 2017.4 A4 6p
復活した地藏祭り 滝本やすし
富山市森田(林崎)曹洞宗瑞泉山法
眼寺の「妙見」刻字一石五輪塔 平井 一雄
真宗王国富山に根付いた石仏
五劫思惟の法蔵菩薩 尾田 武雄
第53回例会報告
春江町と坂井町の石仏巡り 池田 紀子
旅先で見かけた石仏
田中泥薬師「岐阜県瑞浪市」 滝本やすし
◇52 2017.8 A4 8p
砺波市出町の豊受神祠 尾田 武雄
白心・檀心の六字名号塔 平井 一雄
白山信仰の石造物 滝本やすし
「金沢市のちょっと珍しい石仏」に
参加して 酒井 靖春

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
TEL076-262-3236 1986年創刊
ishikawa-rekihaku.jp
◇121 2017.4 A4 6p
平成29年度春季特別展「北前船と
日本海海運」
開催によせて 北前船と廻船問屋 濱岡 伸也

館長コラム
秀吉の時代と加賀・能登 藤井 譲治
教育プログラム 永井 浩

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井市下馬町51-11
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860
年3500円 1956年創刊
◇304 (62-1) 2017.8 B5 70p
グリフィスの福井時代の学生たち
(1)一中沢岩太 沖 久也
越前における二十四輩巡拝 池田 正男
「南越雑話」(1)一翻刻と現代語訳 「南越雑話」輪読会
野岡藩主 土岐頼殷にまつわる伝
説―「野岡願教寺古喚鐘改鑄ニ
付願書写」の紹介 石川 美咲
福井県における郷土史研究の動向
―平成28年度分 本会事務局
福井県立図書館郷土資料班編

◆地域と社会

〒402-0005山梨県都留市四日市場902-3
佐藤弘 2017年創刊
◇1 2017.6 B5 19p
近代山梨県経済における企業設立
状況と1890年恐慌の状況 深澤 竜人
宝鉾山の創業について 佐藤 弘
研究ノート 近世郡内における水

かけ麦栽培について 金田準之助

◆富士信仰研究会会報
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年6000円
◇43 2017.5 B5 8p
吉田氏の富士塚探訪 井草八幡宮
／十条・小野照崎・田端／下練
馬／松原のお富士さん 東京都
世田谷区「富士山太祠」
富士山関係企画展 富士見市の富
士山―富士見市内の塚いろいろ
水子貝塚資料館
食行身録直筆のお身抜き

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html
◇88 2017.6 A4 4p
第15回飯田市地域史研究集会 地
域の歴史を描く／飯田市歴史研
究所 二〇十七年度研究計画
リレーミニエッセイ(8) 日々の
生活と「草の根文書館の思想」

多和田真理子
飯田・下伊那の歴史と景観(5)
国境の景観 樋口 貴彦
◇89 2017.8 A4 4p
清内路調査という「学校」から 吉田 伸之
近現代史ゼミ 聞き書き「飯田・
上飯田の暮らし」 田中 雅孝
リレーミニエッセイ(9) 院政期
の信濃国衙領「宮田村」は「請
布所」 田島 公
伊那谷・満洲・福島から追われた
人びと 齊藤 俊江

◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円
◇1067 (65-4) 2017.4 A5 50p 550円
口絵 史跡飯田古墳群 飯田市教育委員会
空谷の登音 桐原 健
高森町下市田 南大島川と大島川
の間の古代 芦部公一／樋本宣子
下伊那唐草文土器に新型式設定は
ありやなしや 吉川 金利
飯田から赴いたカミツケノの国の
王―榛名山火砕流被災の人物像 小林 正春
史跡飯田古墳群 飯田市教育委員会
平成28年下伊那考古学年報 小林 正春
下伊那日録(2011年11月～12月) 寺田 一雄
◇1068 (65-5) 2017.5 A5 50p 550円
口絵 松尾小笠原氏ゆかりの摩利
支天像 織田 顕行
愛国正理社総理坂田哲太郎昌言に
ついての再考 上條 宏之
吉澤(宮澤)白城と伊那焼「峡風印
社」との関連において 鎌倉 貞男
資料紹介 市村威人『富士孝道行
実記』幕末期不二道信者の行
動と行 竹村 雄次
下伊那日録(2012年1月) 寺田 一雄
各町村史学会の動き
豊丘史学会の総会
新刊紹介 正岡子規直門 桃澤茂
春(画名如水)資料 編者・桃澤
匡行
◇1069 (65-6) 2017.6 A5 50p 550円
口絵 小林長平の塔光様 知久 一彦
〈第6回「文化財の保護保全を考える会」
(報告)〉
会長挨拶 吉澤 健
来賓祝辞 大久保憲一

開催趣旨
講演 文化財の保護保全にかかわ
る諸問題とその対応 白鳥 勲
事例発表
月瀬の大杉と保存活動について
小木曾秀美
根羽村と三河方面の交流につい
て 片桐 亀十
全体討論
閉会行事—まとめにかえて 伊坪 達郎
京都町奉行から江戸南町奉行を歴
任した宮崎若狭守重成 松澤 保
天竜川右岸の御社宮司神(続き)
—伊那谷南部の小字から(3) 今村 理則
南信州の十王信仰と十王堂(中の4)
岡田 正彦
下伊那日録(2012年2~4月) 寺田 一雄
◇1070 (65-7) 2017.7 A5 50p 550円
口絵 姿を消した南和田小学校舎
山内 尚巳
一五〇〇年前 下伊那から馬飼育
生産者一族が馬と共に 神村 透
飯田・下伊那の御札降りと民衆
—祭礼と祝宴を中心に 伊坪 達郎
南信州の十王信仰と十王堂(中の5)
岡田 正彦
飯田地方の古墳時代鉄鉾小考 木下 政利
ルポ「飯田線の踏切」(9) 伊那電
の土盛工事 牧内さんは見た 佐古 新一
下伊那日録(2012年4~5月) 寺田 一雄
各町村史学会の動き 下條史学会
の総会／上郷史学会の総会／毛
賀史学会の総会
◇1071 (65-8) 2017.8 A5 50p 550円
《今牧久先生追悼号》
口絵 今牧久先生小照
今牧久先生 思い出のアルバム
弔 辞 池上幸治／原田望／山口修二

会館の、ある書(掛け軸)
—故今牧久先生 最後の仕事 赤羽 孝之
県教育センター生涯教育部初代部
長 今牧久先生 北城 節雄
追悼 今牧久先生 吉澤 健
信念の人 今牧久先生 岡田 正彦
今牧久先生を悼む 寺田 一雄
今牧久先生を偲ぶ 松上 清志
今牧先生と毛賀史学会 宮下 英美
今牧先生と東京オリンピックのア
ベベ選手 木下 陽介
教育と歴史研究に精進した今牧久
先生 山内 尚巳
最後の旅を共にして 中島 逍遙
嗚呼、今牧久先生 鎌倉 貞男
思い出の中の兄 福沢 敦子
峠を越えて往く義父を想う 小宮山陽一
父を想う 小宮山和子
「伊那」と共に 今牧 絢子
天竜下り2回したP・ローエルが
写した写真 神村 透
ルポ「飯田線の踏切」(10)
冬も野の花咲き気候温暖 佐古 新一
各町村史学会の動き 喬木村史学
会の第38回総会／竜丘史学会の
総会
◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7
TEL0265-78-1269 年5000円
◇723 (61-4) 2017.4 A5 40p 500円
水戸浪士通過の際の高遠藩兵
—「祖父の昔語り」より 瀧澤 秀人
中馬が運んだお茶 倉田 敬吾
伊那市が取り組む古い地名調査(6)
竹松 亨
思い出の人・思い出の事(20) 飯
島・岩間氏全国大会の思い出 桃澤 匡行

執筆のきっかけ
「山下慶治」氏の思い出 北原 昌弘
『伊那路』を生活の友として 矢澤 喬治
ふるさと伊那の思い出 原 弘
日本の子育て(28)
後ろに眼がある 大槻 武治
図説・上伊那の民俗(1)
中尾歌舞伎 三石 稔
◇724 (61-5) 2017.5 A5 40p 500円
《『伊那路』創刊60周年記念事業特集》
『伊那路』創刊60周年記念事業報告
氣賀澤厚典
『古今書院』創設者・西春近村出
身の橋本福松(5)—教員から実
業家へと歩んだその波乱の生涯
に学ぶ 三上 徹也
下伊那における井月の顕彰活動 宮澤 宏治
郷土の歴史を学ぶ
—中川村公民館の取り組み 片桐 充昭
思い出の人・思い出の事(21)
奥出雲・三沢郷への一人旅 桃澤 匡行
図説・上伊那の民俗(2) 町の数
珠回し(中川村大草沖町) 三石 稔
◇725 (61-6) 2017.6 A5 40p 500円
《自然特集》
南アルプス仙丈ヶ岳の植生保護活
動—「仙丈小屋のあの晩」の思
い出 白鳥 孝
人知れず深刻化するツキノワグマ
による剥皮被害と対策 近藤 道治
三遠南信の風に吹かれて 宮下 明子
宝剣岳の錫杖 堺澤 清人
「井月さんの歌」について 一ノ瀬武志
伊那谷のウグイス類
—民俗の窓を通して(28) 吉田 保晴
ふるさとの子育て(29) 初詣 大槻 武治
図説・上伊那の民俗(3) 土蔵の
「しぶきよけ」(飯島町七久保) 三石 稔

◇726 (61-7) 2017.7 A5 40p 500円
石仏写真考—「高遠石工の石仏」
鑑賞の新たな視点 熊谷 友幸
昭和21年の音楽教科書(第3学年用)
山本 勝
「下伊那における井月の顕彰活動」
の訂正・補遺 宮澤 宏治
中村不折の作品が道後温泉旅館に
あった 北原 昌弘
書籍紹介『地図中心』特集 ぴっ
かり辰野町ぴっかり一日本地図
センター発行 29年6月号 小林 辰興
文化短信 花と音楽の共演 矢島 信之
古文書の窓(127)
虫害による被害甚大の訴え 清水 満
伊那市が取り組む古い地名調査(7)
竹松 亨
図説・上伊那の民俗(4) 南宮神社
御鹿奉納神事(箕輪町木下) 三石 稔
◇727 (61-8) 2017.8 A5 40p 500円
《終戦特集》
南海の楽園・玉砕の島 パラオの
旅 後藤 寛
昭和20年度『上片桐国民学校日誌』
を読む—特に東京二子玉川国民
学校集団疎開と時局に関する事
項ならびに他資料対比考察 大場 茂明
辰野にあった防空監視哨と対空監
視哨—B29の襲来に備えて 竹渕 修二
図説・上伊那の民俗(5) 田畑の
「まんど」(南箕輪村田畑) 三石 稔
◆伊那民俗
柳田国男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118
年3000円 1990年創刊
inaminkenhome/blogspot.jp

◇109 2017.6 B5 8p
表紙 中田栄造の胸像／1947年
(昭和22)の丸萬の工場(飯田市
知久町) 今井 啓
飯田の職人が生んだ味噌革命—中
田式速醸法とマルマンの現在 今井 啓
民俗学入門講座第Ⅴ期 現代日本
を民俗学から考える(5～6回)
福田所長講義要旨 第5回 民
俗を活用する現代／第6回 風
俗研究か民俗学か 文責・今井啓
新刊紹介 伊那民研叢書2『柳
田国男入門』福田アジオ著 北原いずみ
新野雪祭等資産化事業の成果
—報告書と映像記録 櫻井 弘人

◆縁 集いの広場 縁フォーラム
〒399-8301長野県安曇野市穂高有明
5944-81 倉石美都方 2012年創刊
◇11 2017.6 A4 32p
韓国における胎夢文化 倉石 美都
正月の柱立て行事考 倉石 忠彦
学生歌舞伎の記憶を辿って 高久 舞

◆岡谷美術考古館だより
〒394-0027長野県岡谷市中央町1-9-8
TEL0266-22-5854 www.okaya-museum.jp

◇6 2017.3 A4 8p
表紙 壺を持つ妊婦土偶 レプリ
カ、目切遺跡出土、縄文時代中期
Archaeological 考古展示から
ものづくりのDNA「黒曜石の
製石器」—最古の加工ブランド
品 黒曜石原石(清水田遺跡)、
梨久保遺跡と出土品

◆信 濃 信濃史学会
〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35

年10200円 TEL0263-58-1213
www.shinano-shigakukai.jp

◇807 (69-4) 2017.4 A5 84p 1150円
《真田家文書特集》
新出の真田家関係文書について
山中さゆり／米沢愛

松代藩御金奉行と諸役所問との御
腰物管理の移動について—真田
家の刀剣の管理体制(2) 溝辺いずみ
松代藩御勝手御用役について
一田野口村小林家を中心に 宮澤 崇士
藩庁文書と村方文書の相互性につ
いて—真田家文書と相沢家文書
を事例として 原田 和彦

◇808 (69-5) 2017.5 A5 78p 1150円
「天正壬午甲信諸士起請文」の再
検討 柴辻 俊六
中世後期における地下人の考察
—14・15世紀を中心に 宮島 義和
俗信と水田(稲麦)二毛作—その
「心意」に焦点を当てて 中田 亮
史料音読の効用—山梨県早川町と
中央大学山村研究会 寺島 宏貴
天龍村「向方のお潔め祭り」見学
記 高原 正文

◇809 (69-6) 2017.6 A5 80p 1150円
《隣県特集号 隣県地方史学界の動向
—平成28年(2016年)》
群馬県地方史研究の動向

深澤敦仁／丑木幸男
岐阜県地方史研究の動向 村瀬 泰啓
埼玉県地方史研究の動向
堀口智彦／根ヶ山泰史／榎本博
富山県地方史研究の動向
鹿島昌也／松山允宏
／尾島志保／森 俊

山梨県地方史研究の動向
上野桜／西川広平／高橋修

新潟県地方史研究の動向
石渡正敏／浅井勝利／田嶋
悠佑／渡部浩二／田邊幹
長野県地方史研究の動向
櫻井秀雄／福島正樹／畔上
不二男／田玉徳明／三石稔

◇810 (69-7) 2017.7 A5 80p 1150円
霊魂封じ込めの場としての古墳
—古墳被葬者の霊魂はどこにあ
るか 櫻井 秀雄
信濃守護小笠原家中草間氏に関す
る基礎的考察—戦国期を中心に
斉藤 宣政

上田藩松平家臣団の社会生活—
藩への各種の願書からの考察 小宮山千佐
上毛野への「仏教伝来」について
関口 功一

◇811 (69-8) 2017.8 A5 80p 1150円
《特集 近世の町と村》
信濃国上田城下町の足軽長屋
—松平伊賀守支配期 尾崎 行也
松本近郊の在郷町成相新田の成立
と展開について(上)—新田町村
の芝切藤森家同族団の動向を基
軸に 高原 正文
飯田藩領の振商札・糸札—飯田町
と周辺村々の関係から見る 伊坪 達郎
総会報告 信濃史学会2017(平成
29)年度 定期総会 事業委員会

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13
上小教育会館内 TEL0268-24-2182
年3000円 1974年創刊
◇163 2017.6 A5 31p
吉沢城をめぐる謎 尾見 智志
領民を救った米三千俵—宗藩長岡
・小諸藩に支援 牧野 和人

依田信蕃後裔のこと 大澤 廣
キトラ古墳・四神の館を訪ねて 滝澤 純子
C Gで復元された小諸城 牧野 和人
古文書解説講座 第154回 斎藤 洋一
平成29年度 総会報告
地区だより 小諸支部 牧野 和人
扉写真と解説
笠原工業「常田館製糸場」 阿部 勇

◆長野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇306 2017.4 A5 72p 800円
表紙解説 長野市中条住良木 奈
良井思恩講演「諏訪大社宮」御
柱 小林 玲子
特集 平成二十八年東北信の御柱
東北信の御柱の多様性 小林 一郎
二十四年後、引き継いだ御柱の
調査 小林 玲子
平成二十八年東北信の御柱一覧
小林玲子・作表

山嵯儀作が手がけた加茂神社(西
長野) 本殿、拝殿と神楽屋台 草間 律
『万葉人名録』と俳人の客観的評
価—成美・一茶・雲帯・武陵か
ら考察する 塚本 照美
森鷗外と信州(5)
墓碑銘を書いた中村不折 中田 敬三
生きた町の歴史を知ろう(12)
減り続ける長野県の銭湯 小林竜太郎
参加したい善光寺界わいの伝統行
事 2017年4月～8月初め 小林竜太郎
「長野の絵解きを広める会」発足 小林 玲子
◇307 2017.8 A5 72p 800円
表紙解説 桜枝町来間池(来魔池)
小林 玲子

口絵 後世に伝えたい善光寺四十
九名所
特集 善光寺四十九名所一覧表
善光寺四十九名所の変遷 小林 一郎
善光寺四十九名所一覧表 小林一郎・玲子
熊坂の湯と『熊坂根元記』中村敦子／青山栄
山寄儀作が作った丹波島・於佐加
神社拝殿の彫刻 草間 律
木曾義昌と小笠原貞慶 志村 平治
「フリンジ長野」絵解きの報告
森鷗外と信州(6)
信州ゆかりの小説 中田 敬三
生きた町の歴史を知らう(13)
「県庁所在地論」に向けて 小林竜太郎
参加したい善光寺界わいの伝統行
事 2017年8月中旬～11月
「長野の絵解きを広める会」一斉
公開の報告／東洋大学文化公演
「絵解きの世界―物語と絵と語
りの出会い」の報告 小林 玲子

◆長野県民俗の会通信
〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐
2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017
年5000円 www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇259 2017.5 B5 8p
都市化する老人(1)
―老熟の力再考 倉石 忠彦
「向方お潔め祭り」見学会に参加
して 松上 清志
第204回例会報告 細井雄次郎
第204回例会に参加して―松本の
石尊大権現にも触れながら 卷山 圭一
◇260 2017.7 B5 12p
「一番のがんは学芸員、一掃しな
ければ駄目だ」の発言をめぐっ
て 窪田 雅之
都市化する老人―老熟の力再考(2)

倉石 忠彦
長野県民俗の会第204回例会―上
小地域の大山石尊信仰関連史跡
巡りと細井雄次郎さんの研究発
表に寄せて 西海 賢二
鬼無里神社春季例大祭見学会 市東 真一
葉書でつばやくコーナー 島立荒
井の八日念仏と善光寺等順 木下 守
書誌紹介 安室知著『自然観の民
俗学 生活世界の分類と命名』福澤 昭司

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊
◇96 2017.6 A4 8p
表紙 重要文化財 織田信長像
(部分) 狩野元秀筆
特別展「Gifu 信長展―もてなし
人 信長!? 知られざる素顔―」
加藤栄三・東一記念美術館「第1
展示室 加藤栄三・東一 望郷
・鶴飼」
博物館ニュース 兜率天曼荼羅図
誓願寺蔵 が重要文化財に指定
されました！
『入水記録帳』を読み直す―寛政
10年の加納藩領の洪水・一揆・
復興 望月 良親
館蔵資料紹介 雪下胴具足
吉田コレクション

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 年2000円 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/~child-c-j/
◇120 2017.5 A4 4p 300円
松尾祭は御輿祭り 吉川 祐子

◇121 2017.6 A4 4p 300円
浅羽庄のビンザラ 吉川 祐子
◇122 2017.7 A4 4p 300円
拍板形から拍板へ 吉川 祐子
◇123 2017.8 A4 4p 300円
相模のささら踊り 吉川 祐子

◆古城 静岡古城研究会
〒426-0134静岡県藤枝市滝沢2690-3
平井登方 TEL054-639-0648 1974年創刊
◇61 2017.7 B5 110p
山城からみる森町の戦国史(2)
一太田川西岸の一宮地域 水野 茂
伊豆西南海岸の海城―安良里城と
安城山城を中心に 望月 保宏
旧小笠町の城「堤城」を考える 乗松 稔
畑ヶ谷の城郭遺構(2)
「畑ヶ谷東砦」(再掲載) 乗松 稔
檜峠・菩提山中腹に砦遺構を発見
一天正九年六月六日付け、穴山
信君書状にいう「峠普請」の可
能性も 平井 登
南北朝期静岡県下の城郭の再検討
川村 晃弘
続 日本の古代山城の構築主体な
らびに年代観についての寸描―
暫定的なまとめ 柳下 晃一
城館レポート(16年) 編集 部

◆静岡県近代史研究会会報
〒422-8529静岡市駿河区大谷836
静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室
年4000円
◇463 2017.4 B5 4p 100円
4月例会レジュメ なぜ日本電機
産業は競争力を喪失したのか―
製品アーキテクチャによる分析
を中心として 児玉 和人

静岡女性史研究会編『しずおかの
女たち 第9集』を読んで 鈴木 雅子
「明治150年」 川上 努
◇464 2017.5 B5 4p 100円
5月例会レジュメ 復員兵が見た
「占領」―1950年代の米軍基地・
御殿場を舞台に 平井 和子
静岡藩の財政は軍備によって窮乏
したか―『日本近代の歴史1 維
新と開化』によせて 樋口 雄彦
図書紹介 寺尾純彦『薫治兄さん
とあの時代―私の子どもたち、
そして孫たちへ―』 村瀬 隆彦
新入会の言葉 跡部 千慧
◇465 2017.6 B5 4p 100円
6月例会レジュメ 「政策決定と
インテリジェンスの扶間―『日
米開戦と情報戦』執筆の過程で
見えてきたこと―」(著書『日
米開戦と情報戦』講談社、2016
について) 森山 優
原口先生…ささやかな私の思い出
中沢 洋之
原口先生の序文 小池 善之
◇466 2017.7 B5 4p 100円
7月例会レジュメ 民衆運動史研
究の方法と課題―『都市と暴動
の民衆史』をもとにして 藤野 裕子
宮城県東部域往来記(1) 宮城県
の小作争議のリーダーは静岡出
身 一條 三子
静近研りボジトリーに会報第37号
(2012年10月)を追加 清水 実
◇467 2017.8 B5 4p 100円
宮城県東部域往来記(2) 海軍の
地下潜伏は早い！と思いません
か？(1) 一條 三子
◇468 2017.9 B5 4p 100円

総会記念講演会 勝田政治氏(国士館大学教授)「原口史学に学ぶ『原口清著作集』(全5巻)の編集から」

9月例会レジュメ カンバスの大杉、内務省を走らす!?—大杉栄の「実行の芸術」 飛矢崎雅也
小和田美智子さんを偲んで 平井 和子
明治150年と「明治の精神」 小池 善之

◆静岡県地域史研究会報

〒420-0911静岡県藤枝市本町2-3-20
前田利久気付 TEL054-641-4485
年4000円 2011年創刊

◇212 2017.5 B5 4p
延徳三年の細川政元による越後下向 土屋比都司

12月例会報告要旨 元文・寛保年間における戦国期の古文書に対する認識—徳川吉宗の『判物証文写』編纂への駿河国内各地の対応を事例に 岡村 龍男

1月例会報告要旨
伊勢宗瑞の伊豆平定 小川 隆司
遠江国馬郡村の黄檗版大般若經について 西田かほる

2月例会報告要旨 近世中後期の駿河国幕領支配の諸相 厚地 淳司

◇213 2017.7 B5 4p
遠州飯尾氏は「両属」国衆か—糟谷幸裕氏の近業に接して 谷口 雄太

例会告要旨
2月例会 近世駿府の都市構造と広域行政—年行事を中心に 青木 裕一

3月例会報告 卒業論文発表会
室町期の幕府—守護体制下における今川氏 松下 一樹

織田信長による対上杉外交の再検討—將軍足利義昭との関係性に注目して 若木 あや

4月例会報告要旨
北条氏規と家臣朝比奈氏—今川氏との関係について 浅倉 直美
松平信康事件について 本多 隆成

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
web.thn.jp/s-folklore/

◇163 2017.4 A4 6p
講演要旨「イルカと日本人 追い込み漁の歴史と民俗」 中村羊一郎

研究発表要旨「伊勢志摩地方における村山修験と富士講の展開—志摩市浜志摩町南張の事例から—」 井上 卓哉

第2回例会報告 外立ますみ

「在来作物」の保存継承に向けた取り組み 多々良典秀

シリーズ食(33)
ワラビ・フキの料理 外立ますみ

民俗語彙・方言短信
オシャガミサン 外立ますみ

◇164 2017.7 A4 8p
平成29年度 総会・大会報告
方言雑考 南アルプス「光岳」のこと—山名の歴史的経緯 富山 昭

シリーズ食(35)
イワシのつみれ汁 松田香代子

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇149 2017.6 B5 12p
平成29年度総会
第116回研究会 中村典夫氏の「『駿

州曹洞寺次帖』について」の概要／篠原旭氏の「〔日本平、有度丘陵の開発〕—静岡郷土学の提案」の概要／和田嘉夫氏の「東海道 富士川の渡し」の概要

◆駿河 駿河郷土史研究会

〒417-0061静岡県富士市伝法66-2 富士山かぐや姫ミュージアム内 TEL0545-35-6250
1965年創刊

◇71 2017.4 B5 117p
表紙解説 川原宿の道祖神 加藤 昭夫
史実を追及し、伝える 加藤 昭夫
絵図に見る江戸時代の東海道(3) 検地と検見 田辺 泰弘
日常生活の数字(4) 渡邊 照好
雁堤築堤後の富士川水害 和田 嘉夫
佐野鼎の先祖由緒書Ⅱ 一なぜ、鼎は江戸へ上ったか 高田 國義
幕末の富士市に川成島藩成立 矢崎 巖
旧富士川町北松野最後の紙漉きを物語る—石川文夫氏の記録を中心に 内田 昌宏
半蔵道しるべ 松野 紀一
植松蓮知・源七郎が「田子の古道」の作者 福澤 清

◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市長久区神宮1-1-1
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp

◇254 2017.4 A5 40p
熱田雑集(10) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧(11) 小久保雅広
熱田神宮の鳥をめぐる伝承 辻村 全弘

◇255 2017.7 A5 32p
熱田雑集(11) 太田 正弘
創祀千九百年記念造営事業の回顧

(12) 小久保雅広

◆いにしえの風 古代遊学会

〒458-0801名古屋市長久区鳴海町山ノ神125-5

◇13 2017.5 A4 158p
新羅の黄金の冠 伊藤 秋男
「杖刀人首」と大伴の相関考—五世紀に到る宮廷護衛部門の変遷の中で 東山 勝也
沖縄に残る古代本土(試論として) 石川 元廣

中臣氏・藤原氏のルーツを探る 加藤 甫
忍海飯豊皇女 一危機に現れた幻の女帝 矢澤 泰三
津島の歴史 高木 巖
卯月は二月か四月か—疑問と仮説 西部 賢一

歴史のなかの伊勢神宮
一宝塚古墳から内宮へ 尾関 章
百済建国についての一考察 板坂 寛
弥生の製鉄の可能性を考える 大藪 裕子
私の地名・人名旅行(2)
一ミサキの社 徳田百合子

古代の日本語「しかすが」と「しかすがの渡り」 竹内 昭子
出雲崎を考える 土屋 晴行
ワニ氏・その後—静岡県・滋賀県に分布するワニ氏 加藤新一郎

古代神社の起源とその変遷
一神社の歴史 西山 勤

◆郷土文化 名古屋郷土文化会
〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
名古屋市鶴舞中央図書館
TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇228 (72-1) 2017.8 A5 114p 1500円
「名古屋市守山区上志段味の歴史」

補遺(6)一弥生時代と古墳時代 大野 哲夫
生駒家にまつわる「伝説」再考 松井 雅文
拗れる 桶狭間の戦い(3) 尾畑 太三
塩硝の保管と処理 小林 元
東照宮祭と大丸屋 菊池 満雄
清須市土田の曲太鼓の流れ一寺野

八劔社神楽保存会の三〇年 半田 実
愛知県における『テレビドラマ草
創期』の基礎的研究—中部日本
放送 テレビ演出家・大脇明の
仕事 村上正樹／飯塚恵理人
新刊紹介 熱田神宮民庁編刊『熱
田神宮文書』 熱田社僧閑係文
書について 飛岡 秀樹
第54回研究会発表要旨
日泰寺の歴史を探る 加藤 龍明
熱田神宮の刀剣—奉納の諸相、
切符銘を通して 福井 款彦

◆年報 中世史研究 中世史研究会
〒464-8601名古屋千種区不老町
名古屋大学文学部日本史研究室気付
TEL052-789-2228

◇42 2017.5 A5 108p 2000円
治承・寿永内乱後の東海地域にお
ける鎌倉幕府の支配体制形成—
頼朝上洛に着目して 勅使河原拓也
後花園天皇をめぐる皇統解釈の基
礎的考察—真成親王の京中伏見
御所と尊号宣下を中心に 久水 俊和
史料紹介 泊浦・道智上人周辺の
夢語り—市原道場金光寺蔵『仏
説目連救母經』紙背の起請文 藤原 重雄
書評 鹿毛敏夫著『描かれたザビ
エルと戦国日本—西欧画家のア
ジア認識—』 黒嶋 敏
研究余録
「伊勢供御人」をめぐって 小原 嘉記

栄典としての書札礼 小久保嘉紀

◆古橋懐古館だより
〒441-2513愛知県豊田市稲武町タヒラ8
TEL0565-82-2100 2017年創刊 kaikokan.org
◇1 2017.4 A4 8p
創刊号ごあいさつ 西海 賢二
施設紹介 懐古館本館(歴史資料)
／懐古館別館(民俗資料)／古橋
家旧宅／収蔵庫と大鯉の池／秋
葉常夜燈
展覧会のご案内
常設展「維新前夜と動乱の群像」
古橋 正光
企画展「奥三河の祭りごと」
企画展ノート 三遠南信巡礼40年
—秋の企画展示随想 西海 賢二
資料紹介 相楽総三 短冊一枚 古橋 正光
別館(民俗資料)展示構想 別館再
開館に向けて 現在の展示／こ
れからの展示… 張 艶
新刊案内 古橋懐古館資料集第六
『天皇・親王・公家・武将・大名・
僧侶・義士篇』 千嘉子館長を
偲んで 古橋 史江



* 古橋懐古館は享保年間から現愛知県豊田市
稲武町タヒラで酒屋などを営んできた古橋家

の数万点に及ぶ収蔵資料を公開する歴史資料
館である。寛政5年(1793)建築の酒蔵を改築
した本館(歴史資料)、寛政6年建築の味噌蔵
を改築した別館(民俗資料)、明和年間建築の
古橋家旧宅の3棟からなる。資料は古橋家の
定住を表す村方文書、小作証文、生業に関わ
る帳簿や日記、書簡、道具類から、与謝野蕪
村、渡辺華山、谷文晁、西郷隆盛、勝海舟、
吉田松陰らの書画など文化財として貴重なも
のまで幅広い。これらは1958年以降公益事業
として一般公開され、1963年には、愛知県豊
橋市出身の故芳賀登氏の指導の下で「古橋家
文書研究会」を発足させて調査と目録作成、
町の生活史研究を続け、多くの教員、学生を
受け入れて教育普及活動にも努め、地方創生
の役割も担ってきた。この度、西海賢二館長
のもとで広報誌が創刊され、所蔵資料と館活
動が広く発信されることになったのは大変に
喜ばしいことである。

◆蓬 左 名古屋蓬左文庫
〒461-0023名古屋市東区徳川町1001
TEL052-935-2173 1980年創刊
housa.city.nagoya.jp
◇94 2017.6 A4 8p
徳川美術館本館 特別展 天下人
の城—信長・秀吉・家康—
企画展 江戸の生きものの図鑑—み
つめる科学の眼—
東照宮祭の絵草紙売り 井上 善博
表紙 乙未本草会物品目録
嘗百社編 1冊 26.8×18.1cm 木村 慎平

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇589 (57-3) 2017.5 B5 8p 600円
表紙写真のことは 熱田神宮御衣

祭 愛知県名古屋市熱田区 田中 青樹
福島・栗生沢獅子舞 石川 博司
熱田神宮摂社
御田神社の御田植祭 野村 辰美
古戸のしかうち神事見学記 鷲野 正昭
新刊紹介 福岡祭事考説 佐々木
哲哉著／韓国農業と羅錦秋 女
流名人の人生と近現代農業史
神野知恵著
民俗芸能情報
椎葉神楽の演目(嶽之枝尾)
◇590 (57-4) 2017.7 B5 8p 600円
表紙写真のことは 小川素鷲神社
祇園祭 茨城県小美玉市 坂本 要
東海民俗研究発表大会発表要旨
韓国民俗芸能との比較的視座か
ら見る伊勢大神楽の回壇 神野 知恵
新しく発見された先史の天文學上
の産褥星穴群の岩繪にみる煙火
鳥香の占下一北海道フゴッペ洞
窟の綫刻岩繪の解讀上の問題(5)
水原 渭江

新刊紹介 南日本の民俗文化写真
集4 屋久島・口永良部島 下
野敏見著

近畿

◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団
〒520-0806大津市打出浜15-1
TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊
www.biwako-arts.or.jp
◇159 (41-2) 2017.4 B5 92p 584円
《特集 日本私(わたくし)の遺産 in 滋賀》
日本遺産「琵琶湖」 大沼 芳幸
日本「琵琶湖疏水」遺産 中尾 滋男
日本「ヴォーリズ建築」遺産 藪 秀実
日本「芭蕉」遺産 岡本 光夫
日本「城郭」遺産 米田 実

日本「石造トンネル」遺産 森野 秀三
 日本「姉川水利」遺産 高橋 順之
 日本「近江商人の町」遺産 上平 千恵
 大津京、万葉をうたう(4)
 近江朝廷での歌宴
 文と曲・林博通／画・鈴木靖将
 近江の懐(2) 海津宿 加藤賢治／石川亮
 おもしろ近江考古学(11) 人物名
 を記した土器 野洲市桜生古墳
 群 高島市上御殿遺跡 松浦 俊和
 鳥の目巡遊(11)最終回 鳥瞰図を
 描いてみましょう 柏原宿歴史
 館／長浜曳山祭 延木由起子
 滋賀文化事情
 琵琶湖就航の歌100周年 村井 佳子
 北から南から
 金森御坊で500年の伝統行事
 『苦菜法会』 松村 太平
 石罅を使った山脈が連なるよう
 な作品 伊東 晃
 天台教学に魅せられたドイツ人
 大木 文雄
 戦火をくぐり抜けた馬頭観音さ
 ん 眞壁 四郎
 みちくさ近江(1) 小さな村の大
 きな歴史／下駒月 三宅 貴江
 白鳥川の春 吉田 栄治
 歴史の玉手箱(3) 明治期の漁業 杉原 悠三
 三角点の山と私(12) おすすめの山
 阿星山 山本紀美子
 二の谷山 小林 守
 ◇160 (41-3) 2017.7 B5 96p 584円
 《特集
 文学の風土滋賀／能楽・文楽の風土近江》
 湖国の文学風土 岡本 光夫
 能楽と近江 伊庭 貞一
 文楽の風土近江 森西 真弓
 湖國藝術紀行(19) 「湖笛」と

「流れ公方記」の世界を歩く
 文・植田耕司／写真・長井泰彦
 みちくさ近江(2) 大空の夢と
 軍靴の跡と(東近江市八日市・
 布引丘陵) 三宅 貴江
 待(まつ)文麻呂の芸能話(1) 江
 州音頭 県外の人と音頭を通し
 て一体化 待 文麻呂
 おもしろ近江考古学(12) 塩津港
 の賑わい(長浜市塩津港遺跡) 松浦 俊和
 北から南から
 比叡山に出現されたダンブカー
 道路 大木 文雄
 草津市の花『アオバナ』の今 松村 太平
 数え年八歳の女兒が主役 眞壁 四郎
 古材をよみがえらせる 伊東 晃
 歴史の玉手箱(4) 「未発」の米騒
 動 廃案文書から伺える時代の
 刻印 大月 英雄
 大津京、万葉をうたう(5)
 後宮で天智を待つ額田王
 文と曲・林博通／画・鈴木靖将
 ぶらり近江はっけん伝(1) 岸野 洋
 近江の懐(3) 木之本宿 加藤賢治／石川亮
 三角点の山と私(13) 魅力的な低山
 蒲生野にたなびく 布引山 青柳 茂晴
 修行の場を感じさせる 岩尾山
 宮本 直興
 ◆戦国史と人 女風林火山
 戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究
 会 〒520-0528滋賀県大津市和辻高城289-
 11 首藤義之方 年1400円
 ◇60 2017.7 B5 81p
 《特集 続・本能寺の変と武田松姫(中)》
 本能寺の変と酒井忠次―『家忠日
 記』・『宇野主水日記』・「岡部正
 綱宛て家康書状」から崩れる徳

川家康のアリバイ 首藤 義之
 本能寺の変と武田松姫―徳川家康
 謀叛の真の動機を解明する 首藤 義之
 「伝・徳川家康三方ヶ原戦役画像」
 は、誰を描いているのか 首藤 義之
 本能寺の変と徳川家康一家康と明
 智光秀・斎藤利三の関係史料 首藤 義之
 民放ドラマ時代劇『おんな風林火
 山』の思い出と新作への期待 編集 局
 ◆彦根城博物館だより
 〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1
 TEL0749-22-6100 1988年創刊
 www.hikone-castle-museum.jp
 ◇117 2017.6 A4 4p
 企画展 国宝・彦根城築城410年
 祭関連事業 能面再興の立役者
 近代の名工・中村直彦
 テーマ展 煎茶一文雅清遊のいと
 なみ、企画展 国宝・彦根城築
 城410年祭関連事業 能面再興
 の立役者 近代の名工・中村直
 彦、テーマ展 日本刀鑑賞のス
 スメー井伊家伝来の名刀尽、テ
 ーマ展 雅な遊び
 松原湊の米宿 渡辺 恒一
 ◆宇治市歴史資料館年報
 〒611-0023京都府宇治市折居台1-1
 TEL0774-39-9260
 ◇2015 2017.3 B5 56p
 史料紹介『奈良鉄道名勝案内』(下)
 小嶋正亮／岡本京子
 ◆黄檗文華 黄檗山万福寺文華殿
 〒611-0011京都府宇治市五ヶ庄三番割34
 TEL0774-33-1199 1973年創刊
 ◇136 2017.7 B5 300p

鐵心道胖の文事―「聖福八景」詩
 原巻とその時代 若木 太一
 泉州と紀州の黄檗廃絶寺院につい
 て 石渡 吉彦
 近江における黄檗末寺の増加とそ
 の背景―祐堂元蔭の萬年寺再興
 を中心に 松岡久美子
 瑞龍寺と河口慧海 高山 龍三
 黄檗四年苦記について―近世中国
 俗語の一資料として 故 林雪光
 詩で綴られた宗祖御一代記『祖徳
 讃頌』を繙く 住谷 瓜頂
 萬福寺萬寿院所蔵・河島雪亭尚明
 筆「釈迦羅漢図」について―江
 戸時代仏画における雪舟画の再
 生 藤元 裕二
 隠元禪師語録について(9) 大槻 幹郎
 続・仙台藩主伊達家の墓碑考察
 (個室編) 秋元 茂陽
 日本京都金光寺蔵『仏説目連救母
 経』関連表現 北川 修一
 萬福寺文華殿建設の経緯と大正時
 代以降の文献目録 田中 智誠
 明の中天正圓和尚の事跡 林 観潮
 天童密雲圓悟禪師語録およびその
 禪学思想についての研究
 黄連忠 著／野川博之 邦訳
 人物書誌大系『河口慧海』補遺(2)
 高山 龍三
 伊藤若冲と魏略の関連を探って
 ー『鉄眼黄檗蔵』の開版の考察
 を兼ねて 楊 桂香
 ◆銀幕 銀幕維新の会
 〒603-8247京都市北区紫野泉堂町34-101
 TEL075-204-2853 ginmaku.jp
 ◇5 2017.5 A4 16p
 《浅田文学 珠玉の名作

映画『輪違屋糸里』のすべて》
「輪違屋糸里」余滴 浅田 次郎
若手キャストが勢揃い
監督を支えるベテラン製作陣
「輪違屋糸里」相關図
ゆかりの地・ロケ地探訪
蔵出し談話会
勝野賢三／徳丸新作／虎之助／
片田義一／沖村保範／田中耕三
郎／寿美乃／聞き手・宮内礼二

◆史迹と美術 史迹美術同致会
〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊
https://www.shibikai1930.com
◇874 (87-4) 2017.5 A5 34p 916円
清水磨崖仏塔群No95線刻五輪塔の
造立時期について(上) 佐藤 誠
新出資料紹介 「久多の五輪塔」
一在銘最古の木造五輪塔 加藤 繁生
第1029回例会 多賀参詣曼荼羅の
世界観を巡る 吉村 龍二
第23回「石造美術勉強会」報告
西村石灯呂店を訪ねる 高橋 浩行
追悼文集 故中西亨名誉会長を偲
んで 追想中西亨先生 小山 正文
故中西亨名誉会長著作目録
◇875 (87-5) 2017.6 A5 32p 916円
清水磨崖仏塔群No95線刻五輪塔の
造立時期について(中) 佐藤 誠
再び高野山最古の在銘一石五輪塔
について 木下 浩良
第1030回 海のある奈良一若狭小
浜を訪ねる(1)(2) 加藤 繁生
第24回「石造美術勉強会」報告
洛北大原の石造美術と仏像 川西きみ子
◇876 (87-6) 2017.7 A5 30p 916円

一休寺と観世音阿弥の出自をめぐ
って(上) 村上 泰昭
清水磨崖仏塔群No95線刻五輪塔の
造立時期について(下) 佐藤 誠
第1031回 紀美野町総巡り 松本 啓吾
新刊紹介 日野西真定著『高野山
信仰史の研究』(日本宗教民俗
学叢書⑧) 木下 浩良
◇877 (87-7) 2017.8 A5 32p 916円
一休寺と観世音阿弥の出自をめぐ
って(下) 村上 泰昭
「市中隠」および「山居」の語義
について 加藤 繁生
第1032回例会 枚方市内の文化財
と京田辺市大御堂観音寺を訪ね
て 松永 修輔
第25回石造美術勉強会報告
京都 嵯峨野の石造美術 田中 康夫

◆古代史の海 「古代史の海」の会
〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9
上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊
www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/
◇87 2017.4 A5 64p 1500円
引用は正確に 中村 修
「方～里」表記をめぐって(2) 中村 修
百済観音の飛鳥時代(10)
飛鳥時代の政治と仏教(1) 山下 輝幸
八紘為宇と八紘一字(2) 中村 修
記紀神話の歴史的形成過程の考察
(1)一国家神の転換とオオモノ
ヌシ 河越 尚司
古代高橋氏の水軍的側面について
の一考察 高橋 輝好
◇88 2017.7 A5 64p 1500円
論文検索今昔 上遠野浩一
二〇一六年・古代史総括 森岡 秀人
百済観音の飛鳥時代(11)

飛鳥時代の政治と仏教(2) 山下 輝幸
続・伊勢神宮はなぜそこに鎮座す
るのか(上)一中村修「磯宮」
について」を拝読して 尾関 章

◆史談福智山 福知山史談会
〒620-0883京都府福知山市本堀1430
中村邦夫方 TEL0773-22-2737
◇778 2017.1 B5 6p
井戸の変遷 塩見 昭吾
江戸時代の旅一往来手形 大槻 伸
日々是好日 昔の人は偉かった 大谷 勇
◇779 2017.2 B5 4p
平成二十九年度総会報告
記念講演「丹波・丹後における紙
漉きの近代」丹後郷土資料館学
芸員・青江智洋先生 (文責・岡垣)
◇780 2017.3 B5 4p
福知山市小牧 荒神祠跡石像物に
ついて 崎山 正人
平成28年度古文書講座まとめ 佐古田廣文
◇781 2017.4 B5 4p
資料紹介
大江町内宮皇大神社の瓦 大槻 伸
歴史街道余話(2) 芦田 精一
◇782 2017.5 B5 6p
宗門改帳 逼迫等困窮ニ付 佐古田廣文
深泥(みぞろ)一人百首 光秀さん
の改姓／「本能寺の変」の発端
? (2) 尾松 克巳
◇783 2017.6 B5 6p
大江町の芭蕉句碑 数珠塚につい
て 大槻 伸

◆地名探究 京都地名研究会
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町
14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2003年創刊

kyotochimei.wix.com/kyotochimie/
◇15 2017.4 A4 62p
地名のアイヌ語源説について 綱本 逸雄
地名「京都」の成立をめぐって 井上 満郎
上杉本洛中洛外図屏風と町名 川嶋 将生
蟹満寺と雪野寺から綺田の地名を
考える 中島 正
地形が語る縄文語の地名 永田 良茂
私が生まれ育った「紀伊郡伏見郷
の歴史」―不死身の伏見 そこ
には大池があった 酒井 源弘
プロジェクトワーク「日本の地名」
実践報告 山口 均
地名研究の落とし穴
―一口を中心に 小寺 慶昭
万葉集 謎の東歌を解く―北常陸
の母なる久慈川の意味 吉田 金彦
地名学講座
難読・難解地名の生成(上) 糸井 通浩

◆都藝泥布 京都地名研究会通信
〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町
14-5 入江成治方 FAX075-331-3431
年3000円 2002年創刊
kyotochimei.wix.com/kyotochimei/
◇58 2017.6 A4 8p
2017年度(第16回)総会・講演会
講演
枕詞「あしひきの」は「峯引き
の」か 西崎 亨一
地名の漢字 鏡味 明克
第46回地名フォーラム開催案内
講座 地名学への招待(シリー
ズⅠ) 地名が「難読・難解」に
なるのはなぜ?(糸井通浩氏)、
研究発表 薩長同盟締結地「御
花畑」発見(原田良子氏)
寺の名が付く町名 連載12

永源寺町 清水 弘
北山の山名(7) 小寺 慶昭
私の地名学文献紹介1 蜂矢真郷
著『古代地名の国語学的研究』 糸井 通浩

◆日本宗教民俗学会通信

〒603-8143京都市北区小山上総町22
大谷大学平野研究室内 ℡075-432-3131
年5000円 religiousfolklore.in.coocan.jp
◇138 2017.4 B5 4p
2016年度フィールドワーク実施報
告 参加者の感想
「花祭り」見聞録 植岡 真弓

◆ノートル・クリティーク 歴史と批評

ノートル・クリティーク編集委員会
〒662-8505兵庫県西宮市岡田山4-1 神戸
女学院大学文学部 河西秀哉研究室気付
2008年創刊 notre-critique.com
◇10 2017.5 A5 90p 1000円
戦争映画の歴史と現在 白川 哲夫
インタビュー 宇川と丹後の戦後
史と基地・軍隊―増田光夫氏に
聞く 大野 光明
書 評
安志那著『帝国の文学とイデオ
ロギー―満州移民の国策文学』
安岡 健一
櫻澤誠著『沖縄の保守勢力と
「島ぐるみ」の系譜―政治統
合・基地認識・経済構想』 成田 千尋
リプライ 櫻澤 誠
史料紹介 皇族たちの声 河西 秀哉
ノートル・クリティーク総目録
創刊号(2008年5月)～第10号(20
17年5月)

◆池田郷土研究 池田郷土史学会

〒563-0058大阪府池田市栄本町9-1 池田
市コミュニティセンター いけだNPOセ
ンター内 年3000円 1956年創刊
◇19 2017.4 B5 86p
池田時代の岩野泡鳴 藤井 知敏
池田の青物問屋の変遷
一元禄時代以降の動向 川合 賢二
国人池田氏の出自について 丹生谷哲一
大衆演劇の魅力
―池田・呉服座とも関わって 山路 茂則
近世・近代の神田
―神田村史料に見る 高木 正時
細河植木園芸関係文献目録 細谷 宗令

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 ℡0724-28-0204 年1200円
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/
◇352 2017.4 B5 12p
史料紹介 寛文元(1661)年12月
「乍恐返答」 重信 陽子
明治初期の地誌書に見る泉州
―兵要日本地理小誌(4) 岸田 修一
各所にみる「顕如上人」(1) 北山 理
◇353 2017.5 B5 12p
史料紹介 天正13年10月の本願寺
顕如あて片桐且元書状 廣田 浩治
明治初期の地誌書に見る泉州
―陸軍省の兵要地理 岸田 修一
各所にみる「顕如上人」(2) 北山 理
たそがれの泉州弁(27) 中野 恒一
◇354 2017.6 B5 12p
史料紹介 幕末の幕政批判・菅の
世ちよぼくれ 井田 寿邦
明治初期の地誌書に見る泉州
―陸軍省の兵要地理(6) 岸田 修一
蟻通神社有形文化財登録記念事業

第3回ありとほし薪能公演報告
書(2) 北山 理
たそがれの泉州弁(28) 中野 恒一
◇355 2017.7 B5 12p
史料紹介 日根郡新家村の煙草産
業 山田新五郎の上申書 下村 欣司
蟻通神社有形文化財登録記念事業
第3回ありとほし薪能公演報告
書(3) 北山 理
和泉の中世城郭(48) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(29) 中野 恒一
16年度を振り返る 事務局
◇356 2017.8 B5 12p
向井久万筆「銃後を守る国防婦人
会」(蘭東閣美術館所蔵)につい
て よねかずゆうたろう
13年夏の研修旅行の報告 鯖街道
から敦賀そして菅浦へ(3) 国
民宿舎城山荘、金崎宮と金ヶ崎
城跡、敦賀市立博物館とみなと
つるが山車会館、敦賀赤レンガ
倉庫、菅浦 勝矢 寛雄
和泉の中世城郭(48) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(30) 中野 浩一
◇357 2017.9 B5 12p
戦国時代の明応七年地震と佐野の
津波 廣田 浩治
岡本村の歴史散歩(1) 立石 元
和泉の中世城郭(50) 井田 寿邦
たそがれの泉州弁(31) 中野 浩一

◆大阪歴史懇談会会報

〒536-0008大阪府城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップ一兵内 ℡06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com
◇392 (34-4) 2017.4 B5 8p
巻頭言「神のおやしろのこと」(19)

「お初天神」(2)―お初徳兵衛 和久 敦也
平成29年3月例会報告(第367回)
「『京都美耶解』にみる幕末の京
都」 寺井正文氏 (報告・寺井)
◇393 (34-5) 2017.5 B5 8p
巻頭言「神のおやしろのこと」(20)
「お初天神」(3)―難波神明社 和久 敦也
平成29年4月例会報告(第368回)
「暦入門」 和久敦也氏 (報告・和久)
会員講座・第23回 古文書講座
「「すて子」添書」 中澤祐一氏
(報告・磯崎)
◇394 (34-6) 2017.6 B5 8p
巻頭言「神のおやしろのこと」(21)
「網敷天神社」 和久 敦也
平成29年5月例会報告(第369回)
「性の境界を越えた日本人の美
意識」(続)―ヤマトタケルの変
装などから 片倉穰氏 (レポート・中澤)
平成29年・春の見学会『安倍氏の
所領「あべの」を歩く』 案内
人：見学会 白須一信氏・和
久敦也氏 (報告・井川)
◇395 (34-7) 2017.7 B5 8p
巻頭言「神のおやしろのこと」(22)
「網敷天神社」(2) 和久 敦也
平成29年6月例会報告(第370回)
「震災後の陸前高田市の現状報
告」―松坂家萬霊過去帳の修復
公開 松坂定徳氏 (報告・朝山)
会員の書評 「『三商大』東京、大
阪、東京、神戸 日本ビジネス
教育の源流」 加藤 照也
5月例会講演・関連ニュース 〈奇
跡の一本松〉布素材に再生 衣
装やスカーフに(2017年6月20日
付け河北新報より)
◇396 (34-8) 2017.8 B5 8p

巻頭言「神のおやしろのこと」(23)
「網敷天神社」(3) 和久 敦也
平成29年7月例会報告(第371回)
「香道とは」—香道の簡単な歴史
と内容西際好譽氏 (報告・和久)
芝村篤樹先生を悼む 室田 卓雄
◇397 (34-9) 2017.9 B5 8p
巻頭言「神のおやしろのこと」(24)
「少彦名神社」 和久 敦也
平成29年8月例会報告(第372回)
「三好長慶と堺」吉田豊氏 (報告・白須)
平成29年度「大阪歴史懇談会定時
総会」開催
会員の書評「勝利者の悲哀 日
米戦争と必勝国民読本」(徳富
蘇峰著 毎日ワンプズ) 加藤 照也

◆大塩研究 大塩事件研究会
〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊
◇77 2017.8 A5 80p
この言葉(32) 藪田 貫
酒井一著『日本の近世社会と大塩
事件』(和泉書院)によせて 深谷 克己
講演録 二宮尊徳の仕法と思想—
富の再分配と公共性の視点から
早田 旅人
思想方法から見た大塩平八郎とル
ソー(下) 森田 康夫
乱180年 大塩関連映画上映会 島田 耕
資料翻刻「難波美家解」(3)
大塩の乱関係資料を読む部会
大塩ゆかりの地を訪ねて(7)
「茨田郡士と大塩平八郎」 常松 隆嗣

◆かいづか文化財だより テンブス
貝塚市教育委員会
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1

TEL072-433-7126 1996年創刊
◇62 2017.6 A4 8p
岸和田藩の七人庄屋／藩主の御成
りと魚釣り
貝塚の東盆踊り—民俗芸能大会出
演に向けて
古文書講座—市内にのこる身近な
古文書「根来者と泉南・紀北
—由緒書にみる戦いの様子」／
地区の近現代史料を整理—清見
町会共有文書
岩橋善兵衛と望遠鏡(3)—京都に
おける2度目の天体観測／水間
街道沿いの道しるべ その5 水
間街道道標7(三ツ松)

◆家系研究 家系研究協議会
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 1981年創刊
www.geocities.jp/kakenkyou/
◇63 2017.4 B5 121p 1500円
桑山重晴の祖系 宝賀 寿男
岩城国安原村庄屋安原氏の家系と
出自 安原 繁俊
珍姓のルーツ(28) 中田みのる
井伊直政の辞世 安居 隆行
三井氏考 三井 久安
比留間氏のあゆみ—高麗・比留間
氏編(埼玉県日高市) 比留間和憲
薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話
刀鍛冶の里(8-2) 浪平 博司
表紙家紋「井桁紋」 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921
年5000円 2002年創刊

www.geocities.jp/kakenkyou/
◇60 2017.4 B5 8p
私と台湾 三國 郁自
家系研究協議会 平成28年度 冬
の例会報告「江戸・京都・大坂
の三都で活躍した豪商 三井一
族について」本会執行理事 馬
原浩一氏 (馬原)
珍名さんいらっしゃい(53) 眞野 幹也
◇61 2017.8 B5 8p
もう一人の次郎法師 馬原 浩一
家系研究協議会 平成29年度 総
会及び春の例会報告 春の例会
「井伊家千年紀」歴史研究家
増田由季氏
珍名さんいらっしゃい(54) 眞野 幹也

◆河内長野市郷土研究会誌
〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
椋本進方 TEL0721-52-3394 年3000円
1979年創刊
◇59 2017.4 B5 128p
加賀田八幡宮の研究 松尾巴留美
大正10年発行の「阿南の葉」につ
いて 松本弘(裕之)
大坂夏の陣と百姓・左次右衛門
『谷氏徳恵傳』より 川中ひとみ
上田村金勝商店に残された鉄灯籠
と鉄台座の年代測定 古川美貴子
鬼住村研究 中世・室町時代
鬼住惣住民・道空のこと
工房鬼住・中筋喜春(喜昭)
神南辺隆光と御室御所(仁和寺)そ
して西国三十三度 供養塔石造
物に刻まれた文言から見えるも
の 玉城 幸男
加賀田小学校100周年をひもとく 井上 元良
報告 第17回知ったはりまっか?

河内講座 椋本 進

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7階
TEL06-6775-3686 年2200円
◇809 2017.4 A4 10p 300円
和歌山県下の近代和風建築 その
意義と特質—県議会議事堂・温
山荘・濱口儀兵衛邸・濱口吉右
衛門邸を事例に 川島 智生
三好氏が育てた戦国の堺 天野 忠幸
◇810 2017.5 A4 10p 300円
真宗高田派本山・専修寺の伽藍と
一身田寺内町 矢ヶ崎善太郎
仏堂と豊一真宗寺院を中心に 櫻井 敏雄
柳生の里を訪ねる 森下 恵介
◇811 2017.6 A4 8p 300円
西大寺荘園絵図を歩く 佐藤 亜聖
野迫川村の仏像 神田 雅章
◇812 2017.7 A4 10p 300円
倭姫命の伊勢巡幸—旅立ちの前に
岡田 登
乙訓古墳群とその周辺の古社寺
—小畑川下流域の遺跡探訪 泉森 皎
◇813 2017.8 A4 8p 300円
兵庫県の戦争遺跡 駒井 正明
奈良の縄文遺跡を訪ねて
—縄文文化の始まりと終焉 松田 真一

◆除痘館記念資料室だより
洪庵記念会除痘館記念資料室
〒541-0042大阪市中央区今橋3-2-17
緒方ビル TEL06-6231-3257 2010年創刊
◇9・10 2017.6 A4 8p
「除痘館記念資料室」開設10周年
に寄せて 緒方 高志
丹波の種痘医・松本節斎とその一

族一丹波市の先人顕彰者・松本
節斎に想うこと 古西 義磨
一枚の写真―ヘガールと緒方正清
川上 潤
種痘はどうして終わったの？―種
痘による副反応をめぐって 米田 該典
堺の種痘館の成立と小林安石 浅井 允晶
緒方郁蔵について
一龍海寺の墓碑に想う 緒方 高志

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪府西成区玉出中2-11-28
平川大輔方 TEL06-6652-4511
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇580 2017.4 B5 22p
3月・第641回例会の報告 河内
津田城と私部城を訪ねて
担当幹事：川井剛・川端義憲 川端 義憲
川岡治さんとの食事会 平川 大輔
宮崎県の城を巡る(3)
都於郡城など 木下 修二
別冊 第642回 賤ヶ岳合戦の陣城
近江堂木山砦・神明山砦を訪ね
て 担当幹事：周藤匡範・藪西
旭
◇581 2017.5 B5 24p
4月・第642回例会の報告 近江
堂木山砦と神明山砦を訪ねて
担当幹事：周藤匡範・藪西旭 藪西 旭
織豊期城郭の石垣と野面積みにつ
いて 藪西 旭
楠葉台遺跡が国史跡の公園に 編集 部
「おんな城主直虎」の舞台
井伊谷城と三岳城を訪ねて 坂本 昇
別冊 第643回 大和の寺内町・環
濠 今井町・八木町を訪ねて
担当幹事：水品弘樹・山口猛
◇582 2017.6 B5 24p

5月・第643回例会の報告 大和
八木町・今井寺内町・橿原神宮
文華殿を田訪ねて 担当幹事：
水品弘樹・山口猛 水品 弘樹
私も太尾山城へ行きました 水品 弘樹
太尾山城鳥瞰図 川端 義憲
紀伊鳥屋城探訪記 川端 義憲
別冊 石清水八幡宮境内(八幡の
城)と楠葉台場跡を訪ねて 担
当幹事：小川実・木下修二
◇583 2017.7 B5 22p
6月・第644回例会の報告 石清
水八幡宮境内(八幡の城)と楠葉
台場跡を訪ねて 担当幹事：小
川実・木下修二 木下 修二
日本最南端の城を訪ねて 坂本 昇
歴史と文芸の山・鞍馬寺 編 集 部
別冊 尾張 小牧山城と砦跡を訪
ねて 案内講師：小野友記子氏
担当幹事：栢木隆・平川大輔
◇584 2017.8 B5 22p
7月・第645回例会の報告 尾張
小牧山城と周辺の砦跡を訪ねて
案内講師：小野友記子氏 担当
幹事：栢木隆・平川大輔 栢木 隆
山奥に残る吉成屋敷の穴太積石垣
と隧道について 藪西 旭
郡山城天守台の解体 編 集 部
大急ぎの櫛崎城と台場跡 川端 義憲
別冊 第646回 洛北 鞍馬山
鞍馬寺を訪ねて 担当幹事：川
端義憲

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208
小川滋方 月1000円 1988年創刊
homepage2.nifty.com/toyonakarekishu/
◇351 2017.4 B5 20p

推古天皇と蘇我馬子と隼人馬(上)
平林 章仁
枚方市牧野・禁野の古墳と社寺を
訪ねる 久米 健児
◇352 2017.5 B5 18p
推古天皇と蘇我馬子と隼人馬(下)
平林 章仁
塚口義信先生著『邪馬台国と初期
ヤマト政権の謎を探る』を拝読
して 荊木 美行
古人骨DNAの解析 石塚 一郎
◇353 2017.6 B5 18p
「最後の方後円墳大王墓」の周
辺―敏達朝の未解決問題をめぐ
って 坪井 恒彦
平城京から尼ヶ辻にかけての史跡
を訪ねる 古高 邦子
第29回定期総会報告
◇354 2017.7 B5 22p
屯倉(ミヤケ)から郡(コホリ)へ
―ヤマト政権の地方支配 荊木 美行
柳本古墳群と周辺の社寺を訪ねる
石塚 一郎
◇355 2017.8 B5 20p
混迷の六世紀―今城塚古墳と新興
中小規模古墳の動静
山口大学人文学部教授 田中晋作
志賀高穴穗宮、近江大津宮と渡来
人の里を訪ねる 菅田 隆久
◇356 2017.9 B5 14p
他界創造―古墳と壺 辰巳 和弘
古代史こぼれ話―第一話 卑弥呼
は邪馬台国の女王ではなかった
のか 塚口 義信
弥生時代の脚付き編みかごと「四
方結びの箱」 野田 昌夫

◆歴史考古学 歴史考古学研究会
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方 TEL072-331-6679 年3000円
1978年創刊
◇73 2017.4 B5 63p
覧字塔考―その発生と展開 太田まり子
滋賀県の「延造り型式」の宝篋印
塔と京都府城陽市の深広寺宝篋
印塔 多田 準二
奈良県の名号板碑初出時期につい
ての一考察 奥村 隆彦
焼き物の小仏塔
―小仏塔の世界(3) 田村 信成
民間信仰について 奥村 隆彦
三木治子さんの死を悼む 奥村 隆彦

◆歴史懇談 大阪歴史懇談会
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2
アンティークショップ―兵内
TEL06-6931-1081 年5000円 1987年創刊
osakarekikon.cocolog-nifty.com
◇31 2017.8 B5 76p 1300円
玉山金山(11) 松坂 定徳
石見吉川家十代目 吉川式部少輔
経家(13) 田村 紘一
吉川経家の連載を終えて 田村 紘一
湊川決戦余話 安居 隆行
海を越えた不思議な出逢い 中澤 祐一
国家の存在性と憲法秩序の意義と
検証 小林 司
三宝興隆時代の嚆矢にその名を留
めた非業の宰相―藤原武智麻呂
岩谷 隆行
歴史余話 亀井茲矩も連れていた
アフリカ系の大男？ 片倉 穰
明治の旅日記を読む―肥後熊本か
ら東京・日光へ(4) 寺井 正文
貝塚の郷土史探訪に参加して 磯崎 素子

今昔大阪物語(2) 和久 敦也
思い出の記 片倉 穰
コラム 独り言つ「マッカーサー
の最悪手」 井川 光正

◆会報むろのつ 「嶋屋」友の会
〒671-1332兵庫県たつの市御津町室津457
たつの市立室津海駅館内
TEL079-324-0595 年3000円 1997年創刊
www.maple.or.jp/~shimaya/
◇23 2017.4 B5 42p
誌上インタビュー 旅と観光 神崎 宣武
《特集 観光学》
観光文化振興の要諦—未来の子ど
もたちに地域を伝えるために 井口 貢
江戸期の朝鮮通信使を活かした
「観光まちづくり」の展開 中尾 清
観光学のススメ
一文献案内をかねて 編集部
播磨の10人(3) 性空上人 千田 草介
水で繋がれた歴史の中で(9)
『泊の修築』 岩井 忠彦
町並み探訪(23) 栃木 八木 雅夫
博物館遊歩(22) 城崎文芸館 柏山 泰訓
絵本 朝鮮通信使(2) 監修・仲尾宏／絵・綱
本武雄／文・柏山泰訓
表紙写真の説明
室津の観光案内板 柏山 泰訓

◆史料ネット NEWS LETTER
歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部内 TEL078-803-5565
年1000円 siryo-net.jp
◇85 2017.6 A4 12p
巻頭言 史料ネット運営委員にな
って思うこと 古林小百合
熊本地震と古閑家文書 今村 直樹

岩手歴史民俗ネットワークの活動
—岩泉町の台風10号の被害を中
心に 大石 泰夫
『火垂るの墓』を歩く会に参加して
小澤みのり
第3回全国史料ネット研究交流集
会の意義と課題 西村慎太郎
大船渡被災資料整理作業の現場か
ら
大船渡市の被災資料整理作業の
経過報告と雑感 小野塚航一
参加記
大船渡史料整理に参加して 船勢 肇
「被災資料」を扱ったからこ
そ発見した歴史資料の持つ
可能性 井上 乃晏
新刊紹介 『たどる調べる尼崎の
歴史』の刊行について 松岡 弘之

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇72・73 2017.6 B5 10p
伊能忠敬記念館所蔵「播州加古郡
荒井村絵図」 廣瀬 明正
尼崎「モスリン橋」幻想
—尼崎市戸ノ内町の今昔 谷山 由夫
古地図から見た浜宮天神社 打田 三郎

◆西宮市立郷土資料館研究報告
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
TEL0798-33-1298 1991年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇11 2017.3 B5 96p
影印本「岡本家文書」について
西宮市立郷土資料館
翻刻 影印本「岡本家文書」第二巻
数歳萬覺日記帳(明和5〜天明3)

萬歳暦(文政10)
◆西宮市立郷土資料館ニュース
〒662-0944兵庫県西宮市川添町15-26
TEL0798-33-1298 1987年創刊
www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/
◇46 2017.3 B5 8p
公智神社の遷座伝承について 西川 卓志
西宮歴史調査団の10年—文化財調
査ボランティア活動の記録 俵谷 和子
◇47 2017.7 B5 8p
特別展示「念仏行者徳本一行脚の
足跡と女人救済—」 俵谷 和子

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇589 2017.4 B5 8p
勝部如春斎展 堀内 陽光
「西宮」保存箱、玉手箱(40)
甲子園阪神パーク鯨の飼育 豊田 みか
往時茫々“昭和五十四年中国の旅”
(3) 二宮 健
◇590 2017.5 B5 8p
「西宮」保存箱、玉手箱(41)
丸石醸造資料—情報公開課資料
より 豊田 みか
◇591 2017.6 B5 8p
ブラジルに夢馳せた弓場勇一家と
大正デモクラシー 山下 忠男
森田登代子さん大いに語る—江戸
時代以前は受禪(生前退位)が普
通だった 江寄健一郎
「西宮」保存箱、玉手箱(42)
—情報公開課資料より 豊田 みか
◇592 2017.7 B5 8p
銀目西宮私札の誕生 藤田卯三郎
往時茫々“昭和五十四年中国の旅”

(4) 二宮 健
「西宮」保存箱、玉手箱(43)—情
報公開課資料より 西波止町 豊田 みか
◇593 2017.8 B5 8p
勝部如春斎研究ノート(4)
信行寺にあった如春斎の襖絵 土井久美子
細川正義氏大いに語る—文化講演
会「遠藤周作と西宮の文学」に
参加して 江寄健一郎
「西宮」保存箱、玉手箱(44)—情
報公開課資料より 石の宝殿 豊田 みか
香爐園浜・御前浜今昔物語(1)
海岸の移り変わり 村岡 和繁

◆歴史と神戸 神戸史学会
〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4
田中印刷出版内 TEL078-871-0551
年3000円 1962年創刊
◇321 (56-2) 2017.4 A5 49p 600円
《特集 新視角・ひょうごの中世史》
戦国期摂津国多田地域における塩
川氏の領土化過程 小山 明彦
但馬山名氏周辺の連歌
—いわゆる宗御流について 片岡 秀樹
尾芝静所著『静所詩鈔』について
(上)—『静所詩鈔』の概要紹介 三枝 正平
江戸川柳による「平家物語」(7) 石川 道子
新聞地域版を読む 神戸新聞の文
化財記事(2013年12月11日〜12
月19日) 大國正美／有吉康徳
◇322 (56-3) 2017.6 A5 49p 600円
巻頭言
《特集 戦後という時代を生きて》
『兵庫県民歌』の戦後 橋岡 昌幸
教員の戦争記憶 比嘉美智子
「野々」地名をめぐる 大村 卓弘
たまには こんな旅(上)—神戸電

鉄押部谷駅から近鉄忍海駅へ 阪下 博也
新聞新聞地域版を読む 神戸新聞
の文化財記事(2013年12月19日
～1月12日) 大国正美／有吉康德
◇323 (56-4) 2017.8 A5 48p 600円
《特集 新視角・ひょうごの近世史》
近世における播磨国の町場
一郷帳・絵図を手がかりに 伊賀なほゑ
長州藩と「兵庫御備場」(3)
一駐屯部隊の概要 竹村 勝昌
三田の地名散策 母子
怪奇譚と地名 渋谷 武弘
たまには こんな旅(上)―神戸電
鉄押部谷駅から近鉄忍海駅へ 阪下 博也
新聞新聞地域版を読む 神戸新聞
の文化財記事(2014年1月14日～
2月26日) 大国正美／有吉康德

◆大美和 大神神社
〒633-8538奈良県桜井市三輪
TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp
◇133 2017.7 B5 80p
『日本書紀』と古代史 東野 治之
第13回三輪山セミナーイン東京講
演録 引田部の赤猪子について 多田 一臣
三輪遺跡第21次調査の成果につい
て 飯塚 健太

◆鳩 遊 斑鳩を古文書で歩く会
月2000円
◇11 2017.3 A4 48p
新たな十号への第一歩 力作寸評
講師 河野昭昌
古文書解説
『斑鳩古文書選 上』『薬師寺伝
教院下文』―平安時代 下文
古文書名変更・外題 講師 河野昭昌

「伝教院下 大式庄」関連文書
三通一平安遺産相続事情と裁
許の経過 鬼塚 重則
「下 大式庄司等所」―古文書か
ら見えてくる平安後期の斑鳩
の荘園 野中 智子
再び皆で明神山に登る 横山 誠
『大和国名所図会』に見る法隆寺
鬼塚 重則
『南北朝期 法隆寺記録』追考1
講師 河野昭昌
「斑鳩を古文書で歩く会」に通って
片岡 宏子
「斑鳩を古文書で歩く会」に通い
始めて 松本 孝裕

◆紀伊考古学研究 紀伊考古学研究会
〒642-0014和歌山県海南市小野田1221-1
前田敬彦方 1998年創刊
◇20 2017.8 B5 90p 2000円
〈小特集 古代寺院の南への展開〉
道成寺再考―出土瓦からみた古代
の道成寺と桓武朝 網 伸也
天武朝寺院の展開―佐野廃寺式軒
丸瓦と巨瀬寺式軒瓦を中心に 藤井 保夫
白鳳寺院からみた畿内南限と日本
南限―佐野寺と道成寺の検討を
中心に 丹野 拓
御坊市小松原Ⅱ遺跡―日本霊異記
に記された「別寺」の発見 川崎 雅史
和田盆地の開発と中世宮井用水―
中世日前宮領の考古学的検討 田中 元浩
根来寺遺跡出土の半円柱形船イン
ゴットと鉛製鉄砲玉 北野 隆亮
資料紹介
有田川流域の円筒形埴輪 河内 一浩
和歌山城天守の埴敷瓦 奥村 薫
『紀伊考古学研究』の20年を振り

返る 北野 隆亮
『紀伊考古学研究』総目次
(第1～20号)
和歌山県の考古学関係文献目録
(2016年)

◆紀南・地名と風土研究会会報
〒646-0002和歌山県田辺市上万呂549-3
浅里耕一郎方 TEL0739-25-3794
年2000円 1985年創刊
◇57 2017.7 B5 22p
金属文化と色川の地名 田中 弘倫
野中の継桜王子社とその周辺 杉中浩一郎
紀南地方における紀州航路の主要
寄稿大概観―三輪崎・勝浦篇 角 克明
南朝中臣の末裔、愛州氏の「隠居
屋敷」―屋敷の構造とその技法
について 吹揚 克之

◆熊楠研究 南方熊楠顕彰会
〒646-0035和歌山県田辺市中屋敷町36
南方熊楠顕彰館内 TEL0739-26-9909
1999年創刊 www.minakata.org
◇11 2017.3 A5 296p 3000円
公開シンポジウム ロンドンの近
代科学と南方熊楠
公開シンポジウムに参加して 川島 昭夫
南方熊楠投稿時代(1893～1914)
の科学雑誌『ネイチャー』の
性格 村岡 健次
ロンドンでは熊楠をどう変えたか
―植物学、『ネイチャー』、大
英博物館を中心に 志村 真幸
英文論考「燕石考」の構造―ス
ワローストーン伝説の起源と
マンダラ 中西 須美
南方熊楠と高木敏雄の説話学
―その特徴と可能性 杉山 和也

南方熊楠の学問の方法と A.Bain
の *Logic* 嶋本 隆光
南方熊楠が正式記載した子囊菌類
キノコ―南方熊楠と菌類学者
今井三子 郷間 秀夫
日本産ニュートンモジホコリをめ
ぐる南方熊楠と小畔四郎の往復
書簡―なぜ、南方は新種と考え
なかったのか 矢野 倫子
南方熊楠・小畔四郎書簡―江本義
教授集品関係
翻刻 東京・南方熊楠翻字の会
資料紹介
田中長三郎書簡と「南方植物研
究所」(補遺) 川島 昭夫
南方熊楠・藤岡長和関係書簡 岸本 昌也
C・H・リードから南方熊楠へ
の来簡―内容紹介と翻刻・翻
訳 松居 竜五
書 評
中沢新一『熊楠の星の時間』 唐澤 太輔
大原智／ジャン・クリストフ・
ヴァルマレット『南方熊楠。
東洋と西洋をつなぐエコロジ
ー思想の誕生』 加納由起子
松居竜五『南方熊楠―複眼の学
問構想』 奥山 直司

◆熊 野 紀南文化財研究会
〒646-0024和歌山県田辺市学園6-3
濱岸宏一方 TEL0739-25-0657 年3000円
1969年創刊
◇152 2017.5 A5 51p
『熊野古道をゆくⅢ―私の備忘録
―』(3) 神の座を追われた天狗
の話と神の座に就いた天狗の話
宮本 恵司
史料翻刻・解題 南方熊楠宛野手

耐書簡(上)一昭和天皇の神島臨幸をめぐる県知事からの手紙 岸本 昌也
被差別部落に拠点を置いた「労使協調」を主旨とする中本組の実態 河瀬 健太

◆熊野学研究 国際熊野学会

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
〒168-0064東京都杉並区永福1-9-1 明治大学和泉校舎 研究棟事務室気付 TEL03-5300-1156 年3000円 2010年創刊

◇5 2017.6 A5 52p

熊野信仰と大峯奥駈道の考古学 橋本 裕行
日本一の熊野信仰

一熊野学構築への基礎的素材 山本 殖生
熊野からみる佐藤春夫と中上健次

辻本 雄一
生と死の交点・熊野 金山 秋男

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市役所商工観光課 山本殖生 TEL0735-23-3333 年3000円

◇205 2017.4 B5 2p

総会は5月20日(土)／研修講演会

「南方熊楠と熊野」／歴史探訪ス

クール／熊野の歴史を読む会／

新宮城下町遺跡発掘情報／『熊

野那智御師史料』

◇206 2017.6 B5 2p

総会報告 5月20日(土)／名取市

を訪問しましょう！／シシ垣サ

ミット in 熊野

◇207 2017.8 B5 2p

名取市へ交流訪問／シシ垣サミッ

ト in 熊野 2017／那智山奉祝

行事／『根来寺と延慶本』平家物

語』刊行／『紀南の昭和』刊行

◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1 新宮市教育委員会文化振興課 TEL0735-23-3368
年3000円 2005年創刊

◇27 2017.5 B5 4p

「アマテラス」への思い諸々 平久江剛志

平成29年度 国際熊野学会大会 in

伊勢志摩 テーマ「伊勢信仰と

伊雑宮」一御田植式を巡って

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312

江本英雄方 年3000円 1980年創刊

wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp

◇73 2017.7 A5 62p

八代藩主徳川重倫期の財政策(下)

廣本 満
本居大平肖像について 寺西 貞弘

新発見史料からみた森田庄兵衛の

新和歌浦開発計画について 武内 雅人

和歌山県の宝篋印塔について 寺本 東吾

動向 2017年度和歌山県内展覧会

情報

中国・四国

◆北東アジア文化研究

鳥取看護大学・鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所 〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854 TEL0858-26-1811 1995年創刊

www.cygnus.ac.jp/local/asia.html

◇43 2017.3 A5 62p

『北東アジア文化研究』の終刊に

あたって 野津 和功

口承文芸のウェブサイトへの登載

について 酒井 董美

サンフランシスコ講話条約から洩

れた論争中の島々 朴 炳渉
報告 韓国羅州市の現況 森本 愛

北東アジア文化研究

第1〜第43号 総目次

◆郷土石見

〒697-0017鳥根県浜田市原井町1023-9

森脇晋平方 1976年創刊

◇104 2017.4 A5 131p 1200円

表紙写真 石見銀山遺跡(龍源寺

間歩の横相掘り坑道跡)

文・安立聖／写真・松原軍二

物部神社の古代史(上) 長尾 英明

旧藩・城への稀薄感、その一考察

(下)一浜田開府四百年の感懐 岩町 功

柿本人麻呂と万葉集(4)

一その歴史学的考察 安達 肇

中世の日原(上) 岩崎 健

「探検」論、あるいはユーラシア

交通史の中の能海寛 平賀英一郎

鳥根県水産開発青年隊 追想記 鈴木 博也

石見神楽の面道楽 竹内 惟臣

新むかしばなし(1)

一都野津の金色の佛さん 村上 英明

映像・朗読劇 狭姫伝説一くにび

き学園西部校25期社会文化科上

演脚本 山本 雄二

町から村から

私の履歴書 福岡ユタカ

亀太じいさん 岩町 功

郷里点描(二)

一鎌手という村の名前 田中 寿朗

“ふる里史跡歌巡り” 裾坂庄之進

山陰民俗学会の「柳田賞」受賞

に思う 酒井 董美

三江線の廃止から考える 芦谷 英夫

石見神楽と私 松原 和博

◇105 2017.8 A5 152p 1200円

表紙写真 J R三江線(川本町川

本付近を通過する列車)

文・写真 有田恭二

石見銀山大盛時代の漁業と海運

(下)一銀積出港に軋ヶ浦を選ん

だとする定説への疑問 児島 俊平

柿本人麻呂と万葉集(5)

一その歴史学的考察 安達 肇

川合村の庵原文一について一水産

伝習所1 回生から川合村長まで

の軌跡 杉原 隆

物部神社の古代史(中) 長尾 英明

戦国武将波根氏の出自と富永氏

一その史実と伝承の挟間から見

えるもの 池田 誠一

『ふるさとの民話』石見編のこと 酒井 董美

新むかしばなし(2)

一おゆりの松(津和野の謎) 村上 英明

義の海一異聞天保竹島事件 浜崎 勇

町から村から

郷里点描(3)一三保村湊浦と祖

母の買い物 田中 寿朗

私の祖先さがし 堀尾 功

「石見神楽調査研究賞」創設の経

過報告 岩町 功

付録 『郷土石見』著者名索引(No

1〜No104) 編集部

◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1

稲根克也方 TEL0853-53-4966 年2500円

1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp

◇191 2017.6 B5 48p

出雲大社の建造物シリーズ(7)

出雲大社氏社・釜社・十九社に

ついて 文化財建造物保存技術協会

日本遺産「日が沈む聖地出雲」特集

稲佐の浜の夕日に寄せて 椿 順一

『大社の史話』でたどる稲佐の
浜の歴史 編集部
大社の石造物(6) 前原一誠之碑 藤原 慧
コラム 「助さん」からの年賀状 山崎 裕二
戦後の大社陸上競技私史(2) 久家 彰
出雲地域の歴史と文化(13) 出雲
文化伝承館「出雲偉人伝」から
(後) 藤原 隆
消えゆくもの(55)
一出雲弁(灘ことば) 春木 芳子
世界遺産登録10周年記念 「石見
銀山展—銀が世界を変えた—」
の紹介 島根県立古代出雲歴史博物館
企画展 解明! 古代の「出雲郡」
—その始まりから復古まで—
出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季 「出雲文化活
用プロジェクト」今年度の事業
について 佐々木杏里
展覧会紹介 大社が生んだ戦後日
本を代表する挿絵画家 没後20
年! 石原豪人展 山田 勝
平成29年(2017)1月~3月 出雲市
大社町年表 編集部

◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28
光珍寺内 TEL086-222-2028
年2000円 2002年創刊
◇62 2017.4 A4 10p
平成29年度宇喜多家史談会総会記
念講演 秀家公の潜居地を訪ね
て 内藤 勝輔
末裔から見た宇喜多秀家像(前号
継承)一関ヶ原・岐阜県白檜村・
薩摩牛根郷を訪ねて 浮田 靖彦
物語直家記伝 西大寺辺の城
第33回 自立(10) 山重十五郎

平成29年度 宇喜多家史談会総会
報告 石渡 隆純
◇63 2017.7 A4 10p
宝暦八年の八丈島送品事例につい
て 大西 泰正
平成29年度宇喜多家史談会総会記
念講演 秀家公の潜伏地を訪ね
て(前号継承) 内藤 勝輔
物語直家記伝 西大寺辺の城
第34回 自立(11) 山重十五郎
宇喜多氏関連遺跡の写真展(10) 矢部 隆正

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36
村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円
1986年創刊
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇141 2017.4 B5 36p
岡山藩の医者について 次田 元文
犬養毅と三宅希峯
—犬養毅の支持基盤を探る 前田 昌義
博物館・展覧会めぐり 岡山県立
博物館 東寺百合文書世界記憶
遺産登録記念 平成二十八年
度特別展「新見莊—中世莊園の記
憶—」を観覧して 辰田 芳雄
研究余録 備中国長尾村小野家の
集書と大坂書肆河内屋儀助 倉地 克直

◆岡山民俗学会会報

〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14
難波俊成方 年4000円
okayamaminzokugakkai.web.fc2.com
◇218 2017.5 B5 10p
民俗歩く会報告 楫野 史朗
学会記事
民俗歩く会 テーマ「殉教者達
の故郷を歩く」

2月例会報告
平成28年度・第46回岡山民俗学
会賞選考委員会について
平成29年度役員会(第1回)開催
平成29年度総会・研究発表大会
報告
平成28年度記念講演内容につい
て／平成29年度研究発表大会
発表要旨 吉原 睦

◆きび野 岡山県郷土文化財団

〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号
TEL086-233-2505
◇146 2017.6 A5 14p
『祝・日本映画120年! 尾上松之助
「目玉の松ちゃん」で、ご存
知ですか?』 松野 吉孝
「観る」「遊ぶ」—豊かな文化環境
の中で子どもは育つ 長江真理子
岡山の人物 三村元親 加古 一朗
岡山の自然 夏の星空 戸田 博之
岡山の文化財 街角ミュージゼ牛窓文
化館(旧中國銀行牛窓支店) 若松 拳史
わが町・わが村の自慢
北木石記念室(笠岡市北木島)
ふるさとの思い出
旧堀和平郎(総社市)

◆芸備地方史研究

〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
hiroshima-u.ac.jp/geishi/
◇305・306 2017.4 A5 42p 600円
講演 出雲尼子氏と芸備地域 長谷川博史
2016年度 芸備地方史研究会大会
記事
研究報告要旨

弥山の覚鑢伝承と厳島神社 松井 輝昭
街の歴史は郷土の文化財 木村 浩男
十九世紀尾道を訪れた人びと
一行商人・芸能者を中心に 森本 幾子
柏原伝六と一観教 今井 豊
動向
広島県の地方史研究 雑誌目録
／研究活動
新聞記事から(2014年1月~6月)

芸備掲示板

収蔵文書展 広島県の鉄道のあ
ゆみ(2) 県北の路線を見つめ
る 広島県立文書館
平成29年度春の展示会 ひろし
ま遺跡再発見! —広島大学考
古学研究室の歩みとともに—
みよし風土記の丘ミュージア
ム(広島県立歴史民俗資料館)
史跡をあるく
岡村島正月鼻古墳 文・写真 鴨頭俊宏
◇307 2017.6 A5 26p 600円
天保期広島藩政と二葉山御社造営
事業—太祖浅野長政の「神格化」
森本 幾子

動向 広島県の地方史研究
雑誌目録／研究活動
芸備掲示板 平成29年度 呉市入
船山記念館ミニ企画展 日本近
代建築の父ジョサイア・コンド
ル展 呉市入船山記念館
史跡をあるく
法円寺の三菱窟 文・写真 阿武旭

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingohistory.net
◇195 2017.4 A4 24p
備後横山氏と城砦 田口 義之

山手銀山城跡 測量調査報告 杉本 憲宏
 中世石造物の調査報告
 山城レポ 完全に姿を現した山城
 南山城 平田 久雄
 研究レポート 吉津と奈良津(1)
 一福山干拓前の滯筋と港 瀬良 泰三
 渋川義隆と備後・安芸国衆ネット
 ワーク 木下 和司
 古墳講座 指定文化財が語る備後
 の歴史(2)(後)―石鎚山古墳群 網本 善光
 備後百景 坪生町一石州往来 山口 哲晶
 近世福山の歴史講座 水野家臣団
 (5) 第五章 総奉行 神谷治
 部長次―その一 高木 康彦
 備後史談 水野家記御預り之覚三 根岸 尚克
 辻堂百景(11)
 福山市熊野寺迫「花咲堂」 秋山 由実
 田口義之の備後山城50選(14) 神
 辺平野を睥睨する山城 正戸山
 城跡
 例会談義 11月バス例会に寄せて
 赤穂事件について 岡田宏一郎
 ◇196 2017.6 A4 20p
 坂の町尾道に残る中世の痕跡「丹
 花城跡」 田口 義之
 田口義之の備後山城50選(16) 交
 通の要衝を押さえた山城 雲雀
 城跡
 中世石造物の調査報告 文責・篠原芳秀
 山手銀山城跡測量調査報告 杉本 憲宏
 研究レポート 吉津と奈良津(2)
 一福山干拓前の滯筋と港 瀬良 泰三
 近世福山の歴史講座 水野家臣団
 (6) 第五章 総奉行 神谷治部
 長次(2) 高木 康彦
 会員便り 私の創作劇場 後藤 匡史

一枚の写真から 尾道駅舎の建物
 資産標 文・写真 岡田宏一郎
 備後史談 人類愛の実践者・岩本
 藤兵衛―アメリカ汽船の遭難を
 助けた村長の物語 峯松 俊彦
 備後百景 加茂町 姫谷 山口 哲晶
 備後史談 水野家記御預り之覚四
 承応事件 根岸 尚克
 書籍紹介 備後四ツ堂物語 福山
 の憩亭百景(秋山由実著)
 辻堂百景(12) 福山市神辺町上御
 領「宗重地蔵堂」 秋山 由実
 例会報告
 深津歴史クイズウォークに参加
 して 山本 典子
 深津をめぐる一足元の史跡 野母 寿子
 ◇197 2017.8 A4 20p
 吉津平居士の正体 田口 義之
 調査報告
 中世石造物の調査報告 文責・篠原芳秀
 一枚の写真から 箱庭の景観
 小さい砂留 文・写真 根岸尚克
 研究レポート 吉津と奈良津(3)
 一土地痕跡から水路を探る 瀬良 泰三
 一枚の写真から
 伝・うしの塔 文・写真 山本典子
 備後史談 藪路八幡神社の俳句額 根岸 尚克
 田口義之の備後山城50選(17)
 久代宮氏の本拠 大富山城跡
 近世福山の歴史講座
 福山城下の上水道 高木 康彦
 古墳講座 指定文化財が語る備後
 の歴史(3)(上)―鉄は国家なり 網本 善光
 山陽鉄道と尾道駅舎について 岡田宏一郎
 坂本安代さんを偲んで
 辻堂百景(13) 福山市坪生町「葉

座の庚申堂」 秋山 由実
 白石踊り体験ツアーに参加して 種本 実
 図書紹介 「備後四ツ堂物語 福
 山の憩亭百景」(秋山由実著)に
 ついて 岡田宏一郎
 大分便り
 岩戸神楽、八岐大蛇伝承 後藤 匡史
 ◆広島民俗 広島民俗学会
 〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
 岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊
 fs-hiroshima.net
 ◇88 2017.8 A5 88p 700円
 第88回現地研究会
 歴史と文化のまちで学ぶ 三村 泰臣
 「日本遺産」について 西井 亨
 「絵解き尾道町年中行事」 林 良司
 「日本遺産」尾道を訪ねて 岡崎 環
 「日本遺産」尾道を訪ねて 迫江 勝
 広島県庄原市比和・高野町(旧恵
 蘇郡北部)の神弓祭 鈴木 昂太
 山口県指定無形民俗文化財 赤崎
 神社「十二の舞」を拝見する 下畠 信二
 民俗点描 事務局
 新刊紹介 『広島藩の地域形成』
 土井作治著 岡崎 環
 ◆みよし地方史 三次地方史研究会
 〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂
 2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753
 1987年創刊
 ◇102 2017.4 A4 20p
 日本の旧石器文化と三次(上)
 一下本谷遺跡の歴史的意義 三枝 健二
 「堀田家文書」をひも解く(4) 堀
 田道甫(どうほ)とその娘―「大
 坂の陣」の後、三次へ繋がる経
 緯を探る 中畑 和彦

三次盆地の前方後円墳(11)
 幸利山古墳―調査報告 加藤 光臣
 史料紹介
 三次藩時代の塩田経営とその後 立畑 春夫
 草津カキと三次藩 米丸 嘉一
 ◇103 2017.8 A4 12p
 近世三次町の財政運営 立畑 春夫
 後鳥羽上皇配流伝説と三次(上) 佐藤 功
 三次盆地の前方後円墳(12)
 勇免第一九号古墳―調査報告 加藤 光臣
 「堀田家文書」をひも解く(5)
 「信当、厳島に遊ぶ」を読む 中畑 和彦
 総会記念講演 『県北の刀工』―刀
 工と刀剣研ぎ師について
 ◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
 〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32
 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932
 ◇313 2017.4 B5 12p
 和久原川 寺泊 保夫
 創立25周年記念 本多博之先生講
 演「隆景と秀吉」の記録(3) 事務局
 三原市本郷町 西野田火葬墓(2) 福井 万千
 ◇314 2017.5 B5 12p
 期待 大坪 一夫
 春の研修ハイキングを終えて
 「糸崎神社での研修」を終えて 大谷 和宏
 春の研修ハイキング「糸崎の史
 跡めぐり」に参加して 行武 郁子
 春のハイキング「糸崎の史跡め
 ぐり」に参加して 山田美代子
 春のハイキング「糸崎の史跡め
 ぐり」に参加して 西村 雅幸
 創立25周年記念 本多博之先生講
 演「隆景と秀吉」の記録(4) 事務局
 三原市本郷町 西野田火葬墓(3) 福井 万千
 ◇315 2017.6 B5 12p

土地家屋調査士 私考 松本 茂子
 平成29年総会及び紀年講演会報告
 鈴木 健次
 創立25周年記念 本多博之先生講
 演「隆景と秀吉」の記録(5) 事務局
 三原市本郷町 西野田火葬墓(4) 福井 万千
 ◇316 2017.7 B5 12p
 「三本の矢」が日本遺産に届かず 宮原 幸司
 「レキカの歌」決定 事務局
 ギョンサン 上田 茂
 創立25周年記念 本多博之先生講
 演「隆景と秀吉」の記録(6) 事務局
 三原市本郷町 西野田火葬墓(5) 福井 万千
 ◇317 2017.8 B5 12p
 建物の強制疎開と都市計画 大谷 和弘
 第39回 広島県郷土史研究協議会
 (略称 県史協) 三原地区大会
 のご案内 鈴木 健次
 三原城をとりまく「標柱めぐり」
 配布のお知らせ 鈴木 健次
 創立25周年記念 本多博之先生講
 演「隆景と秀吉」の記録(完結
 編) 事務局
 三原市本郷町 西野田火葬墓(6)
 参考文献 福井 万千
 付録 第39回広島県郷土史研究協
 議会 三原地区大会「小早川隆
 景と瀬戸内水軍」案内・議案／
 三原城をとりまく「標柱めぐり」
 ◇318 2017.9 B5 12p
 二百十日に 津島 敏子
 糸崎港の係船柱と藤川製鋼所 西村 雅幸
 春のハイキング「糸崎史跡めぐり」
 に参加しての回想記 高枕 勉
 秋の研修旅行
 京都黄梅院行 のご案内 鈴木 健次
 三原市本郷町 西野田火葬墓(7
 参考文献完結編) 福井 万千

◆山口県地方史研究 山口県地方史学会
 〒753-0083山口市後河原150-1
 山口県文書館内 TEL083-924-2116
 1954年創刊 www.yshf.jp
 ◇117 2017.6 A5 128p
 江戸における萩藩主没後の国元移
 送—その準備と手続き 吉田 真夫
 生類憐み令にみる幕藩関係
 —萩藩を素材として 脇 正典
 文化期、通・瀬戸崎両浦への九州
 鯨組の入漁事情 末田 智樹
 二つの航海遠略策 相島 宏美
 米海軍艦載機による一九四五年七
 月の山口県下の空襲 工藤 洋三
 朝鮮三国史記と琳聖太子コードの
 原義—百済王統との接続範囲—
 《失われた環》の再発見 北川 健
 一民衆の視点による大田絵堂戦役
 —「諸隊追討略日記」の叙述に
 着目して 牛見 真博
 明治十九年、山口県でのコレラ病
 流行に関する「県布達と諸統計」
 について 木京 睦人
 史料紹介 萩藩寄組・間田益田家
 関連文書の寄託 重田 麻紀
 歴史散歩 吉田松陰の古写真 小山 良昌
 発表要旨 第125回研究大会
 秦益人刻書石試論 針間 文彦
 見失われた大内氏初代伝説の京
 都組成—朝鮮交易ならぬ京都
 参入構図での聖者リンケージ
 北川 健
 地下上申宇佐村絵図の幾何構造
 と村境接続技術 西尾 良司
 北浦地域の捕鯨漁場と九州鯨組
 との関係 末田 智樹
 八幡方と伊崎宰判について 石川 敦彦
 萩藩天保改革における諸郡勸農

方大庄屋の取立と諸国農事視
 察 木部 和昭
 松下村塾党と桜山招魂社につい
 て 中原 健
 ◆史窓 徳島地方史研究会
 〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井
 1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806
 ◇47 2017.3 A5 107p 1389円
 《第38回公開研究大会特集
 徳島藩二十五万石の成立》
 大坂の陣と徳島藩
 —武威の伝統と藩社会 根津 寿夫
 阿波九城の成立と終焉をめぐる
 宇山 孝人
 徳島藩の権力構造
 —阿波両国の家老政治 三宅 正浩
 近世・近現代における「勝瑞像」
 の変化とその意義 石井 伸夫
 新刊紹介 三舟哲治編著『阿波の
 引札 第貳集〈三好／美馬／麻
 績〉』 小川 裕久
 史窓のひろば 地方史研究協議会
 第68回(徳島)大会の開催の向け
 て 徳野 隆
 徳島県地方史研究文献目録
 (2015年10月～2016年9月)
 ◆徳島県立博物館研究報告
 〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
 化の森総合公園 TEL088-668-3636
 1991年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇27 2017.3 B5 83p
 徳島県立図書館から移管された人
 形頭について 庄武 憲子
 阿波藍関係文書について—「藍方
 御取行之大綱」の紹介と翻刻 松永 友和

◆徳島県立博物館ニュース
 〒770-8070徳島市八万町向寺山 文化の森
 総合公園 TEL088-668-3636 1990年創刊
 www.museum.tokushima-ec.ed.jp
 ◇107 2017.6 A4 8p
 表紙 ダイオウゲソクムシ 山田 量崇
 徳島県勝浦町で発見された竜脚類
 恐竜の歯化石 辻野 泰之
 平成29年度第1回企画展 ザ・モ
 ンスター—海と陸のへんてこ生
 物たち
 「正雪紺屋」で使われた阿波藍
 —阿波と駿河を結ぶ藍 松永 友和
 館蔵品紹介 写真「阿波名物板東
 の獅子舞」と鳴門市の獅子舞 磯本 宏紀
 レファレンスQ&A 表面が黒っ
 ぱくすすけた木の板に何か書い
 ているかを知りたいのですが? 植地 岳彦
 ◆伊予史談 伊予史談会
 〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立
 図書館内 1915年創刊
 ◇385 2017.4 A5 47p 750円
 昭和前期の愛媛県政と県会 高須賀康生
 明治期における愛媛県の学校林 川島 佳弘
 越智氏の出自—「オチ」元は「コ
 チ」だった 合田 洋一
 新刊紹介 田中弘道著『伊予天徳
 寺千四百年の歴史』 桑名 洋一
 郷土その日その日 編集部(袖山俊夫)
 例会記事 第1219回～第1221回
 ◇386 2017.7 A5 60p 750円
 私の歴史三昧 高須賀康生
 伊予の修験寺院—吉田領当山派袈
 裟頭宝冠寺を中心に 竹島 大祐
 特集 市町における地域史研究の
 成果と課題

伊予市における古文書等の整理 状況と課題	水木 崇行
内子町における研究状況	芳我 明彦
西予市の地域史研究の現状と課題	別宮 博明
伊方町町見郷土館の研究成果と課題	高嶋 賢二
四国中央市における地域史研究に 係る基盤整備の現状について	近藤 弘樹
新刊紹介 石野弥栄著『中世河野氏 権力の形成と展開』、四国遍路に 関する論文	編集部
郷土その日その日	編集部(袖山俊夫)
例会記事 第1222回～第1224回 追悼 日下部正盛先生	高須賀康生
◆四国遍路と世界の巡礼	
愛媛大学法文学部附属 四国遍路・世界の巡礼研究センター	
〒790-8577愛媛県松山市文京町3 TEL0898-9278-9312	2016年創刊
henro.ehime-u.ac.jp	
◇2	2017.3 A4 100p
特集「文芸作品に見る巡礼」	
歌舞伎の中の巡礼	河合 眞澄
演劇・文学と巡礼—河合眞澄氏の 講演によせて	小嶋 博巳
歌舞伎作品の歴史叙述 —虚構と真実の世界	胡 光
近世後期における四国遍路の普 及—菱垣元道を事例として	井上 淳
論考 四国遍路道	
衛門三郎伝説と熊野信仰	寺内 浩
日本中世の巡礼・寺社参詣と地 域権力	川岡 勉
四国遍路札所寺院と徳島藩・江 戸幕府一元禄期の本末争論を	

通して	松永 友和
四国霊場の聖年モニュメント— 御遠忌、御誕生、そして四国 霊場開創の「記憶」	浅川 泰宏
調査データで見る現代の四国遍 路—繁多寺での質問紙調査よ り	竹川 郁雄
論考 世界の巡礼編	
伝統中国における朝山進香 —研究の現状と課題	石川 重雄
国民国家における巡礼 —インドネシア人と宗教	弘末 雅士
イギリスにおける戦死者の追悼 式典と赤いポピー— Great Pilgrimage の今	吉田 正広
草の根のアメリカ・マンザナー ル巡礼	加藤 好文
◆秦史談 秦史談会	
〒780-0023高知県高知市東秦泉寺283 松本紀郎方 TEL088-875-6671	1984年創刊
◇190	2017.5 B5 73p
表紙説明 「朱の大杯」(下田市・ 宝福寺)	長島 伸郎
茂(しげ)さん、声テープ見つかる !!	(編集部 松本)
秦の昔話 愛宕山の巻—秦小学校 のまわりで 古井戸の怪(1)／ 村役場の狸(2)、『こうち童話』 から)	永野美智子
戦史(32) かわいそうな ぞう —鼻をあげて 餌ちょうだい 毛利 俊男	
浦戸湾の龍神信仰の神々について	広谷喜十郎
初めまして 白土賀代子 73才 重倉笹ヶ峠	
『真覚寺日記』の世界	岩崎 義郎
中村進一郎と城	鍋島 静一

浜川砲台の大砲見学記	彦坂 徹
紀貫之と四国路(3)	溝渕 匠
遠ざかる昭和	大岸由起子
龍馬は下田から飛び立った	長島 伸郎
知らぬが仏の読み方—三谷一馬著 作から甲子夜話へ	千頭 将宏
史跡めぐり余滴(27)	
—一天智天皇伝説	(松本)
京、築、神楽について	笹原 保博
久万氏一族の長宗我部地検帳に見 る石盛名請について	香崎 和平
「土佐沖の島の謎」その拝啓(1)	間 宏
ユズ(柚)のルーツ調べ	原田 英祐
永国淳哉先生との出会い 「ジョン万漂流170年記念展」 ベースボール 大リーグ見聞記(3)	三宮 洋一
	千頭 将宏
史跡めぐり余滴(28)—虫送り	(松本)
第八次秦泉寺廃寺跡発掘調査	松本 紀郎
岡村庄造氏拓本集から(41)	
九州・沖縄	
◆季刊邪馬台国 梓書院	
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ ウス3階 TEL092-643-7075	年5400円
1979年創刊	
◇132	2017.7 A5 208p 1250円
巻頭言 「神宿る島」が語るもの	編集部
時事古論(5) みかん物語	安本 美典
〈総力特集 宗像と古代日本〉	
古代東アジアのなかの宗像	西谷 正
沖ノ島祭祀遺跡からみた三女神伝 説と舶載文物	桃崎 祐輔
胸肩君の領域	井浦 一
「神宿る島」沖ノ島と宗像三女神 信仰	福岡真貴子
世界遺産登録活動への取組み	
世界遺産登録活動とその成果	岡 崇

市民が活かす宗像遺産	白木 英敏
沖ノ島体験記	田村 志朗
小山田古墳の被葬者をめぐって	小澤 毅
世界遺跡巡り(12) 「神宿る島」宗 像・沖ノ島と関連遺産群—世界 遺産登録をめざす	井上 修一
物部氏と尾張氏の系譜	志村 裕子
オトナ女子のコラム	
晴れ、ときどき、古代史	藤江かおり
前方後円墳のルーツは三種の神器 ?	高橋 輝好
自著を語る	
『よみがえる古代山城』	向井 一雄
『遺跡でたどる 邪馬台国論争』	中村 俊介
◆九州史学 九州史学研究会	
〒812-8581福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部日本史学研究室内	
TEL092-642-2375	1956年創刊
www.2lit.kyushu-u.ac.jp/his_jap/kyushusigaku/	
◇176	2017.5 B5 63p
鎌倉期における鎮西米の基礎的研 究—中世東大寺財政構造の研究 のために	三輪 眞嗣
史料紹介 東京大学史料編纂所所 蔵謄写本『黒岡帯刀氏所蔵文書』	岡本真／須田牧子
書 評	
伊藤幸司・永島広紀・日比野利 信編『寺内正毅と帝国日本』	季武 嘉也
牧民雄著『日本で初めて労働組 合を作った男 評伝・城常太 郎』	時里 奉明
◆太宰府市公文書館報	
〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1 TEL092-921-2322	2015年創刊

◇28年度 2017.5 A4 64p*事業報告のみ

◆太宰府市公文書館紀要 年報太宰府学

〒818-0110福岡県太宰府市御笠5-3-1

TEL092-921-2322 2007年創刊

dasaifu.mma.co.jp

◇11 2017.3 A4 74p

廃棄文書の傾向について一評価選

別基準の見直しに向けて 藤田 理子

旧太宰府町・水城村議会議事録

細目録 2

宮小路家文書目録

大宰府有智山年表—古代・中世編

川添昭二・朱雀信城共編

「大宰府の七世紀史」覚書 重松 敏彦

◆市史研究ふくおか

福岡市博物館市史編さん室

〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1

TEL092-845-5245 2006年創刊

www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/

◇12 2017.3 A4 128p

《特集 空の福岡、海の福岡

—近代都市福岡の来歴を語り直す—》

講演にあたって 有馬 学

戦前期における民間航空の発展と

福岡市 柴多 一雄

戦前期の福岡市政における臨海部

開発の計画 石橋 知也

セッション 近代都市福岡の来歴

を語り直す 柴多一雄／石橋知也／有馬学

文化期福岡藩の財政政策 柴多 一雄

資料紹介 深川文書 古賀 俊祐

中近世移行期を生き抜いた一大内

氏被官—深川氏の研究 田村杏士郎

『入唐五家伝』の基礎的考察・補考

森 哲也

市史の読み方／読ませ方 三浦耕吉郎

博多遺跡群店屋町工区出土中世焼

人骨の研究 福岡直人／坂上和弘

／江川達也／足立望

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1

TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇210 2017.6 B5 20p

唐津市重要文化財 木像菩薩立像

二軀 志佐 惲彦

上松浦に於ける松浦黨 吉村茂三郎

民衆の祭り、村から町へ 唐津く

んち曳山—ユネスコの世界無形

文化財に 中里 紀元

「邪馬台国は畿内にあった？」

—卑弥呼の王都は纏向遺跡か 堀川 義英

寺沢志摩守の称はいつからか 寺沢 光世

とりゐ(鳥居)のお(起)こりたづぬ

あや 式島 若彦

校歌作詞者 柿村重松(1879～1931)

の生涯 毛利 一幸

豊後佐伯・津久見・杵築の史跡を

訪ねて 松本 和典

「川柳が行く史跡探訪」 坂本兵八郎

◆浜木綿 五島文化協会

〒853-0052長崎県五島市松山町604-10

筑田俊夫方 TEL0559-74-2667

◇103 2017.5 A5 132p

特別寄稿 第一部

五島における米軍の来攻 深尾 裕之

永遠に 山内小学校 福田 順子

—昭和二十年代の山内 福田 順子

鎮魂歌 ひとりまた 一人また逝

く寒の頃 松原 剛

境界をまたぐ話 大坪 昇平

死後の魂は何処へ

—問い続けた生涯 内海 紀雄

酷寒のカナダに五十年・回顧(1) 比留木忠治

五島を通った遣唐使(6) —最澄・

空海のいた延暦の遣唐使の派遣

櫻井 隆

コラム 兜太の立禅／波止場／ス

マホ雑感／日暮れ (筑)

◆国見物語 国見町郷土史研究会

〒872-1401大分県国東市国見町伊美2300-

1401 国東市教育委員会 国見分室

TEL0978-82-1115 年1000円 1981年創刊

◇36 2017.4 B5 87p 1000円

表紙説明 海印山常光寺(小熊毛)

国見町郷土史研究会の歴史をたど

る 末綱 巖

赤根小学校の歩みをたどる 末松洋一郎

吉武律平が撰した文を集める(1)

グループ研究 田北・永井・行平・信原

歳神社の祭りについて 土谷 和光

神社仏閣や公共施設に建てられた

記念物に歴史を読む 末綱 巖

大蔵姓小串氏の研究(16) 小串 信正

大熊毛島田区の能化地藏尊につい

て 標柱調査グループ

宇都宮氏ゆかりの地・築上町を訪

ねて 末松洋一郎

百済(忠清南道地方)歴史遺跡を訪

ねて 永井 輝生

私の合鴨農法 前田 義隆

荒れた土地は牛にまかせよう 臼井 茂昭

縄をなう(絢う)から昭和年代の稲

作を語る(1) 末綱 巖

コラム 書に親しむ 石井敏夫氏

(野田)所蔵の軸／県外の祭りを

楽しむ(1) 丹生神社(和歌山県

日高川町)／古樹を訪ねる 重

光雅信氏邸(向田)の松／県外の

祭りを楽しむ(2) 大山祇神社

(愛媛県今治市大三島)

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方

年2000円 1995年創刊

https://hakkouitiunotoujimdo.com

◇78 2017.5 A4 10p

石の証言 台南州公共大組台

60×45cm 花崗岩 台湾南部・

台南市

「共謀罪」と密告社会(1)

ジョージ・オーウェルの世界 南 邦和

「八紘一字」の塔を考える会の動き

「教育勅語」について 津守 信弘

◇79 2017.7 A4 10p

石の証言 東京日日新聞社、東大

阪毎日新聞社

2017年度総会が終わりました。

「共謀罪」と密告社会(2)

映画「華氏451」に見る密告 南 邦和

ネット配信番組の問題点と課題 佐々木正行

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会

〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18

阿多利昭方 TEL099-253-1775

年4000円 1950年創刊

◇151 2017.6 B5 114p

《総目録 『鹿児島民俗(第1～150号)』『鹿児

島民俗学会報』『民俗研究』》

まえがき 所崎 平

鹿児島民俗学会の歩み 森田 清美

I 刊行号別目録

『鹿児島民俗』昭和25年～38年

(第1号・No1～32)

『鹿児島民俗学会報』昭和39年

～42年(No33～46)

『民俗研究』昭和39年～48年

(第1～6号)

『鹿児島民俗』昭和45年～平成28年(47～150号)	
Ⅱ 著者別目録	
『鹿児島民俗』昭和25年～38年(第1号・No1～32)	
『鹿児島民俗学会報』昭和39年～42年(No.33～46)	
『民俗研究』昭和39年～48年(第1～6号)	
『鹿児島民俗』昭和45年～平成28年(47～150号)	
◆宮古郷土史研究会会報	
〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8	
下地和宏気付 TEL0980-72-9963	
年3000円 1977年創刊	
◇220 2017.5 B5 12p	
5月定例会レジュメ	
キドマリ村の探訪	事務局
6月定例会レジュメ	
宮古馬のルーツを探る	長濱 幸男
3月定例会のまとめ 集落遺跡から見る中世相当期から近世期にかけての変遷(2)ー沖縄県内の事例を対象として	久貝 弥嗣
佐渡山正吉氏追悼特集	事務局
佐渡山正吉大兄をしのぶ	仲宗根將二
佐渡山正吉先生に教えを乞うたこと	下地 利幸
佐渡山ウブシュウのこと	下地 和宏
佐渡山正吉先生へ	新垣 則子
佐渡山正吉氏略歴	作製・大城裕子
佐渡山正吉氏追悼特集 佐渡山正吉氏の著書／佐渡山正吉氏の論考等	
第42回定期総会開かれる	
『綾道ー伊良部島コース』発刊	久貝 春陽
県内初「ふるさと文化財の森」の	

設定	久貝 春陽
シンポジウム「戦争遺跡の可能性ー保存・整備・活用の視点から」	
開催案内	久貝 弥嗣
「憲法」施行70周年アピール	
「5・3」みやこ九条の会	仲宗根將二
宮古島市内の文化財研究動向	久貝 弥嗣
儀間比呂志画伯を悼む	
「人頭税石」への回想	仲宗根將二
◇221 2017.7 B5 8p	
7月定例会レジュメ 太平洋戦争時の上野宇野原ー陸軍中飛行場を中心として	久貝 弥嗣
8月定例会レジュメ 『宮古史伝』90年、『宮古島庶民史』60年ー改めて二大名著に向き合う	下地 和宏
6月定例会のまとめ	
宮古馬のルーツを探る	長濱 幸男
雨の中「キドマリ村跡」を探訪ー5月定例会を終えて	下地 和宏
第41回沖縄地区史跡整備市町村協議会 宮古島市から2名の表彰	
	久貝 春陽
シンポジウム「戦争遺跡の可能性ー保存・整備・活用の視点から」	
	久貝 弥嗣
『宮古島市総合博物館紀要』第21号の紹介	與那覇史香
平和展「沖縄返還から45年 復帰への歩み」催される	與那覇史香
「九条の碑」建立10周年	
平和守る思い重ねて示す	仲宗根將二
宮古島市文化協会設立10周年 記念誌『文化の光 満つところ』	仲宗根將二
◆宮古島市総合博物館紀要	
〒906-0011沖縄県宮古島市平良字東仲宗根添1166-287 TEL0980-73-0567	

◇21 2017.3 B5 268p	
スズメの集団囀(ねぐら)における個体数変動ー宮古島市平良松原地域	久貝 勝盛
宮古島西原のシマユイ儀礼からー村・祭祀・人をめぐっての断章	
	上原 孝三
カッチャー御嶽の由来と変遷	長濱 幸男
宮古島南東部・保良地域の地下水流域界とカルスト地下湧水群についてー太陽泉・石灰華段丘と檳榔込洞などを中心に	安谷屋 昭
宮古諸島水納島の十脚甲殻類相	藤田 喜久
戦史資料にみる海軍飛行場と陸軍中飛行場の利用	山口直美／久貝弥嗣
長南岩陰墓(H25)出土の魍龍文鏡	
	久貝 弥嗣
比嘉のバツカ・ショウガツ(二十日正月)	新垣則子／佐藤宣子／本永清
『根馬氏系図家譜正統』の記録「年数久遠而勉職位階生卒不詳」を考えるー「仲宗根豊見親 目黒盛五代の孫」への問題提起として	下地 利幸
宮古諸島のチョウの記録(2012-2016)	小浜継雄／砂川博秋
宮古諸島の蛾	砂川博秋／小浜継雄
宮古諸島におけるカワカミシロチヨウの大挙飛来(2015年)	砂川 博秋
宮古諸島におけるクロツバメの大発生(2015年)	砂川 博秋
史料紹介と解説・衡平氏家譜	平良 勝保
◆やんばる学研究会会誌	
〒905-0021沖縄県名護市東江1-8-11	
名護博物館気付 TEL0980-53-1342	
〒905-0428沖縄県国頭郡今帰仁村今泊5110	
今帰仁村歴史文化センター気付	

TEL0980-56-5767 2013年創刊	
◇1 2013.7 B5 135p	
「やんばる学研究会」会誌の発刊を祝す	新里 幸昭
地域から世界が見えるー「やんばる学研究会」発足に寄せて	三木 健
大宜味村喜和嘉のシバサシヌウムイ	新里 幸昭
泡盛の歴史と文化	島袋 正敏
研究報告 祭祀ーシヌグを事例に	
	玉城菜美路
研究報告	
古宇利島のウンジャミ祭ー供物「餅」・「魚」をめぐって	上原 孝三
沖縄北部の幸地川における魚類を中心とした河川生物相について	村田 尚史
大宜味村におけるウメガメ類の繁殖について(2)	来須 邦雄
奥部落のイノシシ垣(ウーガチ)について	宮城 邦昌
名護・やんばるの鳥の巣ー一名護博物館企画展から 具志堅ひな子	
シイナグスクの調査報告	玉城 靖
恩納村名嘉真のウシデークに見る御新下りの的芸能形式の展開について	平良 徹也
恩納村の金武間切からのムラ	幸喜 邦恵
本部町における村落景観の社会性ー古村と屋敷集落の比較	崎山 靖
山県(やんばる)の起源／源流ー過小・限定的「終焉化」にどう対応すべきか	松川 猛
やんばる学研究会設立趣意書	
「やんばる学研究会設立に向けて」	
沖縄タイムス	新里 幸昭
「やんばる学研究会設立に向けて」	
琉球新報	仲原 弘哲

◇2 2014.10 B5 89p	
『やんばる学研究会』第2号の発刊を祝う	新里 幸昭
羽地の語義と羽地グスクと主邑(村)	仲原 弘哲
本部の「歴史と文化」	
―本部のシヌグを中心に	仲田 善明
本部半島の手踊りエイサー	
―名護・本部・今帰仁	小林 公江
やんばるのエイサー概況と特徴	小林 幸男
宜名真のオランダ墓にまつわる遺物について	宮城 邦昌
文献からみた先史時代の南島の貝貿易	石川 治行
山原の四方山話	友利 哲夫
大阪市大正区の地理的変遷	上地 美和
名護市の芸能―数久田区について	比嘉ひとみ
名護市内の「旗頭」について	平良 貢
沖縄本島北部(名護市)におけるサシバ Butastur indicus を含むワシタカ類の飛来状況について	
嵩原健二／細川太郎／村田尚史／具志堅ひな子／山本英康	
◇3 2016.6 B5 106p	
『やんばる学研究会―会誌第3号―』の発刊を祝す	新里 幸昭
大正の沖縄文学をめぐって	仲程 昌徳
刃物づくりの世界―カニマン	知名 定順
名護市史「名護やんばる大百科事典」構想	中村 誠司
リュウキュウイノシシについて	山本 英康
恩納村の読谷山間切からのムラ	町田真理子
大宜味村のわらべうた	秋山 恵子
伊平屋島・田名のウンジャミ	玉城菜美路
やんばる(山原)のノロ祭具と継承儀式など	仲原 弘哲
名護市久志と豊原の比較―古村と	

新村を地理から見る民俗的視点	運天 寛弥
古宇利島の祭祀	
―ウンジャミを中心に	玉城 夕貴
『墓地台帳』『死亡者名簿』から見る瀬嵩収容地区	浦島 悦子

寄贈図書紹介

◆環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究 平成24年度～平成28年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 研究成果報告書

東北芸術工科大学東北文化研究センター編・刊(〒990-9530 山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-2168) 2017年3月 A4 455頁

総論：研究の概要、全体総括―集住の理念構築に向けて(田口洋美)／先史～古代の人々の集住に関する地域密着型研究：研究の概要と総括(長井謙治)、遺跡データベースから見た八戸の集落変遷一万年(長井謙治・近藤康久)、八戸市域の縄紋時代早・前・中期の集落(安斎正人)、風張からは川へ(小林圭一)、列島の中の八戸(佐藤宏之)／地域比較研究(東北中世～現代)：研究の概要と総括(蛭原一平・竹原万雄・中村只吾)、骨寺村・本寺地区における中心の変遷について(再論)(入間田宣夫)、「春木」伐り出しと川流し(菊池勇夫)、八戸藩の狼荒と対処(村上一馬)、中山間地集落の人口・景観・生業の変遷(竹原万雄)、鰹釣り溜め漁導入前後の唐桑村の状況(中村只吾)、三陸沿岸地域の御林と村の生存戦略(高橋美貴)、船の移動と港の盛衰(川島秀一)、史料紹介 鈴木富美子『古館家年中行事』(翻刻)(佐藤未希)／地域比較研究(地域横断型研究)：「空から見た東北」という試み(蛭原一平・田口洋美)、東北の民家(鈴木清)／地域比較研究(海外研究)：海外研究の総括(田口

洋美)、ロシア極東地域の先住民族の土地利用の変遷(佐々木史郎)、赫哲族、鄂温克族、鄂伦春族に関する現地調査報告(思沁夫・侯儒)、定住化にみる苦悶人の社会的・文化的変遷(謝黎)、中国雲南省におけるハニ族の「村落＝プカ」(阿部朋恒)／研究会・シンポジウム講演録：民俗・人類班／歴史班合同応用研究研究会、シンポジウム「東北の集住を考える―ポスト過疎化時代を生きる」第2部パネルディスカッション「これからの『集住のかたち』」

◆福島県歴史資料館収蔵資料目録48

県内諸家寄託文書42
福島県文化センター歴史資料課編 公益財団法人福島県文化振興財団(〒960-8116 福島県福島市春日町5-54 TEL024-534-9193) 2017年3月 B5 96頁

昭和45年の開館以来、約24万点の歴史資料を収集・保存してきた福島県歴史資料館。昭和46年度から刊行を開始した資料目録の48冊目として、平成28年度に整理を終えた1件の文書群の目録を収録する。序(林昭重)／佐藤五兵衛家文書(1740点、福島県伊達郡国見町)

◆茨城県立歴史館史料叢書20

安得虎子―古文書・古記録編
茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館(〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2017年3月 B5 415頁
茨城県立歴史館所蔵の史料叢書第20巻として、茨城県那珂郡東海村の尾崎家文書のうち「安得虎子」12冊の古文書・古記録を翻刻・収録する。「安得虎子」は江戸時代後期の学者宮本茶村によって中世常陸地域の古文書・古記録・系図等を集録した史料集で、東京大学史料編纂所所蔵の謄写本6冊(巻1・3・5・6・10・11)以外は新発見、新規公開史料となる。解題(寺崎理香)

◆吉川市史 通史編2 近代・現代

吉川市史編さん委員会編 吉川市(〒342-0055 埼玉県吉川市吉川1-21-13 吉川市教育委員会生涯学習課市史編さん係 TEL048-984-3563) 2017年3月 B5 435+77頁 3000円
1997年から編さん事業が開始された『吉川市史』(全7巻)の最終回配本。明治維新から始まる近代の市域の歩みと一町・二村から町時代、現吉川市へとつながる歴史を収める。
第五編 河岸町場の発展と農村社会(近代) 明治維新と新しい村づくり／旭・吉川・三輪野江村の成立と発展／中川水系の成立と町村民の生活／戦時体制の強化と吉川
第六編 都市化への変貌(現代) 戦後改革と農村社会の変化／新吉川町の誕生／吉川駅の開設と都市化の進展／吉川市の成立と発展
◆北区における戦中・戦後の暮らしの変遷 文化財研究紀要別冊26

東京都北区教育委員会教育振興部飛鳥山博物館事業係編(〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133) 東京都北区教育委員会(〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 TEL03-3908-1111) 2017年3月 A4 169頁
平成24年度28年度にかけて実施した民俗調査の調査報告書。大正末から昭和20年頃までに生まれた方を中心に、主に昭和初期から同30年代を対象時期として聞き取り調査を行い、戦時下から戦後にかけての区民生活におけるさまざまな民俗事象についてまとめる。北区の戦災焼失区域／刊行にあたって(山本三雄)／記憶という緯糸―序にかえて(山崎祐子)／時代のうねり(軍都北区、戦時下の暮らし)／さまざまな暮らし(商売の移り変わり、農家の暮らし、女性の生き方、子どもの遊びと生活)／終わりに／学童疎開先一覧

◆空襲被災者と戦後日本 東京大空襲・戦災資料センター2017年第1回特別展 政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料センター(〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4

Tel03-5857-5631) 2017年2月 A4 6頁
東京大空襲・戦災資料センターの特別展(2017年2月25日～4月9日)パンフレット。空襲で傷を負った戦災被害者や戦災遺族について、2015年4月から始まった空襲被災者運動研究会による共同研究の中間報告とともに、全国戦災障害者連絡会の故杉山千佐子氏寄贈資料をはじめ各地の空襲遺族団体や名古屋空襲訴訟に関わる資料など、新たに収蔵した資料を紹介する。総力戦と空襲／空襲被災者運動の展開／戦災被害者の戦後史／終わらない戦後—エピローグ／略年表

◆空襲被害を撮影したカメラマンたち—東京空襲を中心にの整理と考察「戦中・戦後の「報道写真」と撮影者の歴史学的研究—東方社カメラマンの軌跡—」2015年度科学研究費助成事業「学術研究助成基金助成金(基盤研究(C))」研究成果報告書

井上祐子・山辺昌彦・小山亮・石橋星志・大堀宙著 政治経済研究所付属東京大空襲・戦災資料センター戦争災害研究室(同上)2017年3月 A4 93頁

1941年に陸軍参謀本部の下に設立された東方社による空襲・戦災関係写真「東方社コレクション」についての前共同研究を引き継いだ2014年～2016年度共同研究の報告書1冊目。東方社カメラマンのご遺族の下で保管されているネガフィルムや諸資料の調査・収集、監視庁カメラマンとして空襲被害を撮影した故石川光陽氏の写真資料についての整理・研究成果をまとめる。総論 東方社のあゆみとアジア・太平洋戦争末期の写真界(井上祐子)、東京空襲記録写真の全貌と歴史的意義(山辺昌彦)／写真解題「東方社コレクション」における東京空襲関係写真(小山亮)、東方社カメラマン所蔵の「東京空襲被害記録写真」の解題(山辺昌彦)、日本写真公社撮影空襲被害写真について(石橋星志)、石川光陽撮影の

「東京空襲被害記録写真」の解題(山辺昌彦)／関連論文 石川光陽資料にみる空襲記述の変遷(大堀宙)

◆始まりはひとりから

—練馬の女性たちの記録 総論編その四
子どもの文化・社会教育

練馬女性史を拓く会編・刊(〒176-0062 東京都練馬区桜台4-37-2 小沼稜子 Tel03-3991-7087) 2017年6月 B5 135頁

はじめに／子どもの本と地域を結ぶねりまの文庫活動／図書館建設運動と女性たちの活動／時代が必要とした「子どもを守る会」／ともに学ぶ婦人学級／婦人学級で女性問題に取り組む／家庭教育学級～親の教育権確立をめざして／保育室の歩み／あとがき

◆無形文化遺産と防災—リスクマクネジメントと復興サポート 第11回無形民俗文化財研究協議会報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 無形民俗文化財研究室 Tel03-3823-4925

http://www.tobunken.go.jp/~geino/) 2017年3月 A4 115頁

2016年12月9日に開催された第11回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて(亀井伸雄)／趣旨説明 無形文化遺産と防災—魅力の発信と外からの力(今石みぎわ)／第一部 報告 岩手県大船渡市から考える無形文化遺産の防災(東資子)、四国の災害特性と無形文化遺産の防災(大本敬久)、文化遺産の複製と信仰環境の維持—防災対策の事例から(大河内智之)、祭祀具から考える無形文化遺産の保持(岡部達也)、問題提起(久保田裕道)／第二部 総合討議 コメンテーター(村上裕道・林勲男)、パネリスト(東資子・大本敬久・大河内智之・岡部達也)、コーディネイタ(久保田裕道・今石みぎわ)、ディスカッション

◆厚木市史 民俗編(2) 村の暮らし
厚木市教育委員会社会教育部文化財保護課文化財保護係編 厚木市(〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17 Tel046-225-2060) 2017年3月 A5 642頁

『厚木市史』の第13回配本として、既刊「民俗編(1) 生活記録集」(2014年3月)の資料をもとに、厚木市域における江戸時代から現代にいたるまでの暮らしに関わるさまざまな事象をまとめる。民俗編(2) 村の暮らしの刊行によせて(平本元一)／厚木市の自然と歴史／厚木市の民俗／生業(農業、養蚕、川漁)／住居／人の一生(通過儀礼)／講集団にみる信仰・伝承／農事日誌に見る年中行事／娯楽としての芸能

◆寒川のマッチラベル—三枝聰治氏コレクションより 寒川町史調査報告書22

寒川町史編集委員会編 寒川町(〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1 寒川町文書館 Tel0467-75-3691) 2017年3月 B5 142頁

『寒川町史』本編・資料編で紹介しきれなかった特色ある貴重な資料を翻刻する調査報告書第22集。寒川町岡田の三枝惣治さんが、昭和32年(1957)から59年にかけて蒐集した6565点に及ぶマッチ箱のラベルコレクションから、460点を抽出して収録する。はじめに(木村俊雄)／解説 広告マッチの寒川地域史—ラベルにみる地域商業経済構造(内海孝)／寒川町のマッチラベル 1957年(昭和32)～1984年(昭和59)／神奈川県内のマッチラベル—三枝惣治コレクション目録

◆石川の歴史遺産セミナー講演録

第24回～26回

石川県立歴史博物館編・刊(〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1 Tel076-262-3236) 2017年3月 A4 127頁

石川県立歴史博物館が主催した平成27・28年

度開催「石川の歴史遺産セミナー」の講演録。〔第24回 堅田館—鎌倉時代の加賀有力武士の館〕武士の館—その空間構造と威信財(小野正敏)、堅田館跡の発掘調査(向井裕知)、堅田館の建築復元—その意義と課題(富島義幸)／〔第25回 金沢であえて「工芸」を問う〕金沢であえて「工芸」を問う(森仁史)、ジャパン久谷への道程—江戸末期から明治期の地域様相(坂下雅子)、絢爛たる近代日本陶磁の造形—「超絶技巧」と「グロテスク」の求めた世界(荒河正明)、歴史都市京都のイメージと美術工芸(高木博志)／〔第26回 「金沢城下図屏風」を読み直す〕「金沢城下図屏風」と描かれた金沢(北春千代)、「城下町金沢の暮らしと町並み模型」の制作(山崎幹泰)、描かれた城下町の社会を読む(吉田伸之)

◆人間 宮沢芳重—その反俗の生涯 復刻版 下沢勝井・松下菰著 宮澤芳重の会刊 連絡先: 松川町立松川図書館(〒399-3303長野県下伊那郡松川町元大島3720 Tel0265-36-3746)・長野県飯田市立中央図書館(〒395-0034 飯田市追手町2-677-3 Tel0265-22-0706) 2017年5月 B6 247頁

晩年にすべての情熱を郷土大学創建にそそいだ宮沢芳重氏の生涯を通して、学ぶこと、生きることの意味を考える。その死(遺体まで学問に捧げて、芳重地蔵由来)／ニコヨン学者の夢(高校に天文台を、大学創建の夢、孤独なる運動)／星と少年(小学校時代、高等科へ進学できず)／パン屑と筆耕／水車小屋と賃取り／ハコ番と予備校生(ふたたび東京へ、芳重さんの日常)／芳重さんと読書／宮沢芳重さん略年譜／宮沢芳重さん紹介資料

◆愛知県史 資料編5 考古5 鎌倉～江戸 愛知県史編さん委員会編 愛知県(〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター8階 総務部法務文書課県史編さん室(企画・刊行グループ) Tel052-972-9171) 2017

年3月 A4 794頁 5000円+送料
平成6年度に着手した新『愛知県史』編さん事業の第19回配本。平成13年度からの考古資料編の最終巻として、鎌倉時代から江戸時代の主な243遺跡を中心に、遺跡・遺構・遺物を解説・収録する。総論 概論、調査・研究史、時期区分と編年、集落の変遷と都市、愛知県の中・近世城館／主要遺跡解説 尾張(125遺跡)、三河(118遺跡)／特論 土器と陶磁器の流通、瓦の生産と流通、中世墓、井戸、大量出土銭、中・近世の木簡／遺跡一覧表／文献目録／用語解説／付録 遺跡位置図〔愛知県史のしおり〕 清須以前(鋤柄俊夫)／織田信長像の変化と考古学(仁木宏)
◆愛知県史 通史編6 近代1
愛知県史編さん委員会編 愛知県(同上)
2017年3月 A4 851+3頁 5000円+送料
廃藩置県から日露戦争までの愛知県域に関わる歴史を叙述する。
時代の概観／廃藩置県と地域の変化／県政の展開と産業の近代化／文明開化の社会／立憲体制下の愛知県／資本主義社会の形成／日清・日露戦争と県民／明治期の宗教と文化／県民生活の不安と克服／半島と湾岸地域の近代／引用・参考文献一覧／掲載図版一覧索引／付録CD-ROM(電子版)
〔愛知県史のしおり〕 自由党「広域蜂起派」と愛知県の自由民権運動(飯塚一幸)／歴史的伝統と進取・挑戦の精神(勝部真人)
◆愛知県史 通史編7 近代2
愛知県史編さん委員会編 愛知県(同上)
2017年3月 A5 815+7頁 5000円+送料
日露戦争後から金融恐慌前までの愛知県域に関わる歴史を叙述する。
大正デモクラシーと県民／日露戦後経営／日露戦後の産業と流通／都市化の時代／農村社会の変貌／中京経済圏の形成／教育・文化の新展開／権利への目覚め／政党政治の展開と

慢性不況／デモクラシーの光と影／引用・参考文献一覧／掲載図版一覧／索引／付録CD-ROM(電子版)
〔愛知県史のしおり〕 愛知の文化的俯瞰図(宮城谷昌光)／愛知県の産業構造に関する覚え書き―『愛知県史 通史編7 近代2』の記述に寄せて(山崎広明)
◆宇治茶の民具 収蔵資料調査報告書19
宇治市歴史資料館編・刊(〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1 ℡0774-39-9260) 2017年3月 B5 55頁
「市の木」(イロハモミジ)とは別に茶を「市の宝木」として定める宇治市ならではの茶の製造に関する民具をまとめる。宇治茶の民具の概要／資料目録 宇治茶の民具／空中写真に見る茶園 昭和36年(1961)年5月1日(六地蔵・木幡、五ヶ庄・菟道、小倉・伊勢田、宇治・白川)／民具を受入れ始めたころ―「たまり場」としての資料館(坂本博司)
◆仁和寺尊寿院阿證
一数奇な運命を仏道に生きた佐竹氏世子
神宮滋著 イズミヤ出版(〒019-0509 秋田県横手市十文字町梨木字家東2 ℡0182-42-2130) 2017年1月 A5 227頁 2000円
「十歳にして秋田佐竹氏初代の藩主、佐竹義宣の跡取りを約束された世子とされながら、故あって十五歳で廃嫡され、のち京都仁和寺の有力院家である尊寿院を中興され、珍重にも、今にその心情を伝える百首の和歌一卷を遺された阿證上人のことは、これまでは知る人ぞ知る存在であった。」(序言より) 序言／波乱の生涯／風雅のすさび／伝記／結言／付年譜、系図、発受および関係文書
◆反古箒 大阪市史史料84
大阪市史編纂所編 大阪市史料調査会(〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 大阪市立中央図書館内 ℡06-6539-3333) 2017年3月 A5 99頁 1800円

明治34年(1901)に幸田成友を編纂主任として始まった『大阪市史』編纂事業における旧家や蒐集家、公的機関の調査の際に、そこで接した貴重な史料を写し取った大阪市史編纂所に収蔵されている写本のひとつ「反古箒」を翻刻・収録する。「反古箒」は、古書肆の松雲堂鹿田静七の蔵本から明治34年9月採訪して筆写したとされ、狂歌師西田耕悦(負米)が生前聞き集めて記録していたことを物語り、それを梅柯亭蟻道が編集してまとめたもので、おおむね享和3年(1803)から天保6年(1835)までの大坂を中心とした市井の出来事(206項目)を詳細に記録している貴重な史料である。
◆「西宮神社御社用日記」調査報告書
西宮市文化財資料63
西宮市立郷土資料館編(〒662-0944 兵庫県西宮市川添町15-26 ℡0798-33-1298) 西宮市教育委員会刊(〒662-0918 兵庫県西宮市六湛寺町8-26) 2017年3月 A4 92頁
兵庫県指定重要有形文化財(古文書)・西宮市指定重要有形文化財(古文書)「西宮神社御社用日記」の数量・形態等確認調査の報告書。「西宮神社御社用日記」は、西宮神社・廣田

神社の歴代神主らが記録した神社の公用日記で、元禄7年(1694)から明治8年(1875)までの216点が文化財指定されている。調査の経過／「西宮神社御社用日記」の概要／調査結果／まとめ
◆「考古小録」及び関係品調査報告書
西宮市文化財資料64
西宮市立郷土資料館編 西宮市教育委員会刊 2017年3月 A4 85頁
西宮市指定重要有形文化財(考古資料)「考古小録」と関係品についての調査報告書。稿本「考古小録」は、のちに西宮町長に就いた紅野太郎の長男で酒造業を営んだ紅野芳雄(1893～1938)が、遺跡踏査活動や考古学に関する覚書などを大正6年(1917)から昭和13年まで記録したもの。本文編 紅野芳雄と「考古小録」、紅野芳雄が踏査した西宮市内の代表な遺跡／資料篇 考古小録 第一冊(大正6年4月22日～昭和2年1月26日)、考古小録 第二冊(昭和2年2月2日～昭和7年4月26日)、考古小録 第三冊(昭和7年5月3日～昭和13年4月20日)／採集遺物写真

◆後記

2016年3月、政府の国立公文書館の機能・施設の在り方等に関する調査検討会議は、「民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源として、国民の主體的な利用に供されるべき」公文書等を保存する国立公文書館は、「我が国が歩んできた歴史や目指してきた価値を、文書や記録という形で世代を超えて受け継ぎ、現在の主権者たる国民に対して説明責任を果たすとともに、次代を担う子供たちが生きた歴史に親しみ学ぶ機会を提供することで、将来につなげていく機能を果たす、いわば我が国の過去・現在・未来を結ぶ存在である」と高らかに謳い、現在の本館1万㎡余規模では機能が果たせず、4～5万㎡程度を確保した新公文書館建設をすることが望ましいとの基本構想を打ち立てた。米、仏、独の10万㎡超とは比ぶべくもないが、それでも大きな期待を持たせた。その後、憲政記念館と合体し、建設費850億円との試算も出された。ところがこの11月発表の政府原案では、480億円、3万㎡と半減に近いものになってしまった。経費のかさむ地下工事を変更して建設費を圧縮したことは分かるが、面積の縮小は理解できない。基本構想の理念はどこにいったのか。まさに、「民主主義の根幹」が問われるのではなかろうか。(飯澤)

